

教 育 要 覧

令 和 4 年 度



(伝統技術ワークショップ「木材加工」の様子 (市原歴史博物館))

市原市教育委員会

市原市いじめ「ゼロ」宣言

私たちは、いじめをゼロにするために、
次の3つの心を大切にすることを宣言します。

せいぎ こころ
1. 私たちは「**正義の心**」を大切にします。

勇気を持ち、いじめを絶対に見逃しません。
自分の行動を見直し、相手の良さを見つけます。

すなお こころ
2. 私たちは「**素直な心**」を大切にします。

相手の個性を認め、自分の心に嘘はつきません。
挨拶を交わし、感謝の気持ちを伝え合います。

やさ こころ
3. 私たちは「**優しい心**」を大切にします。

相手をしっかり受け止め、寄り添う気持ちを持ちます。
相手を思いやり、傷つける行為をしません。

この3つの心を持ち続け、「友達の輪を大切にし、いじめや差別を許さない学校」そして「かけがえのない命を大切にし、お互いに支え合う学校」づくりを目指すために、私たちの強い意志を表明し、努力することをここに誓います。



平成28年9月

市原市小中学校児童会・生徒会

目 次

ページ

I	市原市の概要	
1	市原市の概要	3
2	市立教育施設位置図	4
3	市内スポーツ施設位置図	5
II	教育行財政	
1	教育委員会	9
2	教育委員会組織図	10
3	教育委員会職員数	11
4	市原市教育大綱	12
5	財政	13～22
III	学校教育	
1	幼児教育	25
2	学校教育	26～35
3	教育センター	37～38
4	学事	39～45
5	学校保健	46～51
IV	生涯学習	
1	生涯学習	55～65
V	青少年の健全育成	
1	青少年の健全育成	69
2	青少年指導	70～72
VI	文化振興と文化財保護	
1	市民文化	75～76
2	文化財保護	77～85
3	文化振興	86～90
VII	社会体育	
1	スポーツ・レクリエーション	93
2	社会体育	94～99
VIII	資料	
1	歴代教育委員	103～105
2	学校教育諸団体	106～112
3	社会教育諸団体	113～122
4	市原市立学校一覧	123～124

I 市原市の概要

1 市原市の概要

① 市制施行（昭和38年5月1日～）

（令和4年5月1日現在）

面積	368.16 km ²
人口	273,234 人
世帯数	128,981 世帯

②教育関係施設

(市立)認定こども園	6	(私立)幼稚園	18
(〃)小学校	40	(〃)認定こども園	6
(〃)中学校	22	(〃)小学校	1
(県立)高等学校	5	(〃)高等学校	2
(〃)特別支援学校	1	(〃)大学	1
(市立)公民館	11	中央武道館	1
給食共同調理場	5	中央図書館	1
教育センター	1	生涯学習センター	1
青少年指導センター	1	埋蔵文化財調査センター	1

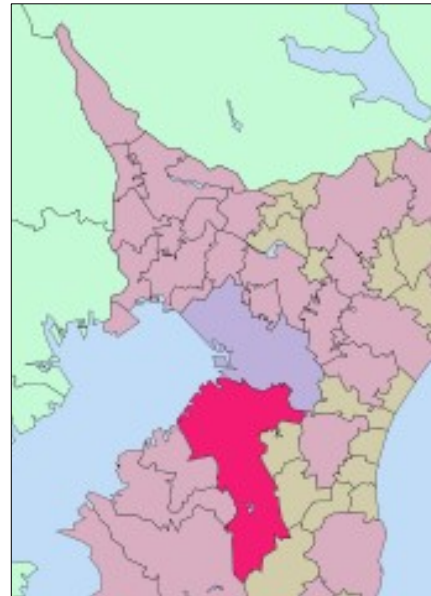
③市原市の沿革

市原市は、千葉県（房総半島）の中央部にあり、南北に細長い広大な市域を形づくっています。北部の臨海部は平坦地ですが、西部は標高 200mから 300mの丘陵地帯となっています。市の中央部には、清澄山系を水源とする養老川が流れ、この流域に広がる水田地帯を潤しています。

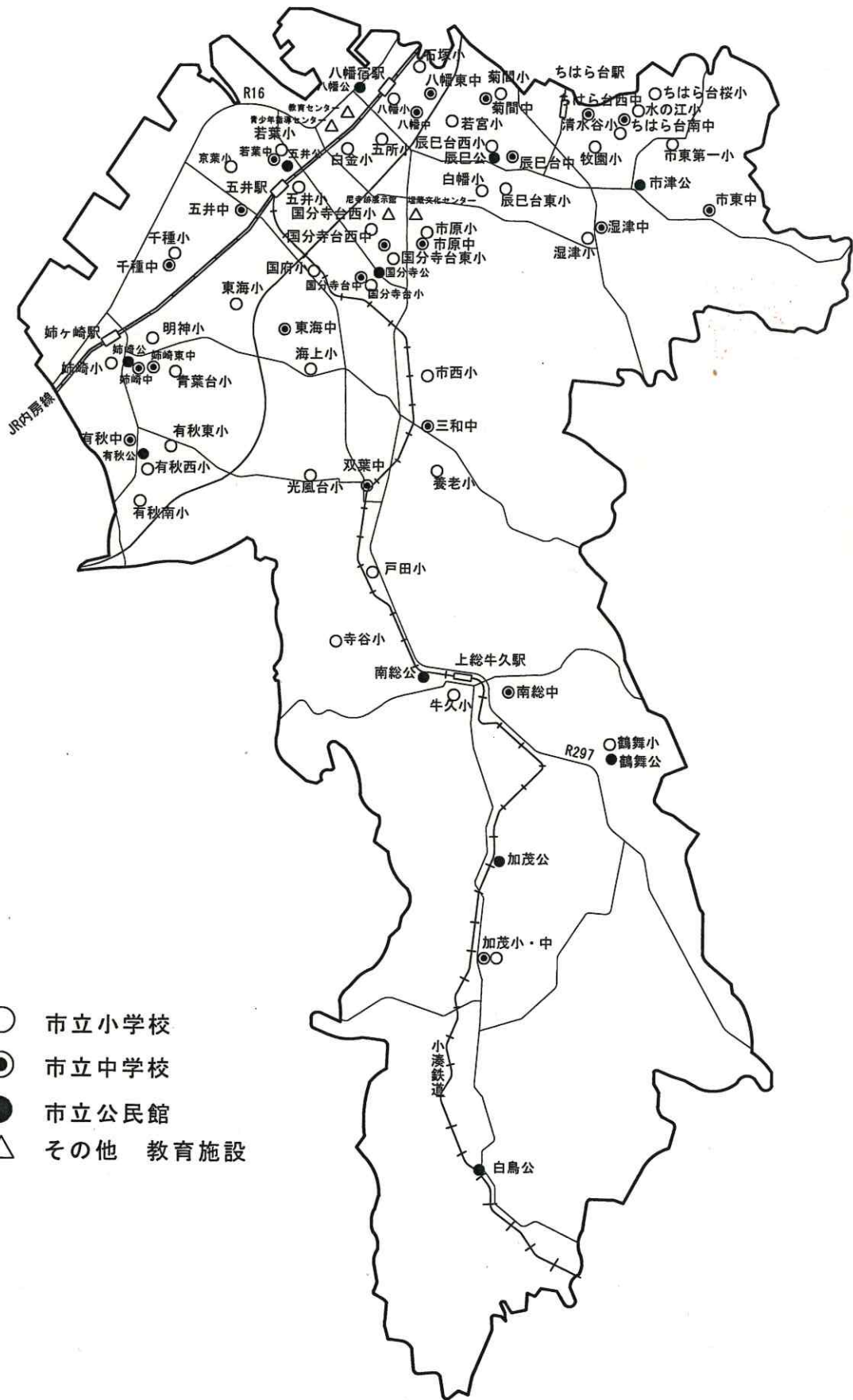
古代にあっては、上総国の国府の所在地であり、政治・経済・文化の中心地として栄えました。国分寺跡にある壮大な七重塔の礎石は、当時の盛んな様子を伝えています。しかし、時代の変動による国府の衰退が一つの契機となり、近代に至るまで房総の一農漁村の域にとどまりました。

昭和32年、海岸の埋立造成が行われ、それまで北部海岸地帯の主要産業であった海苔養殖は、終わりを告げました。この造成地への石油関連産業を中心とした企業の進出、操業が転機となり、本市の産業構造は大きく変わりました。とりわけ、市内就業人口の第二次産業への比重が増加しました。それに伴い市民の生活環境も急速に都市化したため、行政の一元化・近代化が、必要になってきました。こうして市制施行への機運が熟し昭和38年5月市原・五井・姉崎・市津・三和の5町が合併し、つづいて、昭和42年10月には、南総町・加茂村の合併により、ここに一郡一市の広域市である「市原市」の誕生をみました。

現在、本市の人口は市制施行当初の約3倍に増加し、この間、市では学校や公民館をはじめとする教育施設の整備や、地域社会の教育・文化の向上や住民相互の交流の場づくりを進めてきました。さらに令和2年1月、約77万年前の地磁気逆転現象が世界中で最もよく観察できる場所として、養老川流域田淵の地層が国際基準となり、約77万4千年前～約12万9千年前の地質年代の名称が「チバニアン」と呼ばれることとなりました。

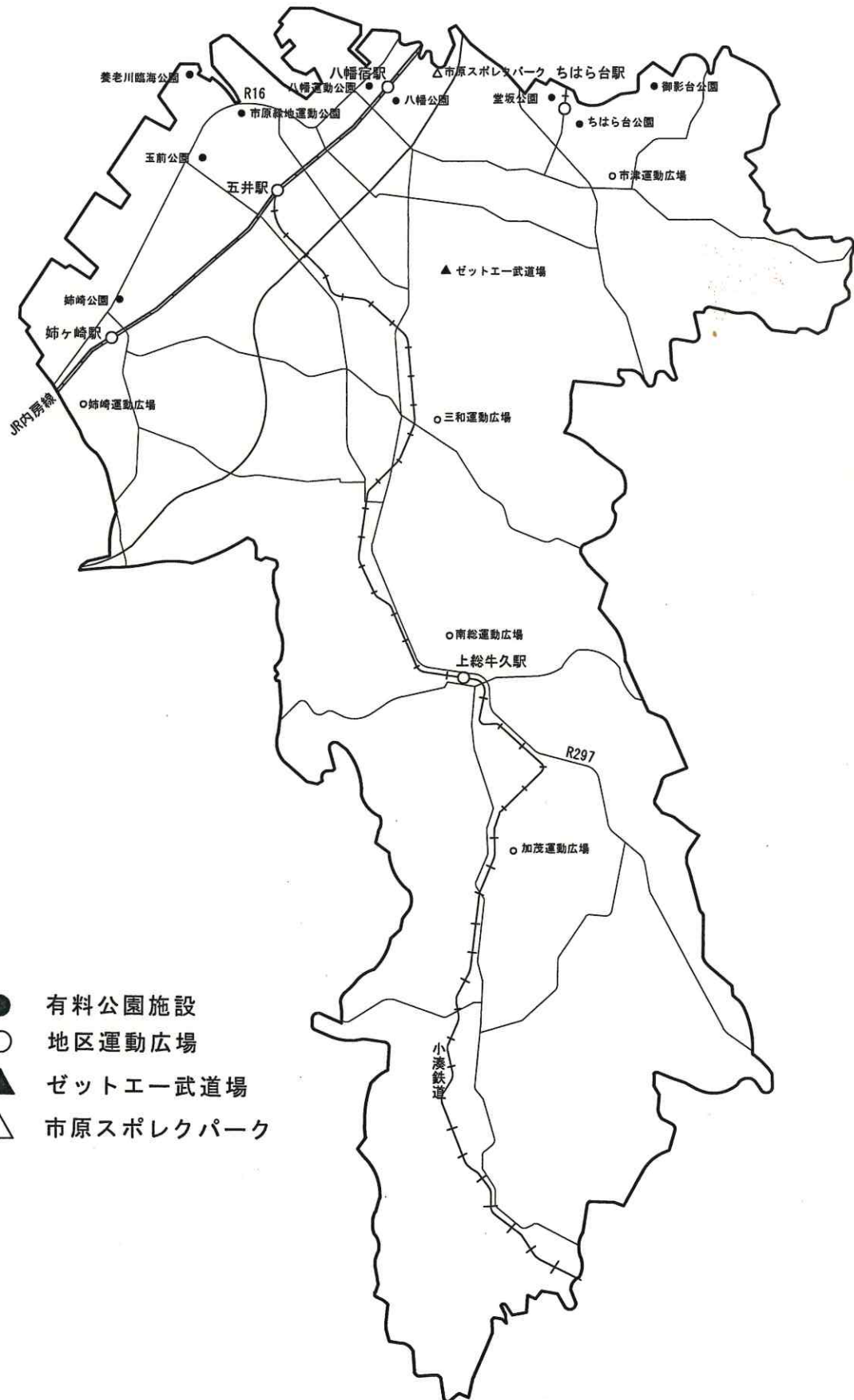


市立教育施設 位置図



- 市立小学校
- 市立中学校
- 市立公民館
- △ その他 教育施設

市内スポーツ施設 位置図



II 教育行財政

1 教 育 委 員 会

① 教育長・教育委員



教 育 長
林 充



教育長職務代理者
秋 田 秀 博



委 員
洞 厚 子



委 員
船 山 慶 子



委 員
田 村 雅 治

(令和 4年 9月 1日現在)

役 職 名	氏 名	就 任 日	任 期
教 育 長	林 充	H30. 7. 17	R 3. 7. 17～R 6. 7. 16
教育長職務代理者	秋 田 秀 博	H28. 7. 17	R 2. 7. 17～R 6. 7. 16
委 員	洞 厚 子	H24. 7. 17	R元. 7. 17～R 5. 7. 16
委 員	船 山 慶 子	H25. 7. 17	R 3. 7. 17～R 7. 7. 16
委 員	田 村 雅 治	H30. 7. 17	R 4. 7. 17～R 8. 7. 16

2 教育委員会組織図

(令和4年7月1日現在)



3 教育委員会職員数

(1) 事務局

(令和4年7月1日現在)

職名 所属	部長	次長	課長	主幹	主任指導主事	課長補佐	副主幹	室長	係長	指導主事	主査	副主査	社会教育主事	主任	主事	技師	学芸員	合計
	教育総務部	1	1															
教育総務課			1	1		(1)			3			1		5	3			14
学校教育課			1			1	1		1 (1)			3		1	2			10
学校保健課			1			1			2			3		1	1			9
教育振興部	1	1																2
生涯学習課			1	1		(1)			2			1	1	1	3			10
指導課			1			(1)			(2)	11				3				15
文化財課			1	1		1			1		1	2		1	1		2	11
合計	2	2	6	3		3	1		9	11	1	10	1	12	10		2	73

(2) 教育機関

(令和4年7月1日現在)

職名 所属	所長・館長	主幹	所長補佐・館長補佐	場長・所長・館長	副主幹	係長	指導主事	主査	副所長	副主査	社会教育主事	主任	主任教諭	主事	教諭	業務主任	主任技労員	学芸員	司書	合計
	共同調 理場	南総調理場			1						1									
第一調理場				1								1				1				3
岩崎調理場				1						1						1				3
姉崎調理場			1		(1)					1										2
ちはら台調理場					1					1										2
生涯学習センター				1				1		2	1		1							6
青少年指導センター				1	1			1		2		1								6
教育センター	1		1				7			1										10
中央図書館	1	1	1			3				7		1		1					1	16
歴史博物館				1				1		2		1						1		6
埋蔵文化財調査センター				(1)				1		1								3		5
史跡上総国分尼寺跡展示館				(1)								1								1
合計	2	2	1	7	1	3	8	3	1	17	2	6		2		2			5	62

4 市原市教育大綱

(1) 策定の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成 27 年 4 月 1 日施行）に伴い、地方公共団体の長は、地域の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとされました。これを受け、本市では、市長と教育委員会の調整の場である総合教育会議の中で3回にわたり協議を行い、平成 28 年 8 月に、本市の教育行政の根本となる方針を定める「市原市教育大綱」を策定しました。

(2) 位置づけ

大綱は、国の教育振興基本計画を参酌し、市の総合計画と整合を図るものとします。

(3) 基本理念

「未来へつなぐ いちはらの教育」

～ 幼児教育から学校教育、生涯学習へとつなぐ確かな教育の実践と、市民・地域の力「市原力」を教育に活用することにより、一人一人の資質と能力を最大限に伸ばし、地域への誇りと愛着を持ち社会の中で活躍する人材を育む教育 ～

(4) 基本目標と施策の基本的な方針

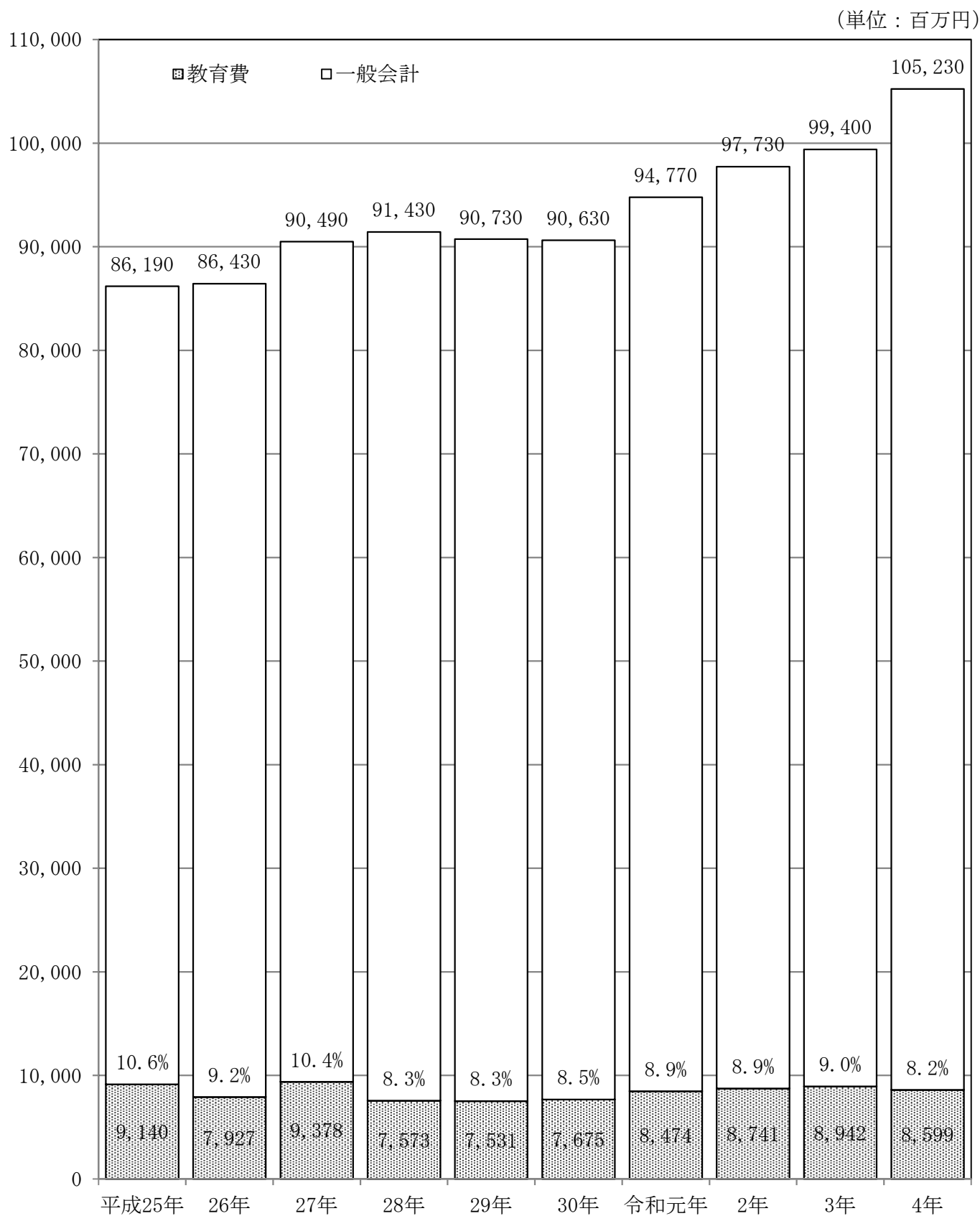
- ◇ 未来へ飛躍する力の基礎となる確かな学力の養成と幼児教育の充実
 - ① 未来を担う子どもたちの「確かな学び」の推進
 - ② 質の高い幼児教育の推進
- ◇ 一人一人の個性を生かした、感性豊かな心と健やかな体の育成
 - ① 豊かな心と健康でたくましい子の育成
 - ② 青少年の健全育成
- ◇ いじめを許さない体制づくり
 - ① いじめの未然防止と早期対応
- ◇ 思い切り学べる教育環境づくりと支援体制の充実
 - ① 子どもたちが思い切り力を伸ばせる教育環境づくり
 - ② 学校の安心・安全対策の充実
 - ③ あらゆる子どもへの支援体制の充実
- ◇ 生涯学習の機会充実と学習成果を生かせる仕組みづくり
 - ① 生涯学習の機会・情報提供の充実とその成果の活用
- ◇ 多彩な地域資源を活用したスポーツの推進、歴史・文化・芸術の振興
 - ① 生涯を通じたスポーツの推進
 - ② ふるさとへの誇りと愛着を育む歴史・文化・芸術の継承と創造

(5) 具現化に向けて

本大綱の基本理念の実現に向けて、市の総合計画に大綱の施策等を反映させるとともに、各部門計画や実行計画等を通じて、具体的な施策や事業の推進を図ることとします。

5 財 政

(1) 一般会計及び教育費の構成比の推移 (当初予算)



(2) 教育費項別決算額の推移

(単位：千円)

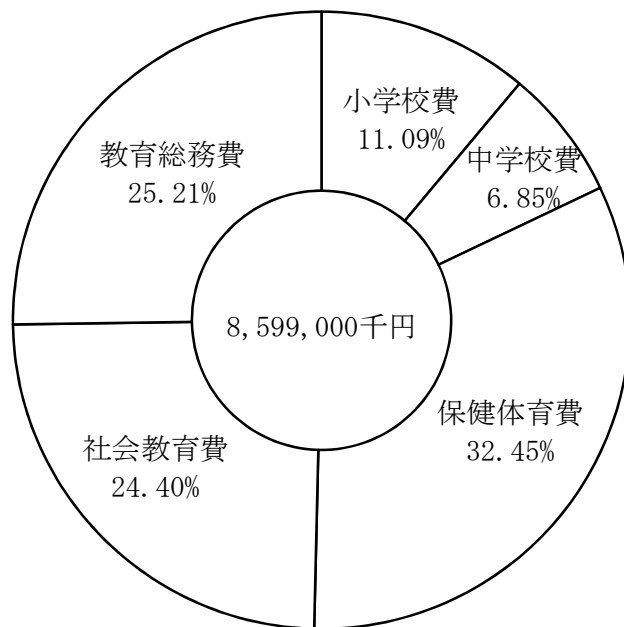
項 年度	教育費総額			教育総務費			小学校費			中学校費		
	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数
平成29年度	7,533,615	100	100	1,715,303	23	100	1,004,623	13	100	676,669	9	100
平成30年度	7,678,208	100	102	1,806,878	24	105	930,930	12	93	728,757	9	108
令和元年度	11,096,743	100	147	1,720,471	15	100	3,116,017	28	310	1,793,409	16	265
令和2年度	9,552,313	100	127	2,318,022	24	135	1,194,286	12	119	1,010,417	11	149
令和3年度	8,941,700	100	119	2,110,141	24	123	905,181	10	90	684,701	8	101
令和4年度	8,599,000	100	114	2,167,538	25	126	953,985	11	95	589,066	7	87

項 年度	幼稚園費			社会教育費			保健体育費		
	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数	支出額	構成比	指数
平成29年度	210,296	3	100	1,379,826	18	100	2,546,898	34	100
平成30年度	127,401	2	61	1,523,442	20	110	2,560,800	33	101
令和元年度	—	—	—	1,730,421	16	125	2,736,425	25	107
令和2年度	—	—	—	2,461,746	26	178	2,567,842	27	101
令和3年度	—	—	—	2,179,048	24	158	3,062,629	34	120
令和4年度	—	—	—	2,098,082	24	152	2,790,329	33	110

(注) 令和4年度は当初予算額である。

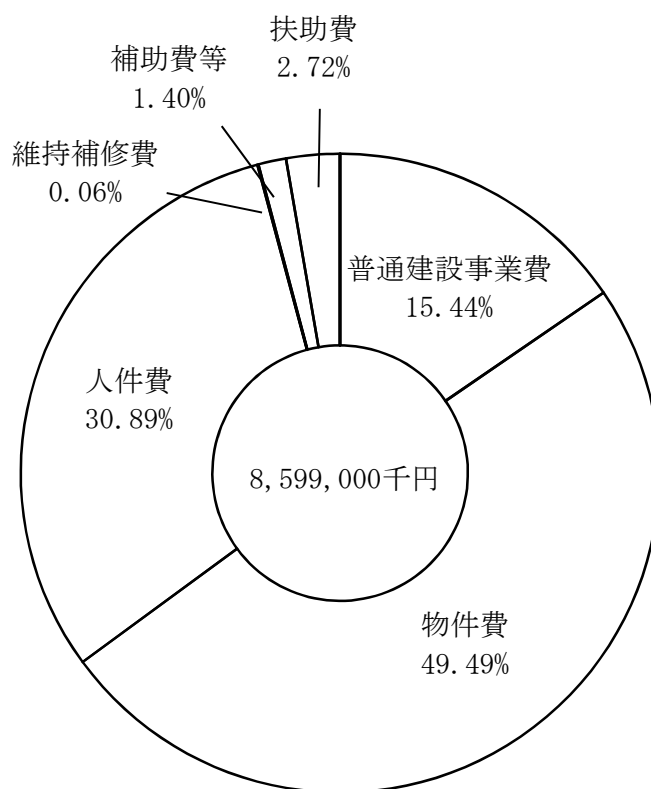
(3) 教育費項別構成表

(令和4年度当初予算)



(4) 教育費性質別構成表

(令和4年度当初予算)



(5) 学校建設費の推移

(単位：千円)

項目 年度	教育費総額	小学校建設費	割合 %	中学校建設費	割合 %	学校建設費の 占める割合 %
平成 25年度	9,506,808	688,221	7.2	—	—	7.2
平成 26年度	8,770,852	66,402	0.8	—	—	0.8
平成 27年度	8,740,355	1,641	0.0	—	—	0.0
平成 28年度	7,500,447	156,703	2.1	—	—	2.1
平成 29年度	7,533,615	—	—	—	—	—
平成 30年度	7,678,208	6,702	0.1	—	—	0.1
令和 元年度	11,096,743	142,615	1.3	—	—	1.3
令和 2年度	9,552,313	—	—	—	—	—
令和 3年度	8,941,700	—	—	—	—	—
令和 4年度	8,599,000	—	—	—	—	—

※令和4年度は当初予算額である。

(6) 令和4年度の主要事業
(新：新規事業 拡：拡充事業)

(単位：千円)

教育委員会

教育総務部

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
小中学校運営費	教育費	小中学校の円滑な運営を行う。 ・消耗品等の購入費 ・スクールバスの運行委託等	173,416	教育総務課
児童生徒費	教育費	小中学校における教育活動を推進する。 ・教授用消耗品等の購入費 ・学校図書館の図書や教師用指導書・教科書の整備費 ・保護者負担を軽減するため教材等の公費購入経費	185,957	教育総務課
小中学校コンピュータ活用教育推進事業	教育費	小中学校におけるコンピュータ活用教育を推進し、また校務効率化を図る。 ・校内コンピュータシステム関係作業委託等 ・校務用パーソナルコンピュータ賃貸借等 ・指導者用デジタル教科書ソフトウェア賃貸借	125,622	教育総務課
小中学校教育振興費	教育費	教育効果を一層高めるために必要な教材備品を整備する。 ・小中学校義務教育教材備品等購入費	39,717	教育総務課
オンライン家庭学習環境整備事業	教育費	自宅のインターネット接続環境が不足する児童生徒に対して通信環境を整備する。 ・モバイルルータ通信サービス利用料	3,898	教育総務課
小中学校情報機器整備事業	教育費	ICTを児童生徒の学習活動を支援するツールとして活用し、学習活動の充実を図る。 ・インターネット回線使用料 ・一人一台タブレット端末等賃借料	252,107	教育総務課
拡 教育環境整備事業	教育費	学校内のインターネット環境を整備することにより、教育のICT化を推進し、教育活動の充実を図る。 ・情報通信ネットワーク環境サービス手数料 ・無線アクセスポイント等賃借料 ・セキュリティ強化システム賃借料	46,074	教育総務課
学校規模適正化推進事業	教育費	学校規模適正化による八幡東中学校の八幡中学校への統合を円滑に行う。 ①統合校での受け入れ準備 ・牛乳保冷庫購入(八幡中) ・備品等移設委託(八幡東中→八幡中) ②統合に伴う保護者の新たな経済的負担の軽減 ・指定被服等購入費助成金	9,005	教育総務課 学校教育課 学校保健課
小規模学級特認校推進事業	教育費	特認校を指定し、少人数指導によるきめ細かな教育、学校独自の特色ある教育を行う。 ・募集ポスター、リーフレット作成の経費 <実施モデル校>国府小学校・海上小学校	93	学校教育課
小学校少人数学級推進事業	教育費	きめ細かな指導等を行うため、小学校1～6学年を35人学級編制とする。(1～3年生分は国負担) ・非常勤講師 11名(4～6年生分)	36,457	学校教育課
学級支援推進事業	教育費	特別な支援を必要とする児童生徒が在籍している普通学級や特別支援学級において、学級運営の補助員を配置する。 ・小学校 33人(普通学級 20人、特別支援学級 13人) ・中学校 6人(普通学級 3人、特別支援学級 3人)	71,647	学校教育課

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
小中学校就学援助事業	教育費	経済的理由によって、就学困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減する。 ・学用品費 ・修学旅行費ほか	107,733	学校教育課
学校給食共同調理場再整備事業	教育費	学校給食共同調理場全体としての質と量、コストの最適化を図り、今後も安全で安心な学校給食を安定的に提供していくため、市原市学校給食共同調理場再整備計画に基づき、再整備事業を推進する。 ・PFI事業者による新調理場の整備・運営業務（新調理場の設計、建設、維持管理及び運営の業務について民間事業者へ委託） 【令和4年度～21年度債務負担行為】 限度額16,493,686千円 ・新調理場整備・運営に係るPFI事業アドバイザー業務委託 【令和3年度～4年度継続事業】総額37,518千円 ・新調理場整備・運営に係るPFI事業モニタリング業務委託 【令和4年度～8年度継続事業】総額21,934千円 ・ちはら台調理場大規模改修実施設計業務委託	31,688	学校保健課
学校給食共同調理場施設整備事業	教育費	学校給食共同調理場施設の修繕工事等を行う。 ・ボイラー修繕工事等	15,970	学校保健課

教育振興部

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
公民館整備事業	教育費	市内公民館の施設・設備のうち、老朽化・故障が原因となり、利用者の安全に関わるなど緊急に対応が必要な箇所について、優先的に改修・修理する。 ・南総公民館防水・外壁改修工事 88,195千円 ・加茂公民館防水・外壁改修工事 145,745千円 ・市津公民館等防水・外壁改修工事 141,757千円 ・五井公民館体育室照明LED化工事 6,589千円 ・南総公民館非常用自家発電設備更新工事 16,500千円 ・アスベスト調査 1,573千円	400,359	生涯学習課
いはら市民大学推進事業	教育費	市原の魅力を再発見する学習や地域活性化につながる学習など、まちづくりに主眼をおいた学習機会を提供し、市民力の向上とまちづくりの担い手の育成を図る。 ・基礎講座(全20回)、開講式、卒業式 ・専門講座(8コース) ・教養講座(10講座)	3,110	生涯学習課 生涯学習センター
図書館運営事業	教育費	「知の情報拠点」として図書や雑誌、情報を整え、職員の専門性を活用し、子どもから高齢者まですべての世代が各々の課題を解決するために必要な情報や知識を得る機会を提供する。 ・図書等購入費 ・オンラインデータベース使用料 ・業界新聞等専門紙 ・文学講座ほか	123,185	中央図書館
新 電子書籍サービス事業	教育費	新しい生活様式を踏まえた読書環境を整備し、更なる図書館サービスの充実を図る。 ・月額クラウド利用料 ・電子書籍マーク ・システム初期導入費用 ・電子書籍購入	6,417	中央図書館

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
上総国府のまち更級日記千年紀事業	教育費	第2回更級日記千年紀文学賞への応募作品の中から、著名な作家等により大賞等を選考し発表するとともに、第3回の募集広告を行う。また、更級日記の魅力を深掘りするため、古典文学研究者等の参加によりフォーラムを開催する。 ・文学賞選考委員への謝礼 ・文学賞大賞ほか授賞者への賞金 ・作品募集用文芸雑誌等への広告料 ・フォーラム開催委託	10,148	中央図書館
地磁気逆転地層保存活用事業	教育費	日本で唯一のGSSP(国際境界模式地)である「チバニアン」の地層について、将来にわたって適切に保存・活用を行う。 ・ビジターセンター及び天然記念物指定地管理運営 ・普及事業(ゴールドデンスバイク設置記念式典等)	17,271	文化財課
地磁気逆転地層整備事業	教育費	整備基本計画に基づき、ガイダンス施設等の整備を進める。また、本事業が円滑かつ適切なコスト・品質において遂行されるよう、複数分野(土木・建築・展示)の工事を統括的に管理する必要があることから、CM(コンストラクション・マネジメント)委託により、進行管理を行う。 ・土木の詳細設計 ・建築・展示の基本設計 ・管理支援(CM)委託【令和3年度～7年度継続事業】 ・GSSPへのゴールドデンスバイク設置	139,332	文化財課
拡 いちはら歴史のミュージアム整備事業	教育費	歴史博物館の開館に併せて、受付等の施設管理、広報PR・展示制作について委託をする。また、歴史体験館の展示制作を行うとともに、市内全域を屋根のない博物館と見立て、フィールドミュージアムを展開する。 ・受付及びショップ運営【令和4年度～8年度継続事業】 ・博物館広報PR【令和4年度～6年度継続事業】 ・博物館WEBサイト【令和4年度～7年度継続事業】 ・体験館展示制作【令和3年度～4年度継続事業】 ・体験館展示制作施工監理【令和3年度～4年度継続事業】	210,246	文化財課
心のサポーター事業	教育費	長期欠席や不登校になりがちな児童やその家庭に対して、きめ細かな対応をとるため、全小学校に相談室を開設し、相談員を配置する。 ・心のサポーター 11名 延べ 1,470日	18,350	指導課
幼児教育活動事業	教育費	すべての子どもに質の高い教育・保育を提供するため、保育教諭・保育士に対する研修を行う。 ・幼児教育研修(リミック研修等) ・他市認定こども園視察	754	指導課
基礎学力定着推進事業	教育費	児童生徒の基礎学力の向上に資するため、授業支援や放課後学習支援を行う。 ・基礎学力定着特別講師 16名 延べ 3,392日 ・いはら学習サポーター 40校 延べ 3,120回 ・学習教材の作成・活用	49,868	指導課
拡 英語教育推進事業	教育費	英語教育の充実と英語力向上のため、学校教育において生きた英語に接する機会を提供する。 ・小中学校への外国人講師の配置 20名 ・全小学校での市原アクティブイングリッシュ事業の実施 ・中学1、3年生で英検IBAテストの実施	106,471	指導課
スクールカウンセラー事業	教育費	長期欠席や不登校になりがちな生徒やその家庭に対して、きめ細かな対応をとるため、中学校にスクールカウンセラー及びアシスタントを配置する。 ・スクールカウンセラー(県配置) ・スクールカウンセラーアシスタント 22名 延べ 2,310日 配置校:全中学校	28,037	指導課

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
いじめ対策事業	教育費	いじめの早期発見及び未然防止のための各種対策を行う。 ・ hyper-QUアンケート(小学校3年生以上の児童生徒) ・ いじめ防止等対策協議会の開催(年3回) ・ 「いじめゼロ宣言」の取り組み (イエローフラッグ・ポスター作成)	7,551	指導課
読書教育推進事業	教育費	読書活動の習慣化や充実を図り、児童生徒の豊かな感性と創造性を育むため、学校司書を配置する。 ・ 学校司書 28名 配置校:全小中学校	31,619	指導課
帰国・外国人児童生徒日本語学習等支援事業	教育費	日本語指導等を行う協力者を派遣し、帰国・外国人児童生徒等に対する教育の充実を図る。 ・ 指導回数 延べ 2,100回	5,304	指導課
授業魅力化推進事業	教育費	小学校において、本市独自の教科担任制を推進し、教員の専門性を生かした魅力ある授業を展開することで、本市全体の学力向上を図る。 ・ 小学校専科特別講師 1名 延べ 243日	3,285	指導課
加茂学園小中一貫グローバル化推進事業	教育費	加茂地区の活性化の一環として、小中一貫校である加茂学園のグローバル化を図り、国際的に活躍できる人材の育成を図る。 ・ 外国人講師の常時配置 3名 ・ イングリッシュルームの活用 ・ 放課後英語教室の実施 ・ 外国の学校とのオンライン交流	16,173	指導課
教職員研究研修事業	教育費	教職員の資質向上のための研修事業 ・ 教職員研修会 ・ 教職員研修用コンピュータリース	5,634	指導課 教育センター
新 市原版スクールソーシャルワーカーの配置	教育費	家庭環境などに起因する児童生徒の課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーを配置する。 ・ スクールソーシャルワーカー(市配置) ・ スクールソーシャルワーカー(県配置)	100	指導課
特別支援教育推進事業	教育費	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の保護者からの就学相談に応じるほか、小中学校等における特別支援教育の更なる推進を図る。 ・ 特別支援教育相談員 3名 ・ 電話による発達や就学に関する相談 ・ 市内幼稚園、保育所(園)、認定こども園、小中学校を訪問し、就学や進学に関する情報提供や保護者との個別相談 ・ 特別支援コーディネーター 1名 ・ 個別の児童生徒の指導方法等についての支援・助言、関係機関との連携等 ・ 教育支援委員会、特別支援教育等連携協議会の開催	3,976	教育センター
教育相談事業	教育費	不登校の児童生徒への指導・支援を行うため、適応指導教室指導員を配置する。 ・ 適応指導教室指導員 6名 ・ 適応指導教室施設使用料	9,411	教育センター
教育用ICT機器運用事業	教育費	小中学校の教育においてICTを活用することで、児童生徒の資質と能力を最大限に伸ばし、思い切り学べる環境づくりと支援体制の充実を図る。 ・ 学校貸出し用タブレット型PCのリース 280台 ・ 教育用PC等修繕料	20,565	教育センター
GIGAスクール推進事業費	教育費	児童生徒が授業動画を家庭でも視聴可能とすることで家庭での復習を充実させ、電子ドリルとの相乗効果により一層の学力定着につなげる。 中学生向けプログラミング教材提供、技術科教員向け研修会を開催し効果的に活用する授業を支援する。	7,757	教育センター

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
教育のイノベーション推進事業	教育費	ICT環境を最大限に活用し、これまでの教育実践とICTのベストミックスによる新たな学習、授業スタイルの構築のため、GIGAスクールアドバイザー(コーディネーター・イノベーター)による支援及び助言を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター(各校巡回、訪問) ・イノベーター(新たな教育の提案) 	13,750	教育センター
新 市立学校における医療的ケア実施体制の確立	教育費	インクルーシブ教育システムの構築に向けて、医療的ケアを提供し、全ての児童生徒が望む教育を平等に受けることが出来るようにする。医療的ケア見受け入れのための看護師配置等、医療的ケア実施体制を整える。	194	教育センター

市長部局

財政部

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
新 公共施設のESCO事業	教育費	脱炭素社会実現に向けて、省エネ設備への更新と環境意識の醸成を目指し市内小中学校のESCO事業を実施する。現状の光熱水費をサービス費の上限として、LED化や空調の省エネ化を、設備の調査、初期投資から維持管理まで実現する。 【令和4年度～20年度債務負担行為】 限度額610,650千円	0	公共資産マネジメント課
学校規模適正化推進事業	教育費	学校規模適正化による八幡東中学校の八幡中学校への統合を円滑に行うため、空調設備設置等改修工事(八幡中)を行う。	40,729	公共資産マネジメント課
小中学校トイレ環境整備事業	教育費	小中学校トイレを洋式トイレに改修するとともに、老朽化したトイレ環境の整備を図る。 ・発注管理支援業務委託 ・設計施工一括業務 ※令和4年度の学校施設環境改善交付金対象工事は令和3年度3月補正 【令和2年度～5年度継続事業】総額2,156,875千円 ・仮設トイレ賃貸借 16,500千円	705,994	公共資産マネジメント課
小中学校環境整備事業	教育費	学校施設の老朽化等に対応するため、各小中学校の施設改修等を行う。 ・施設改修工事等	96,100	公共資産マネジメント課
小学校施設環境整備事業	教育費	学校施設の大規模な環境整備を図る。 ・老朽化した白金小学校の給水管を改修するための実施設計を行う。 白金小学校給水管改修工事(実施設計委託)	5,936	公共資産マネジメント課
非構造部材耐震対策事業	教育費	学校施設の非構造部材の耐震化事業を行う。 ・屋内運動場耐震化工事(実施設計委託) 小学校 4校 中学校 7校 【令和3年度3月補正】 ・屋内運動場耐震化工事 小学校 6校 中学校 4校	722,603	公共資産マネジメント課
学校施設長寿命化対策事業	教育費	学校施設の長寿命化対策事業を行う。 ・校舎屋上防水改修工事 小学校 3校 中学校 1校 【令和3年度3月補正】 ・校舎屋上防水及び外壁改修工事 小学校 3校 中学校 1校	573,315	公共資産マネジメント課
新 学校施設バリアフリー化推進事業	教育費	学校施設のバリアフリー化推進事業を行う。 ・校舎バリアフリー化工事(実施設計委託) 小学校 9校 中学校 2校	56,111	公共資産マネジメント課

地方創生部

事業名	予算科目	事業内容	事業費	担当課
拡 いちばらの環境を活かしたスポーツ推進事業	教育費	多くのゴルフ場を有する特色を活かし、ジュニアゴルフ教室を拡充することにより、ゴルフ人口の底辺拡大を図り、「ゴルフのまちいちばら」の取組を進める。併せて、本市の豊かな自然環境を活かしたハイキングイベントを春・秋に開催する。	2,381	地方創生課

III 学校教育

1 幼児教育

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標1 未来へ飛躍する力の基礎となる確かな学力の養成と幼児教育の充実
施策の基本的な方針（2）質の高い幼児教育の推進

- すべての子どもたちが質の高い幼児教育を受けられるよう、教育の機会拡充や質の向上を図ります。
- 自発的な活動としての遊びを通じ、心身の調和のとれた発達を支援する中で、生涯にわたる人格形成の基礎づくりや義務教育へとつながる土台づくりを推進します。

◇令和4年度推進事業

（1）幼小一貫教育の推進

幼児期から義務教育の接続が円滑にいくよう、小学校と認定こども園、保育所（園）、幼稚園の職員が意見交換や合同の研修・研究の機会を設け、連携を通じた質の向上を図ります。

また、すべての子どもに質の高い教育・保育を提供するため、小学校区ごとに連携カリキュラムを作成・展開し、公立のみならず私立へも普及促進します。

（2）交流研修の推進

すべての子どもに質の高い教育・保育を提供するため、子ども未来部と連携し、公立認定こども園及び公立保育所の職員が公立認定こども園での交流研修を行い、教育・保育内容の充実を推進します。

（3）市原市幼小研修会の推進

認定こども園・保育所（園）・幼稚園・小規模保育事業所から小学校教育へのスムーズな橋渡しのため、研修会を実施し、幼児教育及び保育と小学校教育の連携を推進します。

2 学校教育

◇市原市教育大綱における基本目標及び施策の基本的な方針

基本目標1 未来へ飛躍する力の基礎となる確かな学力の養成と幼児教育の充実 施策の基本的な方針（1）未来を担う子どもたちの「確かな学び」の推進

- 基礎的・基本的な知識や思考力・判断力・表現力等の確かな学力を身に付け、主体的に学習に取り組むことができるよう、学校・家庭・地域の連携と、市民の力「市原力」等を活用して、教育活動の充実を図ります。
- 小学校において、確かな学力を身に付けて中学校へと進学できるよう、小中の一貫性を踏まえた、切れ目の無い確かな教育を実践します。
- 子どもたちが、社会を生き抜く力を身に付け、将来社会の中で活躍できるよう、体験活動やキャリア教育の推進、主権者教育等によるシティズンシップ（※1）の醸成を図ります。
- 様々な要因による教育格差の再生産や固定化の解消に向けて、市と教育委員会等が連携して取り組みます。

※1 シティズンシップとは、社会の一員として自立し、権利と義務の行使により、社会に積極的に関わろうとする態度。

基本目標2 一人一人の個性を生かした、感性豊かな心と健やかな体の育成 施策の基本的な方針（1）豊かな心と健康でたくましい子の育成

- 「子育て4か条」、「市原の子どもの4つの約束」の定着や道徳の時間等を通じて、自他を尊重し思いやる心、人間関係を築く力、主体的に判断し行動する力等を醸成し、感性豊かな心を育成します。
- 学校、遊び、地域スポーツ等の様々な機会を通じた体力の向上を推進し、健康でたくましい子を育成します。
- 学校保健、学校給食、食育の充実等により、様々な健康課題等に適切に対応し、健康の保持増進を図ります。

基本目標3 いじめを許さない体制づくり

施策の基本的な方針（1）いじめの未然防止と早期対応

- 道徳教育・体験活動の充実や「市原の子どもの4つの約束」等を通じて、豊かな情操や規範意識、他者への思いやり等を育み、いじめを発生させない風土の醸成を図ります。
- いじめを許さないという強い思いのもと、「市原市いじめ防止等のための基本方針」の理念に基づき、アンケートの実施や市・教育委員会・学校・家庭・地域等の連携、相談体制の充実等により、いじめの未然防止と早期に発見・対応できる体制の充実を図ります。

基本目標4 思い切り学べる教育環境づくりと支援体制の充実

施策の基本的な方針（1）子どもたちが思い切り力を伸ばせる教育環境づくり

- 児童生徒の学力向上や課題探求型の学習、道徳の教科化等の新たな学びにも対応した質の高い学習を実現できるよう、教員の資質能力の総合的な向上を図ります。
- 児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていけるよう、学校規模の適正化を進めます。
- より効果的に確かな学力を育成するため、さらなるICT(※2)環境の整備を進め、協働型・双方向型の授業を推進します。

※2 ICTとは、Information and Communication Technologyの略。情報や通信に関する技術の総称。

施策の基本的な方針（2）学校の安心・安全対策の充実

- 児童生徒等の学習・生活の場である学校施設の耐震対策を推進するとともに、通学路等の安全確保に取り組みます。
- 老朽化が進む学校施設や給食施設等の長寿命化や再編、改修等に計画的に取り組みます。
- 近年の異常気象等を起因とする大規模な災害を教訓として、防災に関する教育の充実や危険に際して主体的に行動する能力を育みます。

施策の基本的な方針（3）あらゆる子どもへの支援体制の充実

- 基本的な生活習慣の習得、自立心の育成、心身の調和のとれた発達等の大きな役割を担う家庭教育を支援するため、市・教育委員会・学校・家庭等の連携のもと、家庭教育に関する学習機会や情報の提供等の支援を推進します。
- 児童が放課後を安心・安全に過ごせるよう、学童保育等の放課後対策を推進します。
- 障害者の権利に関する条約に掲げられたインクルーシブ教育システム(※3)の構築に向けて、教育内容や方法の改善充実を図ることで、すべての子どもたちが能力や可能性を最大限に伸ばせる環境づくりを進めます。
- 不登校・貧困問題・発達障がい等の様々な課題に対応するため、各種相談体制の充実を図ります。

※3 インクルーシブ教育システムとは、人間の多様性の尊重等を強化し、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み。

◇令和4年度推進事業

(1) 学力向上推進事業

①基礎学力定着推進事業

市原市の児童・生徒の基礎学力定着に向けて、基礎学力定着特別講師及びいちほら学習サポーターを配置し、小学校の算数のつまずきの大きい児童を中心として、基礎学力の定着を推進します。

また、基礎学力の向上を図るため「日本の言の葉 音読朗読集」「言語能力向上ワーク」「スキルアップドリル」の活用を推進し、学校や家庭での学習に生かします。

②授業魅力化推進事業

小学校高学年の英語、算数、理科の3教科に小学校専科特別講師を配置し、教科担任制を推進します。授業の魅力化により、児童の学習に対する意欲を高め、新たな時代に求められる資質・能力を向上させると共に、既存の基礎学力定着推進事業と組み合わせることで、市全体の学力向上を図ります。

(2) 英語教育推進事業

①外国人講師活用事業

児童・生徒の英語学習意欲の向上と「聞く・話す」力の伸長を図るため、市内小中学校に外国人講師（ALT）を配置し、中学校は学級単位で週1回程度、小学校は3年生以上を対象に学級単位で月1～2回程度、ALTと一緒に英語の授業を実施します。

②市原アクティブ・イングリッシュ事業

体験的な学習活動を展開することを通して、子どもたちの英語を実用的に活用できる能力の育成を図るため、市内全小学校に、通常の外国語活動の授業とは別に、学校規模に応じて複数の外国人講師（ALT）を1日派遣し、5年生を対象とした校内留学体験として、1日英語のみによる特別活動を少人数グループ単位で実施します。

③英語教育の推進

中学校修了時に実践的なコミュニケーション能力を有している児童生徒の育成を目指し、7年間の英語学習に見通しを持って取り組むために、中学校1、3年生において中学1年生は英検5級程度、3年生は英検3級程度の英語力を図る英検IBAテストを実施します。結果のフィードバックにより生徒自身が習熟度を把握し主体的に学習に取り組む態度を養います。

(3) 加茂学園小中一貫グローバル化推進事業

小中一貫校である加茂学園の特性を最大限に活かし、さらに魅力ある「通いたい・通わせたい学校」を実現するために、外国人講師（ALT）の常時配置等によってグローバル化を図ることで、今後の社会で求められる英語力の向上を目指し、国際的に活躍できる人材を育成します。令和4年度より、文部科学省教育課程特例校として、英語を中心としたコミュニケーション活動に取り組むグローバル・コミュニケーション科を新設します。

(4) 市原市 GIGA スクールの推進

これまでの教育実践と教育 ICT 環境をベストミックスする「IChiHaRa スタイル」を基本に、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す「市原市 GIGA スクール」を推進し、学力を基礎として、必要な情報を収集・分析し、それを活用して主体的に課題解決する子どもの育成を図ります。また、タブレット端末の家庭学習での活用、コロナ禍における ICT 機器を活用したオンライン授業や学習コンテンツの配信等、全ての子どもたちの学びを保障する取組を進めます。

(5) 読書教育の推進

学校図書館の有効活用を図るため、学校司書を1校当たり週1日から週3日勤務で、全小中学校に配置し、読書教育の充実を図ります。そして、児童・生徒の読書量の増加や不読率（1ヶ月に1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合）の減少、調べ学習の充実、読書の好きな児童・生徒の割合の増加等を推進します。

(6) 小学校少人数学級推進

学習・生活習慣の定着、基礎学力の定着・向上及び子どもたちの豊かな人間関係を築くため、すべての小学校の全学年において35人以下の学級編制を実施し、一人一人にきめ細かな指導・対応を行います。

(7) キャリア教育の充実

キャリア教育の充実を図るため、職場体験活動等を通して、人間関係力や、将来社会を主体的に生き抜くことのできる力の育成を図ります。

(8) SDGs の推進

児童生徒一人一人が持続可能な社会の創り手として活躍できるよう SDGs の理念を理解するとともに、その視点を踏まえた教育の実践に取り組みます。

(9) 「正義の心」「素直な心」「優しい心」を大切にする『市原市いじめ「ゼロ」宣言』の定着

全市を挙げて感性豊かな子どもの育成を目指し、児童・生徒自らが作成した「正義の心」「素直な心」「優しい心」を大切にする『市原市いじめ「ゼロ」宣言』を、市内保幼小中を中心に広く市民に広めます。

(10) 道徳教育の充実

自他を尊重し、思いやる心、人間関係を築く力、主体的に判断し行動する力等を醸成するため、感性豊かな心の育成を図ります。

(11) 市原力で輝く学校地域連携事業

子どもたちが社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む教育の充実を図るため、各地区において小学校と中学校及び地域が連携して、ボランティア活動や地域の特徴を生かした取組を実施します。また、学校・家庭・地域住民等が本音で語り合うことを通して、協力し合う環境づくりを推進するために市内の小学校・中学校・公民館などを会場に集会を実施します。

(12) 児童・生徒の体力向上推進

児童・生徒の体力を向上させるため、各学校の新体力テストの結果を千葉県の新体力運動能力と比較・分析して体育授業の改善を図ります。

(13) 部活動の充実

児童・生徒がスポーツ等に親しめる基盤として部活動を持続可能なものとするために、平成31年1月に策定した「市原市運動部活動ガイドライン」を周知し、適切な運動部活動運営の支援を行います。

(14) 部活動の外部指導者活用

児童・生徒の体力・技能の向上を目指し、地域と連携を図りながら学校支援ボランティア等の外部指導者を積極的に活用します。

(15) 地域スポーツの活性化（総合型地域スポーツクラブへの支援）

子どもから高齢者まで身近な地域でスポーツに親しめる環境を提供し、地域スポーツの活性化を図るため、地域住民や大学が主体となった総合型地域スポーツクラブの運営を支援します。

(16) パラスポーツ体験授業

パラアスリートを招き、パラスポーツを体験する授業を行い、スポーツを通じて障がい者への理解を深める機会の提供を図ります。

(17) 新型コロナウイルス感染症への対策

新型コロナウイルス等の感染症拡大のリスクを最小限にするため、家庭や学校における子どもたちの健康観察の徹底を図るとともに、学校における感染症対策に必要な保健衛生用品等を整備する。

(18) 生理用品整備事業

各小中学校において、小学校4年生以上の女子トイレに生理用品を配置し、必要とする児童生徒がいつでも使用できる環境を整備します。

(19) 児童・生徒等の保健管理

児童・生徒等の健康保持のため、学校保健安全法に基づく健康診断及び学校環境衛生基準に基づく環境衛生管理を適切に行うとともに、全小中学校でのフッ化物洗口の実施等により学校保健を推進します。

(20) 安心・安全な学校給食の提供

安心・安全な学校給食を提供するため、学校職員・調理場職員に対し、食物アレルギーや衛生管理の研修会等を実施するとともに、「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の考え方を周知徹底します。

(21) 食に関する指導等の推進

児童・生徒が食に関する知識や正しい食習慣を身に付け、健康の増進を図ることができるように、新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえ、安全面を十分確保しながら食に関する指導等の食育の推進に取り組みます。

(22) 学校給食における地産地消推進

学校給食という生きた教材を通して、豊かな食文化を継承するため、「市原市民に元気な笑顔を広げる地産地消推進条例」を踏まえ、市原産農産物の学校給食への使用を拡充するとともに、市原産農産物を使用した加工品の導入に努めます。

(23) いじめ対策

いじめの未然防止のため、小学校3年生以上の児童・生徒を対象に hyper-QU アンケートを実施し、児童・生徒への理解を一層深め、「いじめのない学校づくり」を目指します。

また、いじめを発生させない風土醸成のため、市内全小中学校児童会・生徒会によって策定した「市原市いじめ『ゼロ』宣言」を基に、子どもたちを中心とした主体的な活動を通して、いじめ撲滅を目指します。

(24) スクールカウンセラーアシスタント配置

不登校、いじめ、問題行動等への対応を図るため、スクールカウンセラーアシスタントを週3回、全中学校に配置し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら、児童・生徒や保護者に対するカウンセリングにより早期対応、早期解決を図ります。

(25) 心のサポーター配置

不登校、いじめ、問題行動等の低年齢化に対応するため、心のサポーターを週1~3回、32校の小学校に配置し、相談・カウンセリング体制の一層の充実を図り、児童・保護者が抱える様々な心の問題に対して、早期対応、早期解決を図ります。

(26) スクールソーシャルワーカー配置

児童生徒が抱える課題を早期発見、解決するため、社会福祉に関する専門的な知識、経験に基づき、家庭環境への働きかけや保護者、教職員に対し、指導助言を行います。

(27) 教職員研修

教職員の資質・能力を高めるため、学力向上に向けた研修、情報教育に関する研修、授業力向上のための研修、人権意識の向上と信頼関係づくりを目指す研修、子どものSOSを見逃さないための関係機関との合同研修等で、取組の充実を図ります。

(28) 学校規模適正化推進

子どもたちの教育環境の向上を最優先とした市原市学校規模適正化基本方針の具現化に向けて、学校規模適正化の対象地区の地域・保護者等との協議を行います。また、学校規模適正化による八幡東中学校の八幡中学校への統合を円滑に行います。

(29) 小規模学級特認校推進

小規模学級の特性を生かした教育を実現するため、20人以下の少人数指導によるきめ細かな教育を行うとともに、体験活動の充実や地域との連携を図った学習の展開などを図り、学校独自の特色ある教育を推進します。

(30) 小中学校就学援助事業

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒（就学予定者を含む。）のいる家庭に対し、就学に必要な経費の一部を援助することにより、就学の機会均等を図ります。

(31) 学校教職員のメンタルヘルスケア

「うつ」などのメンタル不調の未然防止を図るため、小中学校の学校教職員にストレスチェック検査を実施し、自身のストレスの状態を把握させることで、必要に応じ、自己で意識づけるセルフチェックや職場環境の改善、医師との面談等につなげます。

(3 2) 非構造部材耐震対策

東日本大震災では、吊り天井等の非構造部材が落下する事故が各地で発生したことから、児童・生徒の安全を確保するため、学校施設の非構造部材についても、耐震化設計及び工事を実施します。

(3 3) 小・中学校トイレ環境整備

学校トイレは、老朽化や現在の生活様式に合わなくなっていることから、「入りやすい・使いやすいトイレ」にするため、洋式化等の改修に短期的、集中的に取り組みます。

また、災害時には避難所となることを踏まえ、体育館及び武道場は、全てのトイレを洋式化します。

(3 4) 小・中学校施設環境整備

安全で快適な学習環境を確保するため、学校施設の老朽化や様々な社会的要請に対応する改修を実施します。

(3 5) 学校施設長寿命化対策

児童生徒の安心安全を確保するため、学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設の改修を計画的に実施します。

(3 6) 学校施設バリアフリー化推進

障がいのある児童生徒が支障なく、安心して学校生活を送ることができるようにするとともに、災害時に避難所としての役割を果たすため、学校施設のバリアフリー化を推進します。

(3 7) 学校給食共同調理場再整備事業

安全・安心な学校給食を安定的に提供するとともに、学校給食共同調理場全体としての、質と量、コストの最適化を図るため策定した市原市学校給食共同調理場再整備計画に基づき、再整備事業を推進します。

(3 8) 防災教育

大規模災害に備えるため、6・11 幼小中一斉防災訓練の実施と学校危機管理マニュアルの整備を行い、主体的に行動する能力を育みます。

(3 9) 家庭教育支援

子どもの健全な成長や人格の形成にとって、最も大切な場である家庭での教育が適切に行われるよう、保護者、学校、地域及び行政が連携し、学習機会や相談体制、情報提供の充実などを図ります。

(4 0) 放課後子ども教室事業の検討

地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動を通じて、児童の自主性、社会性を培うための放課後子ども教室の実施を検討します。

(4 1) 学級支援推進

支援、介助を必要とする児童・生徒が在籍する学級の学習環境づくりを推進するため、学級補助員、特別支援学級指導補助員を配置します。

(4 2) 特別支援教育推進

障がいの有無にかかわらず、特別な支援を必要とするすべての幼児・児童・生徒の自立と社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行います。そのための体制を整え、適切な指導・助言を行います。

(4 3) 教育相談

不登校や心因性の問題を抱える児童・生徒の教育相談を行い、適応指導教室に通級する児童・生徒に学校復帰や進路を主体的にとらせさせ、社会的に自立することを支援するため、適切な指導・助言を行います。

(1) 研究

令和4年度「研究学校」一覧

千葉県教育施策・学校教育指導の指針及び市原市教育大綱・市原市学校教育振興計画・市原市学校教育推進プランに則した学校経営の下で、調和のとれた教育課程の実践を図り、指導の質を高めるとともに地域教育研究の核とすることを趣旨として指定している。

N0	主 管	研 究 対 象	学 校 名	校 長 名	指 定 年 度	備 考
----	-----	---------	-------	-------	---------	-----

第1指定部門

1	市教委	外国語・外国語活動	ちはら台桜小学校	毛塚 真澄	3・4	
2	市教委	道 徳	辰巳台西小学校	御所脇みどり	3・4	
3	市教委	道 徳	国分寺台中学校	小高 輝美	3・4	
4	市教委	数 学	辰巳台中学校	渡邊 重	3・4	
5	市教委	国 語	東海小学校	後藤 知憲	4・5	
6	市教委	算 数	五所小学校	清水 孝成	4・5	
7	市教委	保健体育	戸田小学校	東 周	4・5	

第2指定部門

8	市教委	A L (アクティブ・ラーニング)	ちはら台西中学校	近常 浩裕	3・4	
9	市教委	小中一貫教育(連携型)	国分寺台西中学校区 (国分寺台西中 国分寺台西小 国分寺台東小)	野代 茂行 二階堂 早苗 野崎 由美子	3・4	
10	市教委	読書教育	国分寺台小学校	一瀬 朋子	3・4	
11	市教委	読書教育	三和中学校	安藤 康哉	4・5	
12	市教委	プログラミング教育	有秋西小学校	鈴木 啓子	3・4	
13	市教委	幼少一貫教育	辰巳台東小学校	野澤 省吉	4	

幼児教育部門

1	市教委	幼小一貫教育	辰巳台認定こども園	高橋 京子	4	
---	-----	--------	-----------	-------	---	--

特別指定

1	市教委	未来へつなぐ教育小中一貫 グローバル化推進校	加茂学園	積田 剛幸	2～	
2	市教委	G I G A スクール 推進研究指定校	国府小学校	村上 雅志	2～	

県指定事業

1	県教委	「ちばっ子の学びの 変革」推進事業検証協力校	南総中学校	野村 雅彦	3・4	
2	県教委	福祉教育推進校	光風台小学校 双葉中学校	今道 和信 藤田 嘉治	4・5・6	
3	県教委	N I E 研究指定校	市原中学校	根本 尚美	3・4	
4	県教委	小学校教科担任制研究指定	水の江小学校	阿部あけみ	4	
5	県教委	特別支援教育における通級 による指導の推進	千種小学校	村串 悦子	4	
6	県教委	「心のバリアフリー教育」	市原小学校 双葉中学校	柳井 美重子 藤田 嘉治	4	

(2) 学校施設

①小学校

(令和4年5月1日現在) (単位: m²)

学 校 名	創 立 年 度	建 物 面 積				敷 地 面 積
		校 舎		屋 内 運 動 場		
		木造	非木造	木造	非木造	
八幡	M 6		4,845		1,122	26,430
菊間	// 7	40	6,026		800	21,360
市原	// 40	85	5,219		944	22,261
辰巳台東	S 41	125	5,730		1,133	19,836
辰巳台西	// 36	66	5,448		1,024	19,434
五井	M 7	102	6,326		1,126	31,438
白金	S 45	85	4,950		843	28,961
国府	// 33	41	2,580		823	9,784
京葉	M 7	52	4,835		965	24,717
千種	S 46	92	6,774		960	23,873
東海	T 14	71	3,319		803	22,476
姉崎	M 6	92	4,684		1,133	16,047
有秋東	// 20	40	4,937		804	22,421
海上	// 24	40	2,375	64	601	15,745
市西	// 7	26	3,416		898	18,000
養老	T 5	41	3,024		815	29,375
湿津	M 36	46	4,438		747	19,211
市東第一	// 15	59	3,082		783	17,122
戸田	M 6	72	3,762		888	16,909
牛久	// 6	78	4,284		752	27,532
鶴舞	// 6	72	2,805		809	17,795
有秋西	S 42	34	4,162		960	26,051
若葉	// 47	93	4,041		816	23,935
明神	// 46	87	4,925		802	26,070
若宮	// 47	26	5,856		917	23,733
石塚	// 49	62	4,425		800	20,115
青葉台	// 50	51	5,271		981	22,974
白幡	// 54	63	4,186		805	25,867
国分寺台	// 54	63	4,575		809	21,000
光風台	// 55	63	5,328		805	26,579
寺谷	// 56	66	3,256		805	30,339
国分寺台西	// 57	52	4,495		802	21,000
有秋南	// 57	78	4,993		811	23,680
国分寺台東	H 元	52	3,974		812	21,000
水の江	// 元	26	5,155		798	22,999
五所	// 4	26	5,005		991	25,041
清水谷	// 6		5,896		1,326	22,994
牧園	// 8		5,742		931	23,039
ちはら台桜	// 22		6,326		985	23,000
加茂	// 24	30	2,655		502	13,609
計		2,197	183,125	64	35,231	893,752

②中学校

(令和4年5月1日現在)(単位: m²)

学 校 名	創 立 年 度	建 物 面 積						敷 地 面 積
		校 舎		屋 内 運 動 場		柔 剣 道 場		
		木 造	非 木 造	木 造	非 木 造	木 造	非 木 造	
八 幡	S 22	153	6,561		1,216		672	32,720
菊 間	" 22	33	4,479		815		671	31,799
市 原	" 22	86	4,342		1,004		671	42,878
五 井	" 22	26	7,113		1,594		674	31,272
東 海	" 22		2,750	26	725		782	20,667
姉 崎	" 22	26	6,631		1,357		672	34,555
三 和	" 37	126	3,882		1,014		670	30,561
湿 津	" 24	92	3,421		1,009		672	24,273
市 東	" 22	79	3,037		1,151		782	31,015
辰 巳 台	" 37	188	5,829		1,922		830	36,618
加 茂	" 40	20	2,445		503		670	13,611
南 総	" 46	27	6,088		1,076		673	39,584
若 葉	" 53	70	4,012		1,006		671	32,609
有 秋	" 53		7,120		1,007		671	39,863
八 幡 東	" 56	52	4,455		1,002		671	32,879
国 分 寺 台	" 58	26	4,682		1,013		671	30,012
姉 崎 東	" 58	78	4,703		1,013		782	32,286
双 葉	" 58	26	5,740		1,012		782	26,457
千 種	" 62	52	4,747		1,012		681	32,649
国 分 寺 台 西	" 63	26	5,239		1,012		681	29,994
ちはら台南	H 4	26	6,362		1,012		782	32,989
ちはら台西	" 24		5,153		1,222		836	33,000
計		1,212	108,791	26	23,697		15,667	692,291

3 教育センター

(1) 運営方針

- ① 市原市教育センターを市内小中学校・公立認定こども園のサポート機関と位置づけ、関係諸機関及び民間団体との連携をより密接なものにするとともに、学校現場に対しその機能を最大限発揮できるように努める。
- ② 教育に関する諸課題の解決に向けて所員の知恵を結集するとともに、中・長期的な見通しを持って各事業を推進し、子どもの夢実現をサポートする。
- ③ 各業務分掌については、各自が責任を持って業務推進にあたり、センター業務全般にわたり、より強固な協働体制が築けるよう、情報の共有化に努める。
- ④ 教育相談活動及び特別支援教育推進の中核的な役割を担う機関として、指導課、学校や諸機関との連携を密にし、あらゆる子どもへの支援体制の充実を図る。
- ⑤ 教育の情報化推進のための ICT 機器の整備と安定したネットワーク環境の構築を図る。

(2) 主な事業内容

① 調査研究事業

ICTを日常的に活用し、自ら学ぶ子どもの育成。

ア) 教育センター及び指導課を含む関係部署の担当職員が中心となり、研究員・編集委員を任命し、共同研究の体制をもって行う。

イ) 学習資料編集委員会

小学校社会科副読本（同付録地図）「私たちの市原市」の編集を行う。

ウ) 生活実態調査

市内全児童生徒の生活の実態及び状況を明らかにすることで、今後の指導や家庭への啓発のための土台となる資料を作成する。

2年おきの実施で、次回実施は令和5年度。

② 教職員研修事業

「千葉県・千葉市教職員等育成指標」及び「千葉県教職員研修体系」に基づき、本市の持つ教育課題をふまえ、教職員の資質・能力の向上と授業改善を図るための研修を計画・運営し、本市教育の充実に資する。

ア) 児童生徒の学力向上に向けた各教科・領域の研修会を開催する。

イ) 今日的教育課題の解決や教師力の向上を目指した研修会を開催する。

ウ) 千葉県・千葉市教職員等育成指標に応じた研修会を開催する。

③ 教育の情報化推進事業

国や県の教育の情報化に関する施策を念頭に置き、本市の教育の情報化及び施設設備面での課題を明らかにし、本市の情報教育の充実を図る。

- ア) ICTを活用した授業の支援を行う。また、指導資料の提供や操作方法・活用方法などデジタル教科書やタブレット端末、電子黒板などについて研修を実施する。
 - イ) 校務支援システムの研修を実施する
 - ウ) 各教科・領域等におけるICTの効果的な活用、タブレット端末を利活用した指導方法の改善を図る。
 - エ) プログラミング教育に対応した研修用教材を導入し、教職員を対象にした研修会や要請訪問の実施や教材の貸し出しを行う。
- ④ 特別支援教育推進事業
- 市内小中学校・公立認定こども園でインクルーシブ教育システムの構築を図り、どの子ども自分の持てる力を最大限に発揮できる教育環境づくりに取り組む。
- ア) 市内小中学校・公立認定こども園・~~保育所~~の特別支援教育支援体制の充実に向けた支援を行う。
 - イ) 特別支援教育に係る教職員の指導力の向上のための支援・研修を行う。
 - ウ) 特別な支援を必要とする幼児児童生徒及び保護者への相談支援を行う。
 - エ) 切れ目のない指導・支援のため、関係機関との連携・協力を図る。
 - オ) 医療的ケアを必要とする児童生徒への対応について受け入れ体制を整える。
- ⑤ 教育相談・適応指導教室事業
- 教育相談活動及び適応指導教室の充実を図る。
- ア) 不登校や集団不適應、進路などの悩みに対し、児童生徒及び保護者を対象に面接による相談を行う。
 - イ) 適応指導教室において、不登校状態が長期化している児童生徒への積極的な支援を行い、学校への段階的な復帰と社会的自立を目指す。
- ⑥ 普及事業
- 各学校・園における教育活動の振興に資するため、図書や教具の貸し出し等サービス機能の充実を図る。
- ア) 教育図書・研究資料・学習資料の整備充実を図る。
 - イ) 教育図書・理科備品・ICT機器等の貸し出しを行う。
- ⑦ 地方教科書センターとして、その事業を推進する。
- ⑧ 市原技術教育センターとして、技術・家庭科教育の充実のため実効性のある研修を行う。

4 学 事

(1) 児童・生徒

(小学校)

		1 年 年				2 年 年				3 年 年				4 年 年											
		学級	児童数	特別支援児童数				学級	児童数	特別支援児童数				学級	児童数	特別支援児童数									
				知的	情緒	言語	難聴			知的	情緒	言語	難聴			知的	情緒	言語	難聴	知的	情緒	言語	難聴		
1	八幡	2	64	2	1			2	50		1			2	60		1			2	64	3			
2	菊間	1	28		1			1	30					1	29		2			2	40				
3	市原	1	33	2				1	31	1				1	34		2			1	29		2		
4	辰巳台東	2	60	2	2			3	73	2	2			2	58	1				2	64		1		
5	辰巳台西	2	45					2	44	2				2	38	5				2	46	3	3		
6	五井	4	115	1	1			4	120	3	2			4	138	2	1			4	136	3	1		
7	白金	2	38					2	47					2	54	2	2			2	39	2	1		
8	国府	1	13		2			1	7	1	1			1	12					1	14	2	1		
9	京葉	3	80	2				3	90	2	1			3	87	4	1			3	96	3			
10	千種	3	105	2	2			4	114		2			4	115	1	1			4	115	2	1		
11	東海	1	25					1	27	2				1	26					1	34		2		
12	姉崎	2	44		1			1	23					2	38	1				2	52	1	1		
13	有秋東	1	27					2	38	2	1			2	40					2	39				
14	海上	1	14					1	13					1	14					1	9				
15	市西	1	23					1	18					1	22	1				1	18		1		
16	養老	1	7					1	8					1	13		1			1	12	1	1		
17	湿津	3	75	1				4	107	1				3	79	2				3	88		1		
18	市東第一	1	11	1				1	11		2			1	15		1			1	12				
19	戸田	1	22	1				1	24					1	21	2				1	19	1	2		
20	牛久	1	20					2	36					1	26	1	1			2	43		1		
21	鶴舞	1	10					1	13	1				1	9		1			1	15	1			
22	有秋西	1	29	2	1			2	52		1			2	53	1	1			2	52				
23	若葉	2	57	1				2	49	1	1			2	63		1			2	52				
24	明神	2	44		1			1	32	2	2			2	44					2	46	6			
25	若宮	2	43					2	48	1	1			2	36					2	41	1			
26	石塚	2	68					2	56	1	1			3	74	1				2	53	2	1		
27	青葉台	2	58					2	52	3	1			2	48	1	2			2	51	2			
28	白幡	1	25					1	16	1	1			1	19		1			1	25	1			
29	国分寺台	2	67		1			2	70					2	62	2				2	61	1	4		
30	光風台	1	33					1	28		1			1	34	1	2			2	37				
31	寺谷	1	6	1				1	10					1	11	2				1	5				
32	国分寺台西	3	84	1				3	80	1				3	94		1			3	84	1	1		
33	有秋南	1	26		1			1	24	1				1	23					1	12		1		
34	国分寺台東	2	53	1	2			2	44					2	46		1			2	41	1	1		
35	水の江	4	135	1	2			4	122	1	1			4	126	3	3			4	129	1	3		
36	五所	2	36					1	31		1			2	42	1				1	36	1	1		
37	清水谷	2	68					3	81	4	1			3	85	1	1			3	90	1	4		
38	牧園	4	113	1				3	91	1	1			3	97	1				3	94	1			
39	ちはら台桜	3	92	2				4	107	1	1			3	90	2	2			3	97	2	2		
40	加茂	1	10					1	16					1	15					1	15				
合 計		73.0	1,906	24	18			77.0	1,933	35	26			77.0	1,990	38	29			78.0	2,005	43	37		

※ 特別支援学級児童数・学級数については、外書き表記となっています。

(令和4年5月1日時点)

		5年				6年				合計													
		学級	児童数	特別支援児童数				学級	児童数	特別支援児童数				学級	児童数	特別支援児童数				特別支援学級数			
				知的	情緒	言語	難聴			知的	情緒	言語	難聴			知的	情緒	言語	難聴	知的	情緒	言語	難聴
1	八幡	2	64	1				3	71					13	373	6	3			1	1		
2	菊間	1	37	2	1			2	45		1			8	209	2	5			1	1		
3	市原	1	29					1	37	3	1			6	193	6	5			1	1		
4	辰巳台東	2	55	2				2	65	1	1			13	375	8	6			1	1		
5	辰巳台西	2	42	2				2	56	3				12	271	15	3			2	1		
6	五井	5	159	2	3			4	140		2			25	808	11	10			2	2		
7	白金	2	45	3	2			2	51					12	274	7	5			1	1		
8	国府	1	16					1	11					6	73	3	4			1	1		
9	京葉	3	88	2				3	92		1			18	533	13	3			2	1		
10	千種	4	117	1				4	118	1	4			23	684	7	10			1	2		
11	東海	1	30	1	1			1	27	1				6	169	4	3			1	1		
12	姉崎	2	42	2	1			1	38	1	1			10	237	5	4			1	1		
13	有秋東	2	44	3				2	40					11	228	5	1			1	1		
14	海上	1	12					1	10		1			6	72		1					1	
15	市西	1	18		1			1	22					6	121	1	2			1	1		
16	養老	1	8	1	2			1	15					6	63	2	4			1	1		
17	湿津	3	103					2	69	2	1			18	521	6	2			1	1		
18	市東第一	1	18					1	19	2	1			6	86	3	4			1	1		
19	戸田	1	28					1	28		1			6	142	4	3			1	1		
20	牛久	1	37					2	50	1	2			9	212	2	4			1	1		
21	鶴舞	1	14					1	18					6	79	2	1			1	1		
22	有秋西	2	64		4			2	62	1	2			11	312	4	9			1	2		
23	若葉	2	55	1	2			2	62	1	1			12	338	4	5			1	1		
24	明神	2	51	1				2	50	1	2			11	267	10	5			2	1		
25	若宮	2	43		2			2	43	2	2			12	254	4	5			1	1		
26	石塚	2	55	1				2	56	1				13	362	6	2			1	1		
27	青葉台	3	76	1				2	46	5				13	331	12	3			2	1		
28	白幡	1	27					1	30		1			6	142	2	3			1	1		
29	国分寺台	2	67	1	1			3	74	1				13	401	5	6			1	1		
30	光風台	2	45	2	1			2	40					9	217	3	4			1	1		
31	寺谷	1	17					1	10					6	59	3				1			
32	国分寺台西	3	84	1	1			3	83	1	1			18	509	5	4			1	1		
33	有秋南	1	22					1	25					6	132	1	2			1	1		
34	国分寺台東	2	43	2	4			2	45	1	2			12	272	5	10			1	2		
35	水の江	3	103	3				3	102	2	2			22	717	11	11			2	2		
36	五所	2	48	2				2	39	3				10	232	7	2			1	1		
37	清水谷	3	96	2				4	111	1				18	531	9	6			2	1		
38	牧園	3	84	2				3	112	3				19	591	9	1			2	1		
39	ちはら台桜	3	89		3			3	111		1			19	586	7	9			1	2		
40	加茂	1	18		1			1	15					6	89		1					1	
合	計	78.0	2,093	41	30			79.0	2,138	38	31			462	12,065	219	171			46	45		

児童数計 12,455

(中 学 校)

(令 和 4 年 5 月 1 日 時 点)

		1 年				2 年				3 年				合 計					
		学級	生徒数	知的	情緒	学級	生徒数	知的	情緒	学級	生徒数	知的	情緒	学級	生徒数	生徒数 知的	生徒数 情緒	学級数 知的	学級数 情緒
1	八幡	6	198	6	3	5	176	8	1	5	189	3		16	563	17	4	3	1
2	菊間	1	29			2	39	3	3	2	39			5	107	3	3	1	1
3	市原	2	45		1	2	41		3	2	41	6		6	127	6	4	1	1
4	五井	7	253	1	2	7	253	3	4	9	313	5	3	23	819	9	9	2	2
5	東海	1	18	1		1	23	1		1	25	1		3	66	3		1	
6	姉崎	3	95	3	3	3	101	3		3	92	1		9	288	7	3	1	1
7	三和	1	31			1	35	1	1	1	32	1	3	3	98	2	4	1	1
8	湿津	2	53			2	44	2	2	1	35			5	132	2	2	1	1
9	市東	1	17	1		1	15		1	1	15			3	47	1	1	1	1
10	辰巳台	5	167	3		5	156	2	1	5	154	3		15	477	8	1	1	1
11	加茂	1	16			1	13		1	1	15			3	44		1		1
12	南総	2	67	2		3	81	4	1	3	76			8	224	6	1	1	1
13	若葉	3	88	1		3	99	3		3	104	6	1	9	291	10	1	2	1
14	有秋	4	108	1	1	4	117	3	1	3	111	3		11	336	7	2	1	1
15	八幡東	1	21		2	1	28	1		1	23	1	1	3	72	2	3	1	1
16	国分寺台	3	98	1	1	3	95	4		3	104	2	1	9	297	7	2	1	1
17	姉崎東	2	54		2	2	58	1	2	2	59	1	1	6	171	2	5	1	1
18	双葉	3	85	3	2	2	67		2	2	64	3	2	7	216	6	6	1	1
19	千種	4	116	1	1	4	140	2		4	131	2	1	12	387	5	2	1	1
20	国分寺台西	4	119	2	4	4	137	1	3	4	127		1	12	383	3	8	1	1
21	ちはら台南	7	228	3	3	7	254	1	4	7	251		4	21	733	4	11	1	2
22	ちはら台西	5	165	1	1	4	151	1	1	4	128	1	1	13	444	3	3	1	1
合 計		68	2,071	30	26	67	2,123	44	31	67	2,128	39	19	202	6,322	113	76	25	23

生徒数計 6,511

※ 特別支援学級生徒数・学級数については、外書き表記となっています。

(2) 学級数・児童生徒園児数推移

(小学校)

No.	学 校 名	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数					
1	八幡	5	15	436	2	15	437	2	14	421	2	14	394	2	13	382
2	菊間	2	12	279	2	12	260	2	10	243	2	9	217	2	8	216
3	市原	3	9	255	3	9	245	3	9	229	2	8	216	2	6	204
4	辰巳台東	2	13	374	2	12	365	2	12	383	3	13	398	2	13	389
5	辰巳台西	3	13	379	3	12	341	3	12	328	4	12	307	3	12	289
6	五井	7	28	952	4	28	928	4	28	898	4	26	874	4	25	829
7	白金	3	12	310	3	12	302	3	12	305	2	12	292	2	12	286
8	国府	3	6	81	2	6	79	2	6	75	2	6	74	2	6	80
9	京葉	2	19	622	2	19	613	3	18	586	3	18	576	3	18	549
10	千種	3	26	801	3	25	766	2	25	740	2	24	709	3	23	701
11	東海	2	8	213	2	7	205	2	6	183	2	6	178	2	6	176
12	姉崎	4	12	301	2	12	282	2	12	278	2	10	247	2	10	246
13	有秋東	2	11	253	2	11	254	2	12	247	2	12	245	2	11	234
14	海上		6	65		6	67		6	69		6	73	1	6	73
15	市西	2	6	130	2	6	124	2	6	125	2	6	121	2	6	124
16	養老	4	6	117	2	6	88	2	6	91	2	6	79	2	6	69
17	湿津	2	13	363	2	14	418	2	15	456	2	17	510	2	18	529
18	市東第一	2	6	110	2	6	100	2	6	103	2	6	96	2	6	93
19	戸田	2	7	177	2	7	168	2	7	170	2	7	163	2	6	149
20	牛久	2	9	225	2	9	230	2	8	214	2	10	237	2	9	218
21	内田		5	54		4	41	2	4	40						
22	鶴舞	1	6	96	1	6	100	2	6	90	2	6	90	2	6	82
23	有秋西	2	12	352	2	12	349	2	12	345	2	12	352	3	11	325
24	若葉	2	12	342	2	12	333	2	12	335	2	12	344	2	12	347
25	明神	2	12	339	2	12	332	2	12	316	3	11	299	3	11	282
26	若宮	2	12	263	2	12	263	2	11	250	2	11	262	2	12	263
27	石塚	2	12	341	1	12	354	1	13	362	2	13	363	2	13	370
28	青葉台	2	13	364	2	13	352	2	13	344	3	13	337	3	13	346
29	白幡	1	9	219	1	8	196	2	7	177	2	7	162	2	6	147
30	国分寺台	2	17	461	2	15	445	2	14	428	2	14	416	2	13	412
31	光風台	2	12	292	2	12	281	2	12	262	2	11	245	2	9	224
32	寺谷	2	6	92	2	6	74	1	6	70	1	6	66	1	6	62
33	国分寺台西	2	18	524	2	18	541	2	18	543	2	18	525	2	18	518
34	有秋南	1	6	148	2	6	137	2	6	126	2	6	131	2	6	135
35	国分寺台東	2	12	337	2	12	327	3	12	305	2	12	287	3	12	287
36	水の江	2	19	541	2	21	606	2	22	655	4	22	699	4	22	739
37	五所	2	10	243	2	11	234	2	11	238	2	9	229	2	10	241
38	清水谷	2	21	633	2	21	636	2	20	611	3	19	585	3	18	546
39	牧園	2	19	606	2	19	583	2	19	601	2	19	599	3	19	601
40	ちはら台桜	3	23	670	2	21	660	2	19	638	2	20	623	3	19	602
41	加茂		6	103		6	98		6	97		6	97	1	6	90
合 計		91	499	13,463	79	493	13,214	83	485	12,977	86	475	12,717	91	462	12,455

※学級数のうち、左の欄に特別支援学級数を外書きで示す。

(中 学 校)

No.	学校名	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数					
1	八幡	2	15	530	2	15	510	3	15	528	3	15	538	4	16	584
2	菊間	1	6	135	2	6	125	2	6	123	2	6	121	2	5	113
3	市原	2	6	140	2	5	129	2	5	124	2	5	123	2	6	137
4	五井	3	24	825	2	24	850	2	24	884	3	24	868	4	23	837
5	東海	1	3	78	1	3	79	2	3	78	1	3	81	1	3	69
6	姉崎	2	10	324	2	11	346	2	10	319	2	10	318	2	9	298
7	三和	2	6	133	2	6	136	2	5	131	2	5	127	2	3	104
8	湿津	1	5	112	2	5	119	2	4	111	2	5	128	2	5	136
9	市東	1	3	66		3	62		3	56	1	3	51	2	3	49
10	辰巳台	2	18	627	2	18	607	2	17	555	2	16	517	2	15	486
11	加茂	2	3	70	1	3	66	1	3	61	1	3	50	1	3	45
12	南総	2	9	273	2	9	275	2	9	250	2	9	256	2	8	231
13	若葉	3	11	335	3	11	350	3	9	337	3	9	320	3	9	302
14	有秋	2	9	315	2	10	334	2	11	337	2	12	359	2	11	345
15	八幡東		6	120		6	117	2	4	102	2	4	94	2	3	77
16	国分寺台	2	10	337	2	9	309	2	9	301	3	9	310	2	9	306
17	姉崎東	1	7	192		6	160	2	6	170	2	6	178	2	6	178
18	双葉	2	9	268	2	8	242	2	7	227	2	6	206	2	7	228
19	千種	2	15	478	2	15	474	2	14	449	2	13	430	2	12	394
20	国分寺台西	2	10	345	2	10	336	2	11	361	2	11	382	2	12	394
21	ちはら台南	2	21	724	2	20	710	2	21	725	3	21	760	3	21	748
22	ちはら台西	1	12	355	2	12	381	2	12	405	2	12	433	2	13	450
合 計		38	218	6,782	37	215	6,717	43	208	6,634	46	207	6,650	48	202	6,511

※学級数のうち、左の欄に特別支援学級数を外書きで示す。

(幼 稚 園)

No.	幼稚園名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度			
		4歳児		5歳児		4歳児		5歳児		4歳児		5歳児		4歳児		5歳児		4歳児		5歳児	
		学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数
/	八幡			1	12	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	辰巳台	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	千種			1	30	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	惣社			1	29	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	有秋			1	10	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	牛久			1	14	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
合 計				5	95	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※辰巳台幼稚園は平成29年度末、その他の幼稚園は平成30年度末をもってそれぞれ廃止した。

(3) 教職員数

<令和4年5月1日現在>

①小学校

No.	学校名	校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭・講師	養護	栄養	事務	合計
1	八幡	1		1		22	1		1	26
2	菊間	1		1		14	1		1	18
3	市原	1		1		10	1		1	14
4	辰巳台東	1		1		24	1		1	28
5	辰巳台西	1		1		23	1		1	27
6	五井	1		2	1	44	2		2	52
7	白金	1		1		18	1		1	22
8	国府	1		1		13	1		1	17
9	京葉	1		1		31	1	1	1	36
10	千種	1		1		33	1		1	37
11	東海	1		1		11	1		1	15
12	姉崎	1		1		18	1		1	22
13	有秋東	1		1		19	1	1	1	24
14	海上	1		1		8	1		1	12
15	市西	1		1	1	8	1		1	13
16	養老	1		1		11	1		1	15
17	湿津	1		1		25	1		1	29
18	市東第一	1		1		9	1		1	13
19	戸田	1		1		9	1		1	13
20	牛久	1		1		16	1		2	21
21	鶴舞	1		1		10	1		1	14
22	有秋西	1		1		21	1		1	25
23	若葉	1		1		19	1		1	23
24	明神	1		1		17	1		1	21
25	若宮	1		1		17	1		1	21
26	石塚	1		1		19	1		1	23
27	青葉台	1		1		20	1		1	24
28	白幡	1		1		9	1		1	13
29	国分寺台	1		1		20	1		2	25
30	光風台	1		1		15	1		1	19
31	寺谷	1		1		7	1		1	11
32	国分寺台西	1		1		24	1	1	1	29
33	有秋南	1		1		10	1		1	14
34	国分寺台東	1		1	1	17	1		1	22
35	水の江	1		1		31	1		1	35
36	五所	1		1		17	1		1	21
37	清水谷	1		1		31	1	1	2	37
38	牧園	1		1		31	1		1	35
39	ちはら台桜	1		1		30	1		2	35
	合計	39	0	40	3	731	40	4	44	901

②中学校

No.	学校名	校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭・講師	養護	栄養	事務	合計
1	八幡	1		1		36	1		1	40
2	菊間	1		1		14	1		1	18
3	市原	1		1		15	2		1	20
4	五井	1		2		43	2		2	50
5	東海	1		1		8	2		1	13
6	姉崎	1		1		21	1	2	1	27
7	三和	1		1		13	1		1	17
8	湿津	1		1		12	1		1	16
9	市東	1		1		9	1		1	13
10	辰巳台	1		1		28	1		1	32
11	南総	1		1		17	1	1	1	22
12	若葉	1		1		24	1		2	29
13	有秋	1		1		22	1		1	26
14	八幡東	1		1		11	1		1	15
15	国分寺台	1		1	1	21	1	1	1	27
16	姉崎東	1		1		13	1		2	18
17	双葉	1		1		19	1	1	1	24
18	千種	1		1		26	1	1	1	31
19	国分寺台西	1		1		23	1		1	27
20	ちはら台南	1		1		41	1	1	2	47
21	ちはら台西	1		1		25	1		1	29
	合計	21	0	22	1	441	24	7	25	541

③加茂学園（加茂地区小中一貫校）

学校名	校長	副校長	教頭	教主幹	教諭	養護	栄養	事務	合計
加茂学園	1	1	2		18	2		2	26

(4) 令和3年度卒業生進路状況

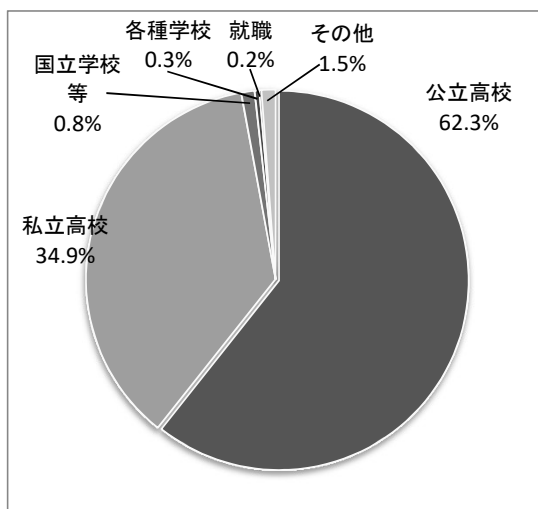
① 進路状況

(令和4年5月1日現在)

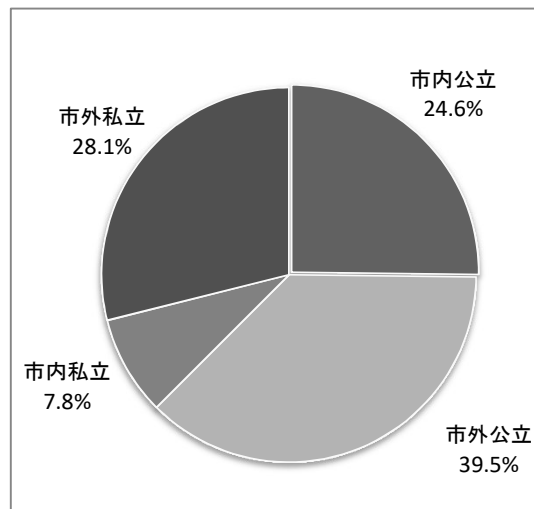
No.	中学校名	公立高校	私立高校	国立学校等	各種学校	就職	その他	合計
1	八幡	101	62	1	0	0	0	164
2	菊間	31	7	1	0	0	0	39
3	市原	19	14	0	0	0	0	33
4	五井	158	115	6	3	0	7	289
5	東海	25	6	0	0	0	0	31
6	姉崎	82	37	0	0	0	1	120
7	三和	33	21	0	0	0	0	54
8	湿津	25	17	0	1	2	0	45
9	市東	14	6	0	0	0	0	20
10	辰巳台	136	57	3	0	0	2	198
11	加茂	11	8	1	1	0	0	21
12	南総	46	44	3	0	1	1	95
13	若葉	73	32	2	0	0	6	113
14	有秋	75	44	0	0	0	2	121
15	八幡東	23	15	0	0	0	0	38
16	国分寺台	59	40	3	0	0	1	103
17	姉崎東	40	18	0	0	0	0	58
18	双葉	39	33	0	0	0	0	72
19	千種	98	51	3	0	0	3	155
20	国分寺台西	64	42	0	3	0	2	111
21	ちはら台南	141	100	1	1	0	1	244
22	ちはら台西	86	59	2	0	1	1	149
合計		1,379	828	26	9	4	27	2,273

*国立学校等には、高等専門学校・国立技術系学校が含まれる。

② 進路別の割合



③ 市内市外高校進学者の割合



5 学校保健

(1) 学校給食

①令和4年度学校給食運営目標

食習慣を取り巻く環境が大きく変化し、食生活の多様化が進む中で、朝食を摂らない子どもの増加や不規則な食事サイクル、偏った食事内容に起因する肥満や生活習慣病の増加、過度な痩身志向などが課題となっている。

これらの課題に対応するため、学校給食法の改正及び食育基本法の制定、さらには「市原市民に元気な笑顔を広げる地産地消条例」の制定の趣旨を踏まえ、学校教育の一環として望ましい食習慣を形成するため、栄養バランスのとれた献立作成・地産地消の推進により、魅力ある給食づくりを推進していく。また、食材の安全確保及び食中毒の防止に努めるとともに食に関する指導の充実・強化を図り、円滑な給食運営・給食環境づくりに取り組む。

②学校給食の現状

本市は、5共同調理場（市原第一、岩崎、南総、姉崎、ちはら台）より、市内の小中学校40校、中学校22校、給食数にして児童・生徒合わせて18,965食、教職員や調理場関係職員など1,723食、合計20,688食を供給している。

給食関係職員は、場長5名、事務員5名、栄養職員10名、調理員（会計年度任用職員を含む。）129名で、給食の配送は委託方式により行っている。

令和4年度給食費（1食あたり）

小 学 校	257円
中 学 校	303円

③令和4年度市内給食施設の概要

(令和4年5月1日現在)

施設名	開設 (現在の施設)	供給能力 ※1	調理数	職員数				配					送
				場長	事務職員	栄養職員	調理員 ※2	方法	車両数	小	中	計	
市原第一中学校 給食共同調理場	昭和47年9月	食 約4,500	食 4,493	1	1	2	28 (27)	委託	7	9	4	13	八幡小、菊間小、辰巳台東小、辰巳台西小、若宮小、石塚小、国分寺台西小、国分寺台東小、五所小、八幡中、菊間中、八幡東中、国分寺台西中
岩崎学校給食 共同調理場	昭和54年4月	約5,630	4,984	1	1	2	29 (28)	委託	7	7	5	12	五井小、白金小、国府小、京葉小、東海小、若葉小、国分寺台小、五井中、東海中、若葉中、国分寺台中、千種中
南総学校給食 共同調理場	昭和57年6月	約3,200	2,324	1	1	2	19 (19)	委託	7	10	5	15	市原小、海上小、市西小、養老小、戸田小、牛久小、鶴舞小、光風台小、寺谷小、加茂小、市原中、三和中、加茂中、南総中、双葉中
姉崎学校給食 共同調理場	平成2年5月	約3,200	3,377	1	1	2	22 (22)	委託	5	7	3	10	千種小、姉崎小、有秋東小、有秋西小、明神小、青葉台小、有秋南小、姉崎中、有秋中、姉崎東中
ちはら台学校 給食共同調理場	平成10年4月	約5,600	5,510	1	1	2	31 (31)	委託	6	7	5	12	湿津小、市東第一小、白幡小、水の江小、清水谷小、牧園小、ちはら台桜小、湿津中、市東中、辰巳台中、ちはら台南中、ちはら台西中
計		約24,530	20,688	5	5	10	129 (127)		32	40	22	62	

※1 供給能力は、調理、洗浄機器の能力や食器の保管スペース等を考慮して算出した概ねの食数となる。

※2 調理員は、カッコ内は会計年度任用職員の人数。

(2) 学校保健

①令和3年度体力・運動能力調査

小学校（男子）

性 別		男 子					
学 年		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
握 力 (kg)	市	9.14	10.90	12.36	14.43	16.67	20.90
	県	9.72	11.35	12.97	14.88	17.40	21.10
	国	9.12	11.00	12.69	14.45	16.49	19.43
上体起こし (回数)	市	11.73	14.52	15.26	16.67	19.20	21.05
	県	12.20	14.36	16.24	18.09	20.42	22.12
	国	11.64	14.54	16.72	18.63	20.79	22.66
長座体前屈 (cm)	市	26.35	28.43	30.16	31.34	35.00	36.28
	県	26.66	28.66	30.48	32.81	35.41	37.71
	国	26.54	27.74	29.73	31.06	33.49	35.72
反復横とび (回数)	市	27.09	31.13	33.48	37.77	41.32	43.32
	県	27.55	31.16	34.49	38.13	43.10	46.06
	国	27.26	31.58	35.38	39.21	43.61	46.27
20m シャトルラン (回数)	市	18.74	25.77	27.45	35.06	42.81	50.22
	県	19.98	27.66	32.27	40.17	50.56	58.07
	国	18.73	29.07	38.41	45.60	54.83	63.42
50 m 走 (秒)	市	11.21	10.63	10.00	9.84	9.22	8.65
	県	11.19	10.44	10.03	9.63	9.11	8.64
	国	11.45	10.59	10.02	9.61	9.22	8.87
立ち幅とび (cm)	市	116.00	125.17	130.36	140.09	148.75	162.56
	県	117.19	127.24	135.86	145.25	157.44	170.13
	国	114.92	127.37	135.63	144.52	155.38	164.07
ソフトボール 投 げ (m)	市	8.46	10.74	13.40	15.19	18.39	21.95
	県	8.63	11.66	14.45	17.75	21.28	25.03
	国	8.26	11.52	15.66	18.92	22.92	26.65

※ 県の平均値は令和3年度
 ※ 国の平均値は令和元年度

小学校（女子）

性 別		女 子					
学 年		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
握 力 (kg)	市	8.60	10.16	11.69	14.00	16.35	18.95
	県	9.17	10.86	12.40	14.52	17.29	19.72
	国	8.57	10.23	11.84	13.87	15.91	19.23
上 体 起 こ し (回 数)	市	11.56	13.83	14.45	16.93	19.27	19.75
	県	11.96	14.13	15.89	17.64	19.11	19.69
	国	11.39	14.13	15.85	17.64	19.19	20.84
長 座 体 前 屈 (cm)	市	29.33	31.14	34.02	35.45	39.87	40.96
	県	29.13	31.47	33.77	36.27	40.11	42.34
	国	28.57	30.30	32.08	34.82	37.40	41.02
反 復 横 と び (回 数)	市	26.74	29.31	32.63	35.54	39.54	41.06
	県	26.47	29.86	32.92	36.67	41.22	42.77
	国	26.52	30.56	33.58	37.91	41.51	44.19
20m シャトルラン (回 数)	市	15.58	20.89	23.09	29.89	37.58	40.01
	県	16.40	21.83	26.26	32.86	41.14	44.32
	国	15.96	22.27	29.16	37.09	44.14	51.56
50 m 走 (秒)	市	11.65	11.15	10.42	9.76	9.46	9.14
	県	11.55	10.83	10.29	9.83	9.42	9.12
	国	11.82	10.93	10.40	9.91	9.52	9.15
立 ち 幅 と び (cm)	市	109.18	117.34	126.92	134.35	144.74	150.76
	県	109.54	119.58	128.28	139.28	149.38	155.01
	国	106.93	117.69	128.06	137.89	147.40	156.01
ソフトボール 投 げ (m)	市	6.00	7.44	9.16	11.16	13.05	14.72
	県	6.00	7.87	9.68	11.80	13.74	15.49
	国	5.62	7.38	9.40	11.63	13.60	16.38

※ 県の平均値は令和3年度
 ※ 国の平均値は令和元年度

中学校

性 別		男 子			女 子		
学 年		1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
握 力 (kg)	市	22.86	28.68	32.19	21.11	23.35	24.38
	県	23.51	29.10	33.88	20.91	23.71	25.46
	国	23.94	30.03	34.46	21.98	24.24	25.61
上 体 起 こ し (回 数)	市	22.60	26.00	27.57	20.18	22.90	23.80
	県	23.07	26.21	28.66	20.32	22.78	24.41
	国	24.44	27.84	29.93	21.90	24.43	25.20
長 座 体 前 屈 (cm)	市	41.90	46.14	47.70	44.77	47.87	48.71
	県	41.14	46.01	49.23	44.39	47.61	50.46
	国	40.27	45.48	49.16	43.88	46.78	49.81
反 復 横 と び (回 数)	市	46.81	50.06	51.87	43.76	46.20	46.13
	県	48.06	51.57	54.42	44.29	46.40	47.59
	国	50.13	53.86	56.66	46.85	48.96	49.38
20m シャトルラン (回 数)	市	60.42	73.60	83.66	47.19	52.80	53.06
	県	65.68	79.68	87.86	48.60	54.07	56.46
	国	71.57	88.28	94.81	56.33	62.32	62.12
50 m 走 (秒)	市	8.64	8.02	7.60	9.14	8.74	8.71
	県	8.46	7.84	7.42	9.06	8.74	8.59
	国	8.42	7.80	7.45	8.90	8.62	8.56
立 ち 幅 と び (cm)	市	176.10	192.91	205.97	159.96	170.32	170.61
	県	179.57	198.27	213.70	161.75	169.44	173.64
	国	182.75	201.67	214.74	169.26	175.19	178.62
ハンドボール 投げ (m)	市	15.40	17.75	20.45	10.76	12.16	12.94
	県	16.76	19.70	22.53	10.87	12.49	13.71
	国	18.44	21.38	23.69	12.33	13.79	14.57

※ 県の平均値は令和3年度
 ※ 国の平均値は令和元年度

②体位平均値（令和3年度 市原市）

小学校 男子

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
身長 (cm)	116.5	122.6	128.6	133.9	139.9	146.1
体重 (kg)	21.9	25.3	28.9	32.1	36.9	41.4

小学校 女子

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
身長 (cm)	115.8	121.8	127.9	134.2	141.0	147.3
体重 (kg)	21.8	24.4	27.3	31.7	35.8	41.0

中学校

区 分	男 子			女 子		
	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
身長 (cm)	153.6	160.1	165.6	151.8	154.9	156.2
体重 (kg)	46.7	50.5	55.1	44.9	48.5	51.1

IV 生涯學習

1 生涯学習

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標5 生涯学習の機会充実と学習成果を生かせる仕組みづくり

施策の基本的な方針（1）生涯学習の機会・情報提供の充実とその成果の活用

- 市民一人一人が生涯にわたって学習することができる機会の充実を図るため、各社会教育施設が持つ機能・役割を最大限に生かせるようネットワークや仕組みを再構築し、効果的な施策の展開や市民への情報発信等を推進します。
- 学習の成果を地域活動等に有効に生かせるような仕組みづくりを行うことにより、学習への動機づけ・意欲の向上を図り、「生涯学習によるまちづくり」を推進します。
- 市民の課題解決、郷土を知るための図書や情報の提供を通じて、市原のひとづくり、まちづくりを支援します。
- 図書館と学校や読書活動団体との連携を強化し、子ども読書活動を推進します。
- 市民が安心・安全に施設を利用できる環境整備を図るため、社会教育施設の長寿命化や改修・修繕等に計画的に取り組めます。

◇令和4年度推進事業

（1）いちはら市民大学の推進

学習機会の提供により市民力の向上を図り、学んだ成果を生かして地域でまちづくり活動等に取り組む担い手の育成を図るため、庁内関係部局や企業、関連団体等と連携して「いちはら市民大学」を実施します。

（2）生涯学習成果の発表と活用

生涯学習活動を行っている市民を対象に、その成果を発表する機会を提供し、更なる学習意欲の向上等を図るため、生涯学習フェスティバルを開催します。

また、市民の生涯学習活動の支援を図るため、今まで培ってきた様々な技能を生かしたいという市民を、学びたいという市民に紹介する「まちのせんせい」の利用促進を図ります。

（3）公民館活動の推進

地域における社会教育の拠点施設として、市民が自己実現や生きがいづくり等につながる学習活動等ができるよう、指定管理者と協議、調整のうえ、学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会の提供、充実等を図ります。

（4）情報提供の推進

地域や市民の課題解決のため、既存の図書館ネットワークを発展・拡充させるとともに、各分野とも連携・協力し、「知の情報拠点」として地域や市民の課題解決のため、データベースの拡充などの必要な情報を提供していきます。

（5）読書ボランティア人材バンク制度の活用

読書活動の推進のため、読書ボランティア人材バンク制度に登録している読書ボランティアの育成を図るとともに、各種図書館事業において活用します。

(6) 市原市学びのまち 図書館サービス計画の推進

図書館サービスの向上のため、「市原市学びのまち 図書館サービス計画」に基づき、情報提供、レファレンスサービスの充実、利用促進、公民館図書室等や学校等との連携などに取り組みます。

(7) 市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画の推進

子ども読書活動の推進のため、「市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会の充実と環境整備、学校等との連携・協力、子どもの読書活動に関する理解と関心の普及などに取り組みます。

【資料】

1 公民館

① 施設

(令和4年4月1日現在)

公民館名	設置年月日	構造建物延面積	職員数	所在地
八幡公民館	昭和23年6月26日 (昭47.3.25 移転改築)	鉄筋2階建 3,610.1 m ²	17人	八幡 1050-1 電話(41)1984
姉崎公民館	昭和28年11月3日 (昭55.4.1 移転改築)	鉄筋2階建 2,148.1 m ²	14人	姉崎 2150-1 電話(61)0124
有秋公民館	昭和55年4月1日 (昭60.3.30 増築)	鉄筋2階建 1,691.7 m ²	14人	有秋台西 1-3-2 電話(66)0121
市津公民館	昭和29年11月3日 (昭56.4.1 移転改築)	鉄筋2階建 1,895.2 m ²	14人	下野 90-1 電話(74)5516
南総公民館	昭和25年12月1日 (昭54.4.1 移転改築)	鉄筋2階建 2,557.5 m ²	15人	牛久 520-1 電話(92)0039
鶴舞公民館	昭和41年3月31日	木造平屋建 629.4 m ²		鶴舞 624 電話(88)2002
加茂公民館	昭和37年3月31日 (元.4.1 移転改築)	鉄筋2階建 2,241.9 m ²	13人	養老 949-1 電話(98)0033
白鳥公民館	昭和37年11月26日	木造2階建 406.3 m ²		大久保 505-3 電話(96)0279
五井公民館	昭和53年4月1日	鉄筋2階建 3,433.2 m ²	14人	五井 5472-1 電話(22)2121
辰巳公民館	昭和59年4月1日	鉄筋2階建 1,800.4 m ²	15人	辰巳台西 3-14-1 電話(74)8521
国分寺公民館	平成2年4月1日	鉄筋2階建 1,920.5 m ²	15人	南国分寺台 1-2-6 電話(24)1600

※職員数は各公民館指定管理者の職員数である。

②市原市立公民館区分別利用状況(令和3年度)

	主催事業		公共事業		教育委員会		貸 館						事 業				合計			
							学校関係		登録サークル		社会教育団体		会社関係		農商				その他	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数			回数	人数
体育室	248	4,609	113	7,732	55	1,085	29	630	6,155	72,510	86	2,072	3	14	0	0	13,443	101,045	20,132	189,697
会議室	454	5,235	307	2,725	33	315	1	8	994	6,831	241	2,418	86	1,283	2	32	1,803	13,249	3,921	32,096
視聴覚室	249	3,723	157	2,735	11	184	0	0	1,664	16,367	60	602	11	162	0	0	1,831	7,729	3,983	31,502
茶室	71	287	17	73	12	13	0	0	91	453	4	22	0	0	0	0	88	368	283	1,216
和室	143	1,498	81	559	8	54	0	0	1,036	7,127	44	337	12	205	0	0	1,026	6,040	2,350	15,820
研修室	277	3,815	257	2,552	30	529	9	144	932	7,985	242	2,895	73	1,094	3	80	1,267	11,384	3,090	30,478
調理実習室	99	970	12	43	4	5	0	0	206	1,488	39	295	2	13	0	0	163	1,283	525	4,097
その他	79	1,208	92	3,901	9	60	0	0	1,291	11,533	99	754	1	25	0	0	980	6,950	2,551	24,431
館外	35	728	1	54	1	333	0	0	0	0	0	0	0	0	1	53	22	49	60	1,217
合計	1,655	22,073	1,037	20,374	163	2,578	39	782	12,369	124,294	815	9,395	188	2,796	6	165	20,623	148,097	36,895	330,554
比率	4.5%	6.7%	2.8%	6.2%	0.4%	0.8%	0.1%	0.2%	33.5%	37.6%	2.2%	2.8%	0.5%	0.8%	0.1%	0.1%	55.9%	44.8%		

※事業区分欄の数値……左は利用件数(単位:回)・右は利用者数(単位:人)

③市立公民館図書室利用状況(令和3年度)

館名	貸出人数	貸出冊数
八幡公民館	20,336	61,392
五井公民館	20,066	62,070
姉崎公民館	31,141	93,294
有秋公民館	11,875	38,904
南総公民館	8,835	30,313
市津公民館	9,821	38,444
辰巳公民館	18,202	60,847
加茂公民館	3,023	11,490
国分寺公民館	16,026	44,065
鶴舞公民館	408	680
合計	139,733	441,499

【資料】

2 中央図書館

(1) 中央図書館及び公民館図書室利用状況

◎ 中央図書館利用状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

- ① 開館日数 291日
- ② 資料貸出日数 291日
- ③ 入館者数
 - 1) 累計 355,288人
 - 2) 平均 1,221人
 - 3) 平日平均 1,090人
 - 4) 土曜平均 1,494人
 - 5) 日曜平均 1,449人
- ④ 図書利用カード交付者数
 - 1) 令和3年度 1,746人
 - 2) 有効登録者数 83,622人
- ⑤ 資料別貸出数（個人貸出）

1) 一般図書	388,450冊	(1,335冊／日)
2) 児童図書	181,147冊	(622冊／日)
3) 青少年図書	24,542冊	(84冊／日)
4) 雑誌	27,758冊	(95冊／日)
5) 外国語図書	1,731冊	(6冊／日)
6) その他図書	91冊	(0.3冊／日)
小計	623,719冊	(2,143冊／日)
7) 視聴覚資料	21,489点	(74点／日)
8) 録音図書	1,086点	(4点／日)
合計	646,294点	(2,221点／日)
- ⑥ 資料別貸出数（団体貸出）

1) 貸出団体延数	137団体
2) 貸出数	11,962冊

◎ 中央図書館及び公民館図書室全体の利用状況

- ① 図書利用カード交付者数
 - 1) 令和3年度 2,674人
 - 2) 有効登録者数 147,563人
- ② 視聴覚資料を除いた図書館資料の貸出数（個人貸出）

1) 中央図書館	623,719冊
2) 公民館	597,682冊
合計	1,221,401冊

※ 図書利用カード交付者一人あたりの貸出数 8.3冊／人
- ③ 視聴覚資料を含めた図書館資料の貸出数（個人貸出）

1) 中央図書館	646,294点
2) 公民館	599,724点
合計	1,246,018点

※ 図書利用カード交付者一人あたりの貸出数 8.4点／人

(2) 中央図書館及び公民館図書室蔵書資料

①図書

(令和4年3月31日現在)

館名	総数	個人貸出用							禁帯資料			団体貸出用		
		一般図書	文庫	大活本	児童図書	絵本	青少年図書	外国語図書	郷土	一般参考	児童参考	一般	児童	絵本
中央図書館	728,782	431,374	64,738	3,435	74,891	46,618	16,693	3,429	14,669	20,411	556	17,082	18,322	16,564
姉崎	35,976	19,197	5,509	289	6,287	4,370	—	—	151	173	0	—	—	—
有秋	20,411	10,649	1,001	0	4,471	4,074	—	—	45	167	4	—	—	—
五井	72,722	40,199	8,327	0	14,600	8,063	—	—	128	1,330	75	—	—	—
国分寺	25,128	12,770	1,607	46	6,323	4,002	—	—	141	231	8	—	—	—
八幡	34,993	19,389	4,158	0	7,448	3,550	—	—	224	191	33	—	—	—
辰巳	24,769	11,423	1,640	0	7,610	3,773	—	—	49	212	62	—	—	—
市津	26,846	14,396	1,515	0	6,364	4,386	—	—	35	126	24	—	—	—
南総	27,146	14,913	1,912	0	4,855	4,290	—	—	489	662	25	—	—	—
加茂	14,835	7,964	448	90	3,035	3,189	—	—	47	59	3	—	—	—
小計	282,826	150,900	26,117	425	60,993	39,697	—	—	1,309	3,151	234	—	—	—
合計	1,011,608	582,274	90,855	3,860	135,884	86,315	16,693	3,429	15,978	23,562	790	17,082	18,322	16,564

※菊間コミュニティセンター19,092冊、三和コミュニティセンター16,251冊、ちはら台コミュニティセンター31,027冊を除く

②紙芝居

中央図書館	姉崎	有秋	五井	国分寺	八幡	辰巳	市津	南総	加茂	小計	合計
2,466	141	122	327	181	195	135	173	254	71	1,599	4,065

※菊間コミュニティセンター202冊、三和コミュニティセンター105冊、ちはら台コミュニティセンター235冊を除く

③雑誌（中央図書館のみ）

タイトル	冊数
231	40,543

④視聴覚資料（中央図書館のみ）

カセットテープ	C D	ビデオテープ	D V D	録音図書	電子資料（DVD）	合計
191	4,755	3,721	2,351	712	316	12,046

⑤資料区別蔵書

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
中央図書館	23,522	22,480	61,642	109,619	52,498	59,380	26,778	58,031	12,360	237,987	119,540	783,837
姉崎	288	594	1,872	2,120	2,117	2,675	891	2,262	384	18,403	4,511	36,117
有秋	221	409	906	1,148	1,238	1,531	388	1,049	274	9,173	4,196	20,533
五井	1,287	1,771	4,882	8,229	4,354	3,691	1,584	4,391	1,018	33,452	8,390	73,049
国分寺	235	433	1,491	1,824	2,095	1,645	527	1,544	305	11,027	4,183	25,309
八幡	368	646	1,938	1,665	1,883	2,391	804	2,112	348	19,288	3,745	35,188
辰巳	407	493	1,311	1,286	1,759	1,861	760	1,809	377	10,933	3,908	24,904
市津	325	498	1,676	1,747	1,817	2,052	656	2,259	274	11,156	4,559	27,019
南総	486	476	1,436	1,403	1,411	1,718	675	1,884	339	13,028	4,544	27,400
加茂	66	210	1,010	684	1,040	1,352	404	835	85	5,960	3,260	14,906
小計	3,683	5,530	16,522	20,106	17,714	18,916	6,689	18,145	3,404	132,420	41,296	284,425
合計	27,205	28,010	78,164	129,725	70,212	78,296	33,467	76,176	15,764	370,407	160,836	1,068,262

（注）中央図書館・・・紙芝居・雑誌を含む。「その他」には視聴覚資料を含む。

公民館図書室・・・紙芝居を含む。

※菊間コミュニティセンター19,294冊、三和コミュニティセンター16,356冊、ちはら台コミュニティセンター31,262冊を除く

⑥視聴覚資料

(令和4年3月31日現在)

資料区分 請求記号	カセ ット	CD	資料区分 請求記号	ビデオ	DVD	電子 書籍	資料区分 請求記号	録音 図書	DAISY	合 計
								タイトル数		
0 音楽総記	0	16	0 総 記	99	22		0 総 記	1		
1 クラシック	15	1,015	1 哲学・宗教	24	8		1 哲 学	3		
2 ポピュラー	66	2,327	2 伝 記	767	346		2 歴 史	12		
3 純邦楽	8	134	3 社会科学	133	122		3 社会科学	16		
4 その他	2	124	4 自然科学	353	221		4 自然科学	9		
5 演劇芸術	16	190	5 技 術	206	133		5 技 術	5		
6 文芸口頭	73	213	6 産 業	83	34		6 産 業	0		
7 教育学習	5	15	7 芸術一般	1,983	1,453		7 芸 術	6		
8 自然効果	0	134	8 言 語	20	2		8 言 語	1		
9 児 童	6	587	9 文 学	53	10		9 文 学	496		
その他						316			163	
合 計	191	4,755	合 計	3,721	2,351	316	合 計	549	163	12,046

(3)視聴覚ライブラリー

①保有機材

(令和4年3月31日現在)

機 材 名	数 量	機 材 名	数 量
16ミリ映写機	5 台	暗 幕	22 枚
液晶プロジェクター	3 台	スクリーン	8 枚
O H P	1 台	ワイヤレスアンプ	3 台

②保有教材

(令和4年3月31日現在)

種 類	数 量
16ミリフィルム	173 本
ビデオテープ (VHS)	434 本
D V D	430 本

③視聴覚機器・教材利用状況（件）

貸出機材		貸出件数
視聴覚機器	16ミリ映写機	0
	液晶プロジェクター	16
	ワイヤレスアンプ	10
	暗幕	11
	スクリーン	12
小計		49
視聴覚教材	16ミリフィルム	0
	ビデオテープ	0
	DVD	33
小計		33
合計		82

④視聴覚機器公共施設等団体利用状況（件）

団体		貸出件数
学校教育	保育所	10
	幼稚園	1
	小学校	5
	中学校・高校	0
小計		16
社会教育	公民館	6
	地域子ども会	2
小計		8
その他	高齢者施設	0
	自治会等	9
小計		9
合計		33

⑤ライブラリー利用団体参加人数

種別	参加人数
大人（20歳以上）	899人
子ども（20歳未満）	583人
合計	1,482人

【資料】

3 生涯学習センター

(1) 名称及び位置

- ①名称 市原市生涯学習センター
- ②設置場所 市原市五井中央西1丁目1番地25 サンプラザ市原10階

(2) 施設の概要

①学習室

定員30名、1人1台パソコンを完備しており、様々な学習講座に対応可能。

②インターネットスペース

インターネット接続パソコンを4台設置しており、学習情報を自由に検索できる。(※インターネット検索にのみ、使用可)

③冊子情報コーナー

生涯学習に関する各種情報や学習施設についてのちらし・パンフレットを設置。

④交流コーナー・ミーティングスペース

資料の閲覧や学習活動のためのミーティングを自由に行うことができる。

(3) 開館日・開館時間

①開館日

月曜日及び年末年始を除く日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日に休館）

②開館時間

8:30～19:00（ただし、土日、祝日は17:00まで）

(4) 利用者数（主催事業参加者数含）

令和3年度

利用目的		利用者（人）
講座等（延べ人数）		1,480
インターネットスペース		353
交流スペース		385
学習相談		64
卒業生の利用		249
その他		556
計		3,087

V 青少年の健全育成

1 青少年の健全育成

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標2 一人一人の個性を生かした、感性豊かな心と健やかな体の育成

施策の基本的な方針（2）青少年の健全育成

- 学校・家庭・地域と連携し、多種多様な人との交流の機会や充実した体験活動の提供、見守り活動を展開し、地域で青少年を健全に育むための環境づくりを推進します。
- 社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者に、きめ細かな支援が行えるよう、関係機関の連携強化を図ります。

◇令和4年度推進事業

（1）青少年育成団体等への支援

青少年の健全育成を推進するために地域等で活動をしている団体、事業へ支援を行います。

（2）青少年会館活動の推進

青少年の健全育成と教養の向上を図るための拠点施設として、それに資する各種主催事業の実施により学習の機会や体験活動等の提供を図ります。

（3）青少年の非行防止等の推進

青少年の健全育成や非行防止を図るため、青少年補導員等による街頭補導活動を実施するとともに、青少年が陥りやすい非行問題等について理解を深められるよう、小・中学校等において非行防止教室を開催します。また、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者が社会の一員として自立することができるよう、相談内容に応じた助言や専門機関への紹介等を行います。

2 青少年指導

(1) 青少年指導センター

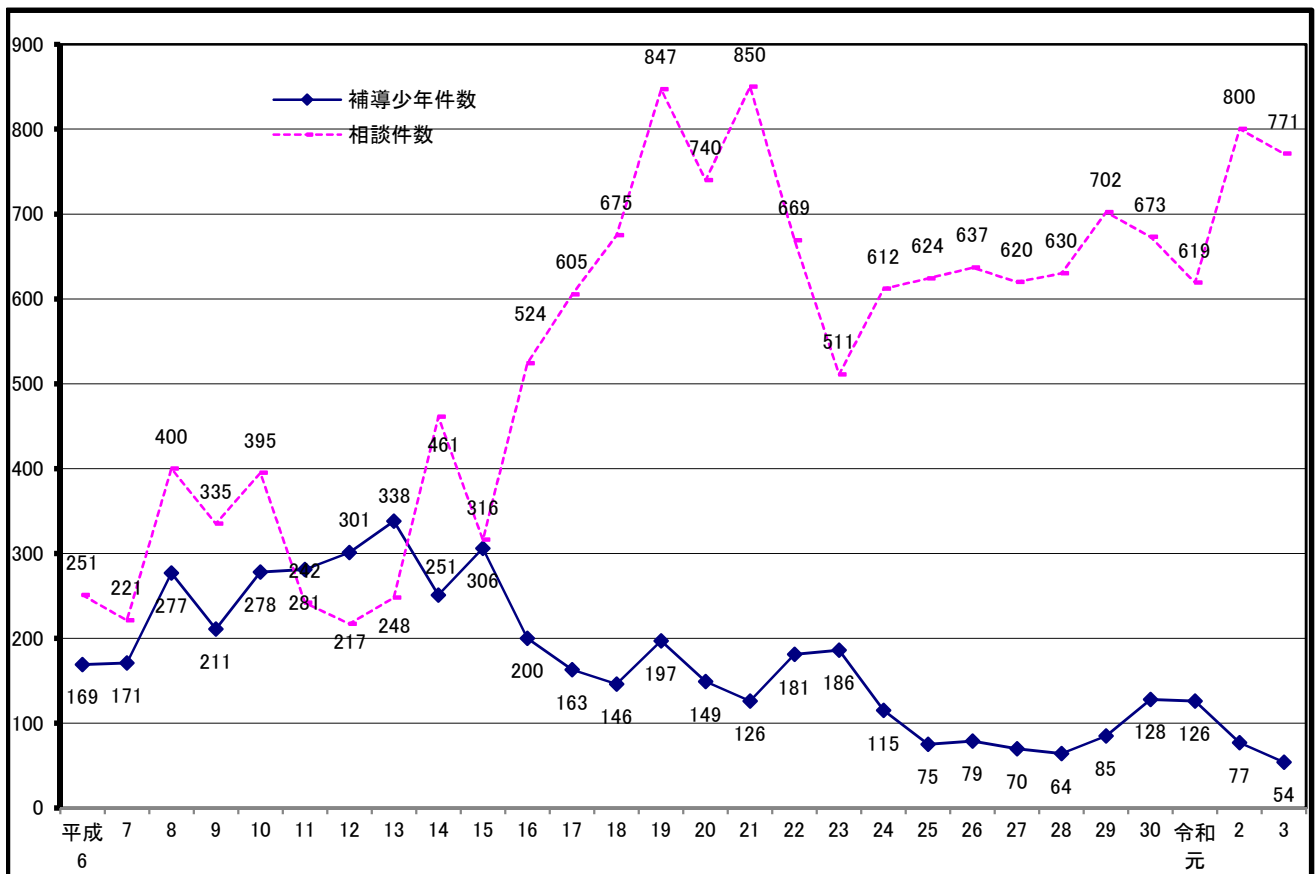
青少年の非行防止に関する総合的な実践活動を推進するため昭和47年7月11日に設置した。

施設の概要 所在地 市原市八幡海岸通1969-44
 建 物 建築面積 343.06㎡
 1階 事務室、所長室 2階 面接室、会議室

①補導少年の行為、学職別状況 (令和3年度) (単位：人)

行為	小学校		中学校		高 校		その他の学生		有 職		無 職		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
喫煙・飲酒					1								1
自転車等危険行為		2	8	11	9	3							33
怠学・怠業													
原付二人乗り・ノーヘル													
不健全娯楽													
その他	9	2	7	2									20
合 計	9	4	15	13	10	3							54

② 補導少年の数・相談件数年度別推移



③ 少年相談状況(子ども・若者総合相談のうち20歳未満の相談)

学職別・内容別・相談件数(令和3年度)

学 職		小学生		中学生		高校生		有職少年		無職少年		その他		令和2年度累計			割合		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	件	%				
相 談 内 容 及 び 件 数	本人に関するもの	凶器所持												0	0	0	0.0		
		盗み・恐喝		6		28	16	4				3				41	16	57	7.4
		家出・外泊			4	24	14	4								28	18	46	6.0
		薬物・飲酒・喫煙				11	1									11	1	12	1.6
		神経・精神		2	11		48	2					1			4	60	64	8.3
		身体・発育														0	0	0	0.0
		性・異性		4		4	4	3								11	4	15	1.9
	家庭に関するもの	家族関係		32	25	24	58	1	1							57	84	141	18.3
		家庭内暴力		11		17	1	1								29	1	30	3.9
		虐待			6	11	7									11	13	24	3.1
		しつけ		1		6	1	3					1			10	2	12	1.6
		金 銭				7		1								8	0	8	1.0
	社会・学校に関するもの	規則一般・校則等		24		7	10	1								32	10	42	5.4
		学業・進路		1		1										2	0	2	0.3
		交 友		12	5	33	15	6						1		52	20	72	9.3
		いじめ		12		8	68	1	1							21	69	90	11.7
		怠学・怠業		8	5	5	13									13	18	31	4.0
		不登校・不就労		1	11	10	17	6	1							17	29	46	6.0
		暴 行		25	3	5	2					1				31	5	36	4.7
刑罰行為						1								1	0	1	0.1		
そ の 他		8	4	16	3		2			4		5		33	9	42	5.4		
男女別計		147	74	217	278	34	5	0	0	8	2	6	0	412	359	771			
学職別計		221		495		39		0		10		6		771					
割合(%)		28.7		64.2		5.1		0.0		1.3		0.8		100.0					

(2) 市原青少年会館

所在地	市原市八幡 1126-1 ☎ (43) 3651
規模・利用定員	330 人
敷地面積	2,462 m ²
構造 延べ床面積	鉄筋コンクリート 2 階建 1,496.91 m ² (1 階 735.13 m ²) (2 階 736.17 m ²) (PH 25.61 m ²)
設置年月日	昭和 54 年 4 月 1 日

施設内容

室名	面積 (m ²)	室名	面積 (m ²)
集会室	173.4	小会議室	27.0
学習室	173.4	事務室	94.5
音楽室	94.5	相談室	18.0
美術室	67.5	管理人室	48.0
クラブ室	54.0	その他	697.61
和室	33.8		
保健室	15.2	計	1,496.91

青少年会館利用状況 (単位：人)

区分	令和 3 年度
利用者総数	24,892
青少年	5,907
一般	18,985

青少年会館部屋別利用状況 (上段：利用件数、下段：利用者数 単位：人)

	集会室	クラブ室	会議室	和室	音楽室	美術室	学習室	合計
令和 3 年度	624	343	177	88	489	181	409	2,311
	12,783	2,853	610	544	4,132	1,640	2,330	24,892

VI 文化振興と 文化財保護

1 市民文化

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標6 多彩な地域資源を活用したスポーツの推進、歴史・文化・芸術の振興 施策の基本的な方針（2）ふるさとへの誇りと愛着を育む歴史・文化・芸術の継承と創造

- 市民がふるさと市原の歴史遺産や伝統芸能に誇りと愛着を持てるよう、文化財や地域の歴史を知り、守り、伝える施策や、魅力的なまちづくりの観点から、これらの地域資源を積極的に活用する施策に取り組みます。
- 市民が自主的に文化芸術活動を行い、その活動の輪が広がるよう、文化芸術に触れ、創作・発表する機会の充実を図るとともに、賑わいの創出や交流人口の拡大等、地域の活性化につながるような創造的文化芸術活動を支援します。

◇令和4年度推進事業

（1）上総国府のまち更級日記千年紀事業

「更級日記」の著者・菅原孝標女の帰京から1000年となる2020年を「更級日記千年紀」として、これを記念し創設した「更級日記千年紀文学賞」の授賞式を行うほか、更級日記に関わる講演会を開催します。

また、第3回更級日記千年紀文学賞の募集も行います。

（2）いちはら伝統芸能体験事業

子どもたちの豊かな感性と創造力を育むため、市内小中学校の総合学習時間等を活用して、伝統芸能のワークショップを実施します。

（3）市民会館改修事業

文化芸術活動の拠点である市民会館の安全性の向上を図るため、ホール舞台設備等の改修を行います。（令和3年度～令和4年度継続事業）

（4）いちはら歴史のミュージアム事業の推進

市民が「いちはら」で暮らし続けたいと思える「誇りの創生」に向けて、市民との協働のもと歴史遺産を核とした様々な取り組みを実施します。民俗文化財等の資料収集及び調査活動を行うとともに、歴史体験館の改修工事及び展示製作、博物館の展示製作、博物館ウェブサイトの整備、フィールドミュージアムの整備（現地サインの設置、イラストマップ制作等）を進めます。

（5）姉崎古墳群の国指定史跡への指定促進

姉崎古墳群が国の史跡として指定されるための条件整備の一環として、「海保大塚古墳」を市の史跡に指定することを目指し、そのための手続を進めます。

（6）文化財調査及び整理・報告

貴重な埋蔵文化財の保存及び活用を図るため、史跡上総国分尼寺跡を中心とする国分寺台地区及び市内各所の遺跡群から発掘された遺物の整理作業を行います。

（7）田淵地磁気逆転地層の保存活用

国際境界模式地（GSSP）の認定を受け、地質年代区分にチバニアンの名を刻んだ田淵の地層等について、国の天然記念物として保存・保護を図りながら、仮設ガイドン

ス施設の管理運営や、民間ガイド組織の運営支援を行います。また、整備基本計画に基づき、見学環境整備のための調査・基本設計を行います。

(8) 埋蔵文化財活用事業の実施

市民の郷土意識や郷土愛を高めるため、一般市民向けの歴史遺産に関する講座や体験学習を行い、書籍を刊行します。

2 文化財保護

(1) 国指定文化財

(令和4年7月1日現在)

文化財名	指定年月日	所有者	所在地
西願寺阿弥陀堂 附厨子	大正 5年 5月24日 昭和30年 6月22日	西願寺	平蔵
鳳来寺観音堂	昭和 6年12月14日	鳳来寺	吉沢
飯香岡八幡宮本殿	昭和29年 9月17日	飯香岡八幡宮	八幡
上総国分寺跡	昭和 4年12月17日 昭和46年 6月29日 昭和54年12月22日	市原市他	惣社
上総国分尼寺跡	昭和58年 8月30日 昭和61年 1月23日	市原市他	国分寺台中央
養老川流域田淵の地磁気 逆転地層	平成30年10月15日	市原市他	田淵

(2) 県指定文化財

(令和4年7月1日現在)

文化財名	指定年月日	所有者	所在地
飯香岡八幡宮の夫婦銀杏	昭和10年 7月12日	飯香岡八幡宮	八幡
木造地藏菩薩坐像	昭和33年 4月23日	山口地区	山口
木造聖観世音菩薩立像	〃	蓮蔵院	引田
木造聖観音立像	昭和37年 5月 1日	日光寺	風戸
鶴峯八幡の神楽	昭和39年 4月28日	鶴峯八幡宮神楽連	中高根
木造金剛力士立像	昭和40年 4月27日	橘禅寺	皆吉
木造薬師如来坐像及び 両脇侍立像附神将立像	昭和40年 4月27日	橘禅寺	〃
飯香岡八幡宮拝殿	昭和41年 5月20日	飯香岡八幡宮	八幡
市原の柳楯神事	昭和41年12月 2日	柳楯神事保存会	市原他
府中日吉神社本殿	昭和42年12月22日	府中日吉神社	能満
二子塚古墳	昭和43年 4月 9日	姉崎神社	姉崎
大塚ばやし	昭和45年 1月30日	大塚ばやし保存会	海保
大福山自然林	昭和47年 1月18日	白鳥神社	石塚
姉崎天神山古墳	昭和48年 3月 2日	菅原神社	姉崎
高滝神社の森	昭和53年 2月28日	高滝神社	高滝
小湊鉄道蒸気機関車	昭和55年 2月22日	小湊鐵道(株)	五井中央東
木造薬師如来坐像及び 両脇侍立像三軀	昭和62年 2月27日	称禮寺	上高根
神門 5号墳	平成元年 3月10日	市原市	惣社
漆塗金銅装神輿	平成 6年 2月22日	飯香岡八幡宮	八幡
江子田金環塚古墳出土一括遺物	平成 9年 3月21日	市原市	能満
上高根の三山信仰	平成13年 3月30日	上高根敬愛講社	上高根
椎津のカラダミ	平成19年 3月16日	椎津伝統行事保存会	椎津
木造十一面観音立像	平成28年 3月 4日	長栄寺	宿

文化財名	指定年月日	所有者	所在地
椎津城跡	平成29年 3月 7日	市原市他	椎津
能満上小貝塚出土土製品	平成31年 3月 5日	市原市	能満
山倉1号墳出土埴輪	令和2年 3月10日	市原市	能満
西広貝塚出土骨角貝製装身具	令和3年 3月19日	市原市	能満

(3) 市指定文化財

(令和4年7月1日現在)

文化財名	指定年月日	所有者	所在地
木造薬師如来坐像	昭和43年 4月25日	法行寺	大作
木造薬師如来坐像	〃	薬王寺	不入斗
鑄造三尊形本地仏懸仏	〃	非公開	古敷谷
大太刀	〃	飯香岡八幡宮	八幡
石造十三重塔	〃	泰安寺	海士有木
熊野神社の大銀杏	〃	熊野神社	金剛地
両界大日如来坐像	昭和47年 7月20日	光厳寺	大和田
不動明王坐像	〃	〃	〃
姫宮古墳	〃	市原市	菊間
菊間天神山古墳	〃	個人	〃
吉野1号墳	〃	市原市	西国吉
根本神社の神楽	〃	根本神社神楽保存会	馬立他
奈良の大仏	昭和49年 6月10日	本泉寺他 32 名	奈良
奈良本泉寺のシイ巨木群	〃	本泉寺他 1 名	〃
常住寺の五輪塔・宝篋印塔附板碑	昭和54年 3月10日	常住寺	中高根
将門塔	〃	市原市	惣社
木造釈迦如来坐像	〃	竜溪寺	石川
牛久ばやし	〃	牛久ばやし保存会	牛久
養老川西広板羽目堰	〃	養老川西広板羽目堰保存会	西広
高滝神社社殿附末社社殿	昭和55年12月 1日	高滝神社	高滝
薬王寺の算額	昭和60年 4月 1日	薬王寺	不入斗
国分寺薬師堂附厨子	昭和62年 3月 1日	国分寺	惣社
真高寺山門	〃	真高寺	飯給
鶴窪古墳	昭和63年 8月15日	市原市	姉崎
当世具足11領及び残欠一括	平成元年 7月 8日	飯香岡八幡宮	八幡
木造阿弥陀如来坐像	平成 4年 6月16日	医光寺	西国吉
木造聖観音菩薩及び二天立像	〃	法泉寺	武士
木造聖観音菩薩坐像	〃	常德院	山木
八幡神社社殿附棟札	平成 7年 3月 7日	八幡神社	菊間

医王寺石造宝篋印塔	〃	医王寺	畑木
木造不動明王坐像	平成 7年 3月 7日	円満寺	今富
銅造阿弥陀如来立像	〃	非公開	非公開
六孫王原古墳	〃	市原市他	姉崎
旧小倉家住宅	平成 8年 4月 3日	市原市	
円満寺石造宝篋印塔	平成 9年 3月31日	円満寺	今富
木造隨身立像	〃	八幡神社	菊間
木造千手観音菩薩坐像	〃	森巖寺	海保
木造地藏菩薩立像	〃	秀善寺	今富
光善寺石燈籠	平成16年 3月31日	光善寺	市原
祭囃子（五井新田祭囃子）	〃	五井新田祭囃子 保存会	五井新田
薬王寺浮彫六地藏石幢	平成16年 4月30日	薬王寺	不入斗
木造金剛力士像(阿形)附 木造金剛力士像(吽形)	平成18年 8月28日	国分寺	惣社
木造如来坐像	〃	寿福寺	喜多
釈蔵院文書	平成20年 5月30日	釈蔵院（非公開）	能満
人面付土器	平成22年 6月25日	市原市	〃
刑房私印	〃	〃	〃
上総姉崎領谷田之郷 御縄打水帳附同写本	平成23年 3月28日	非公開	非公開
灰釉花文浄瓶	平成24年12月27日	市原市	能満
稻荷台遺跡第 37 号住居跡 出土遺物一括	平成26年12月18日	〃	〃
「王賜」銘鉄剣	平成28年 5月 2日	〃	〃
萩ノ原遺跡出土瓦塔	平成28年11月 4日	〃	〃
姉崎山王山古墳出土遺物	平成30年 5月 1日	〃	〃
光巖寺本堂の欄間彫刻附「位 牌」	平成29年 3月28日	光巖寺	大和田
小湊鉄道キハ 5800 形式気動車 附気動車台帳及び修繕表	平成31年 3月29日	小湊鐵道株式会社	五井中央東
伝椎津城跡の石造宝篋印塔	令和2年 8月 5日	市原市	能満
祇園原貝塚	令和3年 3月 3日	市原市	国分寺台中央
辺田一号墳墳頂部出土遺物一 括	令和4年 5月23日	市原市	能満

(4) 国登録文化財

(令和4年7月1日現在)

文化財名	指定年月日	所有者	所在地
武田家住宅	平成 9年 7月30日	個人所有	古市場

小湊鉄道五井機関区機関庫 及び鍛冶小屋	平成29年 5月 2日	小湊鐵道株式会社	五井中央東
小湊鉄道上総村上駅本屋	〃	〃	村上
小湊鉄道海士有木駅本屋	〃	〃	海士有木
小湊鉄道上総山田駅本屋	〃	〃	磯ヶ谷
小湊鉄道第一柴の下橋梁	〃	〃	二日市場
小湊鉄道第二柴の下橋梁	〃	〃	〃
小湊鉄道第一養老川橋梁	〃	〃	〃
小湊鉄道馬立駅本屋	〃	〃	馬立
小湊鉄道第二養老川橋梁	〃	〃	佐是
小湊鉄道上総牛久駅本屋	〃	〃	牛久
小湊鉄道上総鶴舞駅本屋	〃	〃	池和田
小湊鉄道旧鶴舞発電所	〃	〃	〃
小湊鉄道上総鶴舞駅貨物上屋	〃	〃	〃
小湊鉄道高滝駅本屋	〃	〃	高滝
小湊鉄道里見駅本屋	〃	〃	平野
小湊鉄道月崎第一隧道	〃	〃	柿木台
小湊鉄道月崎駅本屋及び プラットフォーム	〃	〃	月崎
小湊鉄道月崎駅旧下り線 プラットフォーム	〃	〃	〃
小湊鉄道大久保隧道	〃	〃	大久保
小湊鉄道第四養老川橋梁	〃	〃	〃
小湊鉄道養老溪谷駅本屋	〃	〃	朝生原
小湊鉄道板谷隧道	〃	〃	〃

(5) 史跡上総国分尼寺跡展示館概要

史跡上総国分尼寺跡環境整備事業のうち、平成2年度から平成4年度にかけて文化庁の「史跡等活用特別事業（ふるさと歴史の広場）」の補助対象事業として建設したガイダンス施設・復元中門等、及び平成5年度から平成8年度にかけて文化庁の「地域中核史跡等整備特別事業」の補助対象事業として建設した復元回廊等を一般公開している。

名 称	史跡上総国分尼寺跡展示館
所 在 地	国分寺台中央3丁目5番地2

① 建設の目的

市原市が古代上総国の政治・文化の中心地であったことを象徴する文化遺産である国指定史跡上総国分尼寺跡を保存継承することにより、郷土の歴史や文化を再認識し、追体験する場として活用するとともに、新たな地域文化の創造に役立て、ゆとりのある個性的なまちづくりに活用する。

② 展示館の概要

鉄筋コンクリート造、平屋建、延床面積 320.11 m²。

史跡の見学に先立ち、映像や模型・レプリカ・出土遺物・パネル等の展示によって、国分寺が造られた時代背景や史跡の内容、特徴などを分かりやすく解説する案内施設である。

これまでの博物館と異なり、野外の整備された史跡と映像展示を結び付けた施設であることが特徴で、ビデオ上映に引き続き、上総国分尼寺復元模型（直径4.5mの八角形）を使った照明・ナレーションによる国分尼寺の仕組みの解説、模型の回転、液晶ガラスの瞬間的透過による野外の整備された史跡と模型との対照といった一連の演出を、コンピューター制御で楽しみながら学べるように工夫している。

③ 復元中門の概要

木造平屋建、切妻造、本瓦葺き、八脚門。 間口9.9m、奥行き5.4m、高さ約7.2m、建築面積53.5m²。

基壇は側面に瓦を積み、上面に^{セン}瓦を敷き並べた瓦積み基壇。礎石は蛇紋岩自然石。木材はヒノキ・ケヤキ・ヒバ等。瓦の文様は出土瓦にならい、各種約5,066枚使用。

木部表面はヤリガンナ仕上げ、ベンガラ塗り（赤色）。ただし、木端は黄土塗り（黄色）、金剛柵は緑青塗り（緑色）。壁の仕上げは漆喰塗り（白色）。

④ 復元回廊等の概要

木造平屋建、本瓦葺き、中間左右折れ回り23間（東76.2m、西76.5m）、染間1間（3.75m）、高さ約5m、屋根面積1,108 m²、屋根瓦各種42,335枚、瓦積み基壇上面の瓦は8,800枚使用。礎石及び狭間石には蛇紋岩自然石。使用木材・塗装は中門と同様。金堂基壇は高さ86cm、面積579 m²、上面瓦敷き（3,510枚）で須弥壇は凝灰岩で復元。玉砂利敷の内庭には、中門・金堂基壇方向に瓦敷きの参道や金銅製の灯籠が復元されている。

中門・回廊・金堂で構成される金堂院のうち、中門・回廊や金堂基壇とともに地下遺構の真上に天平時代の規模・構造・様式で復元することによって、国分尼寺跡の宗教施設としての象徴性を表現し、史跡の空間的広がりを視覚的に体験できるようにするとともに、古代建築の力強い構造美を鑑賞できるようにしている。

(6) 市原市埋蔵文化財調査センター

市原市は、「王賜」銘鉄剣や上総国分寺跡に代表されるように、市内各地に古代人の残した遺跡が数多く存在している地域であり、宅地造成や交通網の整備などの開発行為に伴い発掘調査を実施する機会も多い。

このような中で、発掘品の整理作業の促進を図るとともに、市原市における埋蔵文化財の総合的調査研究、出土遺物の収蔵保管及び啓発普及活動の場として、平成2年度に埋蔵文化財調査センターを設立した。現在、市原歴史博物館の建設工事のため、閉館中である。

①業務内容

- ア 埋蔵文化財の調査研究
- イ 出土した文化財及び調査記録等の資料の整理、収蔵保管
- ウ 埋蔵文化財を活用した啓発普及活動

②施設の概要

- ア 所在地 市原市能満1489番地
 - イ 構造 鉄筋コンクリート造地上2階建
 - ウ 敷地面積 約 4,000㎡
 - エ 建築面積 1,612.32㎡
 - オ 延床面積 2,557.18㎡
- (1階 = 1,571.02㎡、2階 = 970.49㎡、塔屋 = 15.67㎡)

③施設内容

ア 1階

- ・ボランティア室 (55.34㎡)
- ・事務室 (61.30㎡)
- ・多目的室 (126.54㎡)
- ・準備倉庫 (20.92㎡)
- ・民俗展示室 (122.35㎡)
- ・整理室 (234.84㎡)
遺跡から発見された遺物の水洗・注記・復元などを行う。
- ・製図室 (76.36㎡)
遺跡から発見された遺構・遺物の図の浄書(トレース)を行う。
- ・一般収蔵庫 (491.10㎡)
出土遺物を収蔵・保管する。
- ・特別収蔵庫 (37.37㎡)
水槽を配置し、出土木製品を収蔵・保管する。
- ・その他の部屋 (344.90㎡)
倉庫・休憩室・更衣室・撮影室・暗室・シャワー室など。

イ 2階

- ・フィルム保管庫 (31.84㎡)
発掘現場や、遺物を撮影したフィルム・写真類を収納・保管する。
- ・図面保管庫 (50.20㎡)
発掘現場で測量・実測した図面類、遺物を実測した図面類及び報告書作成のためにトレースした図面類などを収納・保管する。
- ・書庫 (78.51㎡)
本市及び全国各地で発行された発掘調査報告書など書籍類を収納・保

管する。

- ・ 一般収蔵庫 (488.77㎡)
1階の一般収蔵庫と同様。
- ・ 特別収蔵庫 (31.98㎡)
鉄剣・鉄刀などの金属製品を収蔵・保管する。
- ・ 会議室 (95.30㎡)
会議・研修・講座などに使用する。
- ・ その他の部屋 (193.89㎡)
鉄器処理室・空調機室・便所。
- ・ 塔屋 (15.67㎡)

ウ 平成13年度増設

- ・ 整理棟 (384.37㎡)
- ・ 文化財収蔵庫 (273.19㎡)

(7) 市原歴史博物館

1 設立の目的

市原の歴史及び民俗に関する資料を収集し、保管し、展示し、及び調査研究して市民の利用に供するとともに、その学習、調査研究等に資するため必要な事業を行うことにより、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、令和4年秋に開館します。

2 博物館の業務

- (1) 資料の収集・保管・展示・調査・研究
- (2) 歴史・民俗に関する普及啓発
- (3) 歴史・民俗に関する人材の育成及び歴史・民俗に関連する市民団体等の支援

3 博物館（I' Museum）の取り組み

愛称の「I' Museum（アイミュージアム）」は、歴史博物館・歴史体験館・フィールドミュージアムの3つの柱で構成されます。

(1) 歴史博物館

郷土いちはらへの誇りと愛着を育むため、市民協働による歴史遺産を核とした取組を継続的に行うとともに、歴史遺産の価値と魅力を分かりやすく伝え、活動と交流の拠点となる施設として、整備を行いました。

エントランスホールは施設の導入部として、来館者を市内歴史フィールドへと誘う、ガイダンス空間となっています。

展示は旧石器時代から近現代まで扱い、展示室に可動間仕切りを採用することにより、展示資料の変更や企画展の規模に合わせた多様な空間構成に対応します。また、展示室中央に「王賜」銘鉄剣の展示コーナーを設け、館のシンボル空間として位置づけています。

埋蔵文化財調査センターの旧エントランスホールを改修した民俗展示室では、東京湾から養老川へとつながる市原の大地をめぐるながら、そこに息づく人々の暮らしを紹介します。

(2) 歴史体験館

全天候型の市民参加型体験学習施設として、多様な世代の参加を促し、世代間交流と賑わいを創出します。また、子どもたちの歴史学習の場として、学校教育との連動を図り、教科書の写真等で目にしたものを、実物資料等を用いて追体験するほか、夏休みや週末に親子体験教室等を実施し、いちはらに暮らした先人たちの生活を振り返ります。

(3) フィールドミュージアム

市原市全体を屋根のない博物館に見立て、市内に点在する様々な歴史遺産（遺跡、石造物、寺社仏閣等歴史や民俗に関連する様々なもの）を、博物館で行うフィールドガイダンス展示と連携させて、博物館と市内の歴史遺産との回遊を促します。

市内を20地区に分け、各地区の主要な歴史遺産に標柱型のフィールド

サインを設置するとともに、各地区の歴史遺産を歩いて回るフィールドマップを作成し、見学環境の整備を行います。

4 博物館の規模

(1) 博物館

建築面積 1,246.23㎡
延床面積 1,234.16㎡
構造 鉄筋コンクリート

(2) 歴史体験館

建築面積 1,891.95㎡
延床面積 1,794.71㎡
構造 鉄骨造



左：歴史博物館 右：歴史体験館

3 文化振興

(1) 市民会館

所在地 市原市惣社1-1-1
敷地面積 19,870㎡
建築面積 6,552㎡
延床面積 11,928㎡
起工 昭和47年1月26日
竣工 昭和49年3月31日
開館 昭和49年5月29日
総工費 1,513,682 千円
構造 鉄筋コンクリート造
(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
会議室棟 地上4階、塔屋2階
ホール棟 地下1階、地上3階

○ 延床面積 (単位：㎡)

階	会議室棟	ホール棟
PH2階	41	(階段室) 390
PH1階	188	
4階	883	
3階	774	926
2階	751	2,933
1階	826	3,277
B1階	—	813
各棟合計	3,463	8,339
合計	11,802	

○ 施設概要

区分	階別施設	施設の概要	
会 議 室	1階 レストラン 厨房 受付相談 事務室	(令和2年3月31日営業終了)	40席
	2階 会議室	第一会議室(洋室)	収容人員 42人
		第二 " "	" " 42人
		第三 " "	" " 42人
3階 会議室	和室1	" " 30人	
	茶室(水屋付)	" " 10人	
棟	3階 会議室	大会議室(洋室)	収容人員 81人
		和室2	" " 10人
	4階 宴会室 パントリー	第一宴会室	25席
		第二 " "	25席
第三 " "		25席	
第四 " "		25席	
ホ ル 棟	・ 大ホール	固定席	1,527席
		身障者席	4席
	・ 小ホール	固定席	491席
		身障者席	2席
	地下1階 奈落	倉庫	
	1階 楽屋	第一楽屋	収容人員 18人
		第二 " "	" " 13人
		第三 " "	" " 3人
		第四 " "	" " 3人
		第五 " "	" " 7人
第六 " "		" " 7人	
シャワー室 男性用 女性用		1室 1室	
2階 楽屋	第七楽屋	収容人員 7人	
	第八 " "	" " 7人	
3階 楽屋 楽屋受付	第九楽屋	収容人員 3人	
	第十 " "	" " 3人 1室	

○ 会館利用状況

年度	大ホー ル							小ホー ル						
	件数					日数	回数	件数					日数	回数
	演劇	音楽	舞踊	その他	計			演劇	音楽	舞踊	その他	計		
R1	0	71	12	59	142	127	305	0	69	4	84	157	135	290
R2	0	14	0	45	59	55	122	0	21	1	57	79	71	137
R3	0	64	20	63	147	137	317	0	67	15	93	175	162	312

年度	区分	会議室（件）	宴会室（件）
R1		1,268	97
R2		761	0
R3		1,423	0

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大による施設貸出休止期間があった。

※令和2年度・令和3年度の飲食提供事業は休止。

○ 会館文化事業

年度	事業名	実施月日	事業名	実施月日
元	和紙ちぎり絵教室	元年 5月19日	文化祭 郷土芸能大会	11月10日
	まちくる！vol.21	5月25日	文化祭 ハワイアンフラ祭	11月10日
	伝統芸能普及事業	6月12日	東京2020オリンピックパラリ	11月16日
		6月13日	ンピック開催記念事業「吉田	
		6月14日	沙保里トークショー」	
	古市憲寿講演会	6月16日	特連文化フェスティバル	12月 5日
	出前講座サイエンスショー	6月26日	人権・男女共同参画フォーラ	12月 8日
		6月27日	ム	
		6月28日	文化祭 歌謡祭	12月15日
	親子で楽しむ室内管弦楽コン	7月 7日	文化祭 バレエ公演	12月15日
	サート		ブラバン・ディズニーコンサ	2年 1月19日
	おかあさんといっしょ	7月13日	ート	
	市民会館探検ツアー	7月27日	吉田正記念オーケストラコン	2月 1日
	山田路子アンサンブルLive	8月24日	サート	
	まちくる！vol.22	9月21日	いちはら名人寄席	2月 2日
	文化祭 三曲大会	9月29日	出前寄席	2月 8日
	文化祭 合唱祭	9月29日		2月 9日
	文化祭 吟詠剣詩舞大会	(中止)10月12日	まちくる！vol.23	2月15日
	文化祭 古典舞踊大会	(中止)10月12日	ストリートダンスイベント	(中止)3月 1日
	文化祭 謡曲大会	(中止)10月13日	ZONE	
	文化祭 太鼓の輪	(中止)10月13日	相川七瀬コンサート	(延期)3月14日
	文化祭 工芸展	10月17日	平原綾香コンサート	(延期)3月15日
		～20日	東京2020オリンピックパラリ	(延期)3月20日
	市原市中学校音楽発表会	10月21日	ンピック開催記念事業「『砂の	
	市原市小学校音楽発表会	10月23日	器』シネマコンサート」	
	文化祭 民謡秋祭り	10月27日	野村萬斎 狂言の世界	(延期)3月24日
文化祭 民舞大会	10月27日	まちくる！vol.24	(中止)3月29日	
文化祭 短歌大会	10月27日	いちはら Artists Power	通年	
夢の架け橋コンサート	11月 3日			

元	いちほら文化振興ボランティア 文化振興広報事業「おんぷ」発行	通年 年4回		
2	まちくる！ vol. 25 (動画配信) まちくる！ vol. 26 (動画配信) まちくる！ vol. 27 (動画配信) まちくる！ vol. 28 (動画配信) まちくる！ vol. 29 (動画配信) まちくる！ vol. 30 (動画配信) 夢の架け橋コンサート (動画配信) One's one こんさと 市民会館探検ツアー 村治佳織コンサート 出前寄席 (1回目) (2回目・動画配信) 伝統芸能 (動画配信) ICHIHARA ダンスパフォーマンス ステージ～絆～ いちほら Artists Power いちほら文化振興ボランティア 文化振興広報事業「おんぷ」発行 ※以下、中止となった事業 劇団四季ファミリーミュージカル 松竹大歌舞伎 伝統芸能普及事業 出前講座サイエンスショー 相川七瀬コンサート 文化祭 三曲大会 文化祭 合唱祭 文化祭 工芸展	2年 5月30日 (中止となった事業続き) 6月18日 文化祭 吟詠剣詩舞大会 7月 9日 文化祭 古典舞踊大会 7月31日 文化祭 謡曲大会 8月 7日 文化祭 バレエ公演 8月21日 文化祭 短歌大会 11月 1日 文化祭 民謡秋まつり 文化祭 民舞大会 11月 8日 松山千春コンサート 12月12日 さだまさしコンサート 11月14日 市原市小学校音楽発表会 11月15日 市原市中学校音楽発表会 11月29日 文化祭 郷土芸能大会 12月20日 文化祭 ハワイアンフラ祭 3年 2月 1日 文化祭 歌謡祭 ～28日 文化祭 太鼓の輪 1月23日 特連文化フェスティバル 3月28日 人権・男女共同参画フォーラム 通年 池上彰講演会 通年 原晋講演会 年4回 いちほら名人寄席 親子劇場 親子で楽しむ室内管弦楽コンサート 親子 de オペラ鑑賞デビュー 2年 5月17日 お笑いライブ ポピュラーコンサート 5月24日 ※以下、延期となった事業 6月 野村萬斎 狂言の世界 6月 砂の器 シネマコンサート 9月 5日 田原俊彦コンサート 9月27日 平原綾香コンサート 9月27日 10月 8日 ～11日	10月10日 10月10日 10月11日 10月11日 10月25日 10月25日 10月25日 10月29日 11月 2日 11月 5日 11月 6日 11月 8日 11月 8日 11月29日 11月29日 12月 3日 12月13日 3年 1月30日 2月 6日 2月 7日 2月21日 2月27日 3月 6日 3月31日 - 2年 6月26日 8月 1日 8月22日 3年 1月 24日	
3	One's one こんさと (1回目) 松山千春コンサート まちくる！ vol. 31 (動画配信) まちくる！ vol. 32 (動画配信) 野村萬斎 狂言の世界 One's one こんさと (2回目) 出前講座 サイエンスショー	3年 4月24日 伝統芸能普及事業 4月29日 5月16日 いちほら俳句チャレンジ (募集期間) (結果発表) 市民会館探検ツアー 5月21日 5月29日 田原俊彦コンサート 6月 8日 ～10日	6月28日 ～30日 7月 1日 ～8月31日 12月 1日 8月 6日 ～ 7日 8月21日	

3	文化芸術ワークショップ (会議室棟) (ホール棟)	3年 8月22日	まちくる! vol.33 (動画 配信)	4年 2月18日
	親子で楽しむ室内管弦楽コン サート	9月 5日 9月11日	小林愛実ピアノリサイタル 映画名作劇場	2月23日
	文化祭 合唱祭	9月26日	まちくる! vol.34 (動画 配信)	2月26日
	文化祭 三曲大会	9月26日	堂珍嘉邦×藤巻亮太コンサ ー	3月 4日
	文化祭 太鼓の輪	10月17日	ト	3月21日
	文化祭 謡曲大会	10月17日	アンサンブルコンテスト in 市原	
	文化祭 短歌大会	10月24日	いちはら Artists Power	3月27日
	文化祭 民舞大会	10月24日	いちはら文化振興ボランティ ア	通年
	文化祭 吟詠剣詩舞大会	10月24日	文化振興広報事業「おんぷ」 発行	通年
	夢の架け橋コンサート	11月 3日		
	文化祭 ハワイアンフラ祭	11月14日		
	芸術講座	11月28日		
	文化祭 バレエ公演	12月12日	※以下、中止となった事業	年4回
	文化祭 歌謡祭	12月12日	文化祭 古典舞踊大会	
	平原綾香コンサート	4年 1月16日	文化祭 民謡秋まつり	
	原晋 講演会	1月30日	市原市小学校音楽発表会	
	映画『砂の器』シネマ・コンサ ート	2月 6日	市原市中学校音楽発表会	3年10月16日
	いちはら名人寄席	2月13日	文化祭 郷土芸能大会 特連文化フェスティバル	10月16日 11月 4日 11月 5日 11月14日 12月9日

(2) 文化団体

○ 市原市文化団体連合会 (会長 関本 清人) (令和4年7月1日現在)

団 体 名	代 表 者 名
市原市民謡協会	齋藤 崇風
市原市合唱連盟	鈴木 勝典
市原市吟詠剣詩舞連盟	半沢 正憲
市原市茶華道協会	関本 清人
市原市将棋クラブ	志田 泰
市原市三曲協会	齋藤 崇風
市原市盆栽会	並木 俊憲
市原市工芸会	小野 春夫
市原市菊の会	相川 真樹
市原市美術会	高橋 光夫
市原市俳句協会	木村 傘休
市原市民舞協会	並木 とみ
市原市凧保存会	関氏 彰
市原市古典舞踊の会	吾妻 廣美
市原市歌人会	逸見 悦子
市原市歌謡連盟	里 孝良
市原クラシックバレエ協会	森田 優子
市原市謡曲連合会	大村 欣一
市原ハワイアン・フラ協会	佐藤 和子
和音プラス	比嘉 孝子
市原アンサンブル協会	松永 恒文
KOS伝承ダンス同好会	荒木 なみ
いちはら朗読音楽劇協会	本間 樺代子

○ 市原市民俗芸能連絡会 (会長 大岩 裕幸) (令和4年7月1日現在)

団 体 名	代 表 者 名
新巻祭囃子保存会	川 嶋 要一
今富愛宕囃子保存会	須田 和己
不入斗小鷹囃子保存会	板倉 重則
牛久囃子研究会	鶴岡 正志
大塚ばやし保存会	中嶋 規夫
菊間囃子保存会	伊藤 英俊
北若会	石川 祐輔
五井新田祭囃子保存会	安藤 誠
五井下宿祭囃子保存会	中嶋 光
鶴峯八幡宮十二座神楽保存会	征矢 善充
鶴舞囃子連	渋谷 誠一
新堀太鼓連	鶴岡 淳
宮本明神囃子保存会	高品 靖伸
山倉太鼓連	稲塚 清一

VII 社会体育

1 スポーツ・レクリエーション

◇市原市教育大綱における基本目標と施策の基本的な方針

基本目標6 多彩な地域資源を活用したスポーツの推進、歴史・文化・芸術の振興
施策の基本的な方針（1）生涯を通じたスポーツの推進

- 生涯を通じてスポーツに親しみ、健康でたくましい心と身体をつくるため、本市の特色あるスポーツ環境を生かした事業展開を図り、「する」スポーツ活動を推進します。
- スポーツに親しむための情報発信やトップレベルのスポーツに触れる機会の提供により、「みる」スポーツ活動を推進します。
- スポーツ施設の長寿命化や改修・修繕等に計画的に取り組み、市民が利用しやすいスポーツ環境の提供や本市のスポーツ活動を支えている団体への支援並びに様々な場面で活躍が期待できるスポーツボランティアの育成、活躍機会の提供により、「ささえる」スポーツ活動を推進します。

◇令和4年度推進事業

（1）いちはらの環境を活かしたスポーツ推進事業

本市の恵まれた環境を活かしたスポーツを推進するため、養老溪谷やゴルフ場を活用したイベントを開催します。

また、市内10地区のウォーキングマップの周知・活用に努めます。

（2）ユニバーサルスポーツの普及事業

体力や年齢、障がいの有無に関わらず、市民の誰もが楽しめるスポーツを普及するため、ユニバーサルスポーツ用具の購入や体験教室、大会の開催などによりユニバーサルスポーツの普及を図ります。

（3）スポーツボランティア活用事業

ボランティア文化の醸成により、共に支えあうまちづくりを目指すため、スポーツを支え、様々な場面で活躍が期待できるスポーツボランティアを募集し、スポーツ大会等でボランティアとして活躍できる「ひとづくり」を進めます。

（4）大学とのスポーツ連携事業

地域スポーツの活性化を図るため、大学が有する人材、施設、スポーツに係るノウハウ等を活用して、大学との協働によるスポーツイベントを開催します。

（5）スポーツ合宿誘致事業

市原スポレクパーク、ゼットオーオリプリスタジアム、ゼットオーボールパークなど、本市の優れたスポーツ施設を活用して、積極的にスポーツ合宿を誘致するため、市内の宿泊施設と連携した取組を行います。

2 社会体育

(1) 運動施設一覧

総称	施設名	所在地	面積(㎡)	概 要	令和3年度 利用者数
南総運動広場	野 球 場	奉免166-1	10,965	野球1面・スコアボード・バックネット・中堅110m 両翼87m・便所・用具庫・管理棟	2,712
	庭 球 場	奉免166-1	2,888	ハードコート4面	4,508
姉崎運動広場	野 球 場	椎津1550	9,908	野球1面・スコアボード・バックネット・中堅110m 両翼85m・便所・用具庫・管理棟	2,573
	庭 球 場	椎津1550	2,888	ハードコート4面	8,918
三和運動広場	野 球 場	磯ヶ谷1606-2	11,195	野球1面・スコアボード・バックネット・中堅110m 両翼87m・便所・用具庫・管理棟	6,202
	庭 球 場	磯ヶ谷1606-2	3,098	ハードコート4面	5,301
市津運動広場	多目的広場	潤井戸11-2	21,127	野球・サッカー1面・ラグビー1面・スコアボード・バックネット・中堅110m 両翼90m・用具庫・管理棟・相撲土俵・陸上直線走路(100m)	8,007
	庭 球 場	潤井戸11-2	2,508	砂入り人工芝4面	22,621
加茂運動広場	多目的広場	本郷370-1	14,945	野球・サッカー1面・ラグビー1面・スコアボード・バックネット・中堅143m 両翼99m・用具庫・管理棟・陸上直線走路(100m)・展望広場	8,380
	ミニ球技場	本郷370-1	1,326	フットサル1面・ゲートボール・ニュースポーツ	781
市原市武道館	大 道 場	八幡1272-3	270	剣道・空手道・少林寺拳法・合気道	4,146
	大 道 場	能満1474-1	1,502	柔道・剣道・空手道6面・卓球24台・なぎなた4面・ボクシング1セット レスリング1面・観覧席1,074席・会議室・更衣室	23,207
ゼットエー 武道場	相 撲 場	能満1474-1	225	観覧席150席・更衣室	291
	弓 道 場	能満1474-1	416	観覧席60席・遠的70m・近的28m(6人立ち) 遠的場はアーチェリーも使用可	12,619
	健康増進センター	能満1474-1	322	体力診断システム(コンピューター使用)・リラクゼーション機器 ・フリーウェイト(バーベル他)・エアロビック機器・ウェイトトレーニングマシン	21,094
	エアームライフル場	能満1474-1	409	10立・エアームライフル射撃場(許可必要) 3立・エアームライフル(許可不要)	306

総称	施設名	所在地	面積(㎡)	概 要	令和3年度 利用者数
市原スポーツ レクパーク	天然芝グラウンド	菊間775	30,000	サッカー3面・ラグビー3面	18,085
	人工芝グラウンド	菊間775	9,600	ロングパイル人工芝・夜間照明4基	11,190
市原緑地 運動公園	臨海体育館	岩崎292	3,062	鉄筋コンクリート2階建・フロアリング床・天井高11m ステージ・会議室・控室・更衣室・シャワー室・便所・医務室・ 映写室他	18,433
	ゼットエー ボールパーク	岩崎315	19,426	両翼98m・中堅122m・人工芝グラウンド・スコアボード・ 天然芝スタンド・夜間照明塔・防球ネット・便所・ダッグアウト・ ブルペン・更衣室・医務室・シャワー室・身障者観覧室・放送記録室等	16,942
	ゼットエー オリブリーススタジアム	岩崎536	34,601	全天候ウレタン舗装トラック・3種混合洋芝・夜間照明塔 鉄筋コンクリートプレキヤスト4階建スタンド・電光表示板 便所・医務室・更衣室・放送室・記者室・トレーニンングルーム	16,062
	臨海第1庭球場	岩崎560	3,990	砂入り人工芝6面・夜間照明施設	34,257
	臨海第2庭球場	岩崎401	3,953	砂入り人工芝6面・夜間照明施設	26,399
	臨海プール	岩崎283	4,500	50mプール・幼児プール・脱衣所・便所・シャワー等・売店	3,233
養老川 臨海公園	養老川臨海第1球場	五井南海岸1-12	13,352	野球1面・両翼91m・中堅116m・バックネット	3,514
	養老川臨海第2球場	五井南海岸1-12	13,594	野球1面・両翼91m・中堅116m・バックネット	3,175
玉前公園	玉前球場	玉前西3-1	10,191	野球1面・右翼86m・左翼93m・中堅110m・ 土ググラウンド・便所・バックネット・防球ネット	2,645
八幡運動公園	八幡サッカー場	八幡1050-3	11,205	ダスト舗装1面・夜間照明施設	17,754
八幡公園	八幡庭球場	八幡440	1,660	砂入り人工芝3面・夜間照明施設	20,680
	八幡プール	八幡440	6,345	25mプール・コミュニティプール・幼児プール・スライダープール・ 便所・医務室・シャワー室・更衣ロッカー室・休憩所・日除けテント・ 駐車場・売店	11,532
	八幡球技場	八幡440	11,360	ロングパイル人工芝1面・夜間照明施設	34,010

総称	施設名	所在地	面積(m ²)	概 要	令和3年度 利用者数
ちはら台 公園	ちはら台多目的 スポーツ広場	ちはら台西3-3	11,050	天然芝1面	8,778
	ちはら台庭球場	ちはら台西3-3	1,520	砂入り人工芝2面	12,021
堂坂公園	堂坂庭球場	ちはら台西1-2	1,320	砂入り人工芝2面	11,115
御影台公園	御影台庭球場	ちはら台東5-21	2,782	砂入り人工芝4面	25,721
姉崎公園	姉崎サッカー場	姉崎海岸23-2	12,350	天然芝1面・防球ネット・夜間照明塔	15,286
	姉崎多目的広場	姉崎海岸23-2	4,070	砂入り人工芝・フットサル3面・ジュニアサッカー1面 防球ネット・夜間照明塔	31,598
	姉崎プール	姉崎海岸23-2	3,900	冬季スケート場・流水プール・子供プール・更衣ロッカー室 駐車場・食堂・売店	6,285
	姉崎スケート場	姉崎海岸23-2	3,900	夏季プール・メインリンク・サブリンク 食堂・売店	5,802

総称	施設名	所在地	面積(m ²)	面積範囲	概要	令和3年度利用者数
八幡公民館	体育室	八幡1050-1	792.0	床	バレーボールコート2面	19,483
姉崎公民館	体育室	姉崎2150-1	723.0	床	バレーボールコート2面	28,725
有秋公民館	体育室	有秋台西1-3-2	728.5	床	バレーボールコート2面	27,919
市津公民館	体育室	下野90-1	710.6	床	バレーボールコート2面	20,165
南総公民館	体育室	牛久520-1	856.1	床	バレーボールコート2面	10,342
加茂公民館	体育室	養老949-1	955.5	床	バレーボールコート2面	10,223
五井公民館	体育室	五井5472-1	999.3	床	バレーボールコート2面	25,930
辰巳公民館	体育室	辰巳台西3-14-1	712.8	床	バレーボールコート2面	28,024
国分寺公民館	体育室	南国分寺台1-2-6	628.5	床	バレーボールコート1面	18,886

(2) 令和3年度社会体育事業報告

事業名		会場	日程等	対象・参加人数
学校体育施設開放		市立小・中学校	平日・土曜日・日曜日・祝祭日及び夜間	市民 429,113名
市民スポーツ教室	前期	エアロストレッチ教室	臨海体育館 (月) 4月～6月	市民 58名
		バドミントン教室	臨海体育館 (金) 4月～7月	女性 26名
		テニス教室	市津運動広場 (木) 4月～7月	市民 43名
		ナイトジョギング教室	ゼットエーオリブリススタジアム (火) 4月～6月	市民 79名
		やさしいヨガ教室	姉崎保健福祉センター (金) 4月～6月	市民 43名
		ソフトテニス教室	臨海第2庭球場 (火) 4月～6月	市民 33名
	後期	エアロストレッチ教室	臨海体育館 (月) 9月～11月	市民 57名
		バドミントン教室	臨海体育館 (金) 9月～11月	女性 35名
		テニス教室	臨海第2庭球場 (木) 9月～12月	市民 41名
		ナイトジョギング教室	ゼットエーオリブリススタジアム (火) 8月～10月	市民 81名
		やさしいヨガ教室	姉崎保健福祉センター (金) 9月～12月	市民 50名
		ソフトテニス教室	臨海第2庭球場 (火) 9月～11月	市民 33名
市民スポーツ教室	エンジョイヨガ教室	ゼットエー武道場 (金) 1月～3月 (全5回)	市民 10名	
	やさしいピラティス教室	ゼットエー武道場 (水) 2月～3月 (全5回)	市民 7名	
	アロマストレッチ教室	ゼットエー武道場 (木) 10月 (全5回)	中止	
	ウインターエアロ教室	ゼットエー武道場 (月) 1月～3月	市民 306名	
	ノルディックウォーキング教室	ゼットエー武道場周辺 (土) 1月～3月	市民 7名	
	スケート教室	姉崎スケート場 12月13日～17日 (全5回)	市民 27名	
	スキー教室		令和4年1月下旬	中止
各種大会	エンジョイ・レース・テストナメント	臨海第2庭球場	10月7日(木)	市内在住・在勤の女性 60名
	レースバドミントン大会	ゼットエー武道場	7月9日(金)	市内在住・在勤の女性 42名
	市民体育祭	市内15会場	9月～10月	中止
	市原高滝湖マラソン	高滝ダム周辺	令和4年1月8日(土)	中止

事業名	会場	日程等	対象・参加人数
スポーツ協会関係	市民体育大会	市内外各会場	通 年 一般市民
	競技別各種大会	市内外各会場	通 年 一般市民
スポーツ推進委員関係	いきいき市原ワンデーマーチ	養老溪谷周辺	4月29日（祝・木） 中 止
	ソフトバレーボール大会	臨海体育館	中 止 中 止
	養老溪谷ファミリーハイキング	養老溪谷周辺	11月23日（祝・火） 中 止
	市原市健康マラソン・リレーマラソン大会	上総更級公園	中 止 中 止
	市原市スポーツ・レクリエーション祭 各地区大会	市内各地区（10地区2事業以上）	通 年 市 民 826名
市原市ジュニアゴルフ教室	かずさカントリークラブ	令和3年10月2日（土）～10日（日）	市内小学3年生～中学3年生 延べ61名
ホームタウン関係	ホームタウンふれあいフェスタ	ゼットエーオリプリスタジアム	中 止 中 止
	スポーツ体験教室（サッカーおとどけ隊）	市内小学校、保育所、認定こども園	通 年 25施設
	千葉ロッテマリーンズ野球&ダンス体験教室	市内小学校、保育所、認定こども園	通 年 中 止

（3）令和3年度学校体育施設開放事業概要

① 趣 旨	市民の健康づくりや体力づくりの推進並びにスポーツ活動の普及拡充のために、学校体育施設を体育・スポーツ活動の場として地域住民に開放する。
② 概 要	開放学校数 市内小中学校 61校（小学校39校 中学校21校 小中一貫教育校1校）
③ 開放施設	小学校（体育館・校庭） 中学校（体育館・校庭・柔剣道場）

VIII 資 料

1 歴代教育長・教育委員

年度	教 育 長 ・ 教 育 委 員					参 与 員	
39	川上 二典	鈴木 良平 齊田 鶴松	*齊藤源一郎 ○ "	○大田 正雄 安藤 雅章	伊藤新太郎 *本間 隆次		
40	"	"	○ "	" 三橋 力	* "		
41	"	"	○ "	"	* "		
42	○ "	"	○ " 川口 敬次	"	* "	三橋 寛	佐藤 常
43	○ "	"	"	"	* "	"	"
44	○ "	"	"	" 三橋 寛	* "	"	"
45	○ "	"	"	"	* "	杉本 義治郎	"
46	○ "	"	" 中島 秀夫	"	* "	"	"
47	○ "	" 杉本 義治郎	"	"	* "	"	"
48	○ "	"	"	○ "	* "	国吉 忠一	"
49	" 吉田 太郎	"	"	○ "	* "	"	"
50	"	"	"	○ "	* " *齊藤 明	"	"
51	"	"	"	○ "	*石井 正泰		"
52	"	"	"	○ "	* "		"
53	"	"	"	○ "	* "		
54	"	"	○ "	○ "	* "		
55	"	" 小宮 徳次郎	○ "	"	* "		
56	○ "	"	○ "	" 星野 一郎	* "		
57	○ "	"	"	"	* "		
58	○ "	○ "	"	* "	* " 植草 久善		
59	"	○ "	"	* "	"		
60	"	○ "	○ "	* "	"		
61	" 泉水 亀三	"	○ "	* "	"		
62	"	○ "	○ " 長野 正文	* "	"		
63	"	○ "	"	* "	○ "		
元	"	小宮 徳次郎	"	* "	○ "		
2	○ "	"	"	* "	○ "		

年度	教 育 長 ・ 教 育 委 員					参 与 員	
3	○泉水 亀三	小宮 徳次郎	長野 正文 牧野 肇成	*星野 一郎	植草 久善		
4	○ " "	" "	" "	* " "	○ " "		
	" "	" "	○ " "	泰野 静夫	* " "		
5	" "	" "	○ " "	" "	* " "		
6	" "	○ " "	○ " "	" "	* " "		
	三木 敏靖	" "	" "	" "	*大野 皎		
7	" "	○ " "	" "	" "	* " "		
	" "	" "	伊藤 作平	" "	" "		
8	" "	○ " "	" "	" "	* " "		
	" "	齋賀 昌五	" "	○ " "	" "		
9	○ " "	" "	" "	○ " "	* " "		
10	○ " "	" "	" "	" "	* " "		
11	○ " "	" "	" "	" "	* " "		
	" "	" "	飯高 和子	" "	" "		
12	○ " "	" "	" "	" "	* " "		
13	○ " "	" "	" "	" "	* " "		
	" "	" "	" "	*竹下 徳永	浅野 薫之		
14	○ " "	" "	" "	* " "	" "		
	" "	○ " "	" "	" "	" "		
15	" "	○ " "	" "	* " "	" "		
	" "	" "	土岐 典子	*山中 齊	" "		
16	" "	○ " "	" "	* " "	" "		
	○ " "	山崎 正夫	" "	" "	" "		
17	○ " "	" "	" "	* " "	" "		
	" "	" "	" "	" "	○ " "		
18	" "	" "	" "	* " "	○ " "		
	伊藤 均	○ " "	" "	" "	" "		
19	" "	○ " "	" "	* " "	" "		
	" "	* " "	" "	○ " "	" "		
20	" "	* " "	" "	○ " "	" "		
21	" "	* " "	" "	○ " "	" "		
22	" "	* " "	" "	○ " "	" "		
23	" "	* " "	" "	○ " "	" "		
	" "	" "	" "	" "	白鳥 秀幸		
24	" "	* " "	" "	○ " "	" "		
	" "	○ " "	洞 厚子	" "	* " "		
25	" "	○ " "	" "	" "	* " "		
	" "	" "	" "	船山 慶子	" "		
26	" "	○ " "	" "	" "	* " "		
27	" "	○ " "	" "	" "	* " "		
	" "	" "	" "	" "	* 前田 周一		
28	" "	" "	" "	" "	* " "		
	" "	秋田 秀博	" "	" "	" "		
29	" "	" "	" "	" "	* " "		

年度	教 育 長 ・ 教 育 委 員					参 与 員	
30	伊藤 均 田村 雅治	秋田 秀博	洞 厚子	船山 慶子	* 前田 周一 * 林 充		
元	〃	〃	〃	〃	* 〃		
2	〃	〃	〃	〃	* 〃		
3	〃	〃	〃	〃	* 〃		
4	〃	〃	〃	〃	* 〃		

- (注) ・*は教育長、○は委員長を示す。
 ・委員長は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、平成27年7月16日限りで廃止した。
 ・参与員は、昭和42年10月1日に南総町、加茂村の合併に基づき設置し、昭和52年9月30日限りで廃止した。

2 学校教育諸団体

(1) 市原市教育支援委員会

① 委員

(令和4年7月1日現在)

区分	No.	氏名	所属	役職名	備考
医師	1	野崎 修	野崎 医 院	医 師	新
	2	片橋 立秋	いちほら耳鼻咽喉科	医 師	
	3	宇井 るい	市原鶴岡病院	医 師	
教 育 職	4	鈴木 啓子	有秋西小学校	校 長	新
	5	小野寺城治	湿津中学校	校 長	
	6	庄司 喜昭	市原特別支援学校	校 長	
	7	神子佳津子	市原特別支援学校	教 諭	新
	8	栗田 和美	養老小学校	教 諭	
	9	高部 秀人	ちはら台桜小学校	教 諭	
	10	泉水 輝美	菊間中学校	教 諭	
	11	田中 明美	五井小学校	教 諭	
行 政 機 関	12	山崎 澄江	ちはら台桜小学校	養護教諭	
	13	黒川 陽子	発達支援センター	係 長	
	14	黒須 宏美	発達支援センター	言語聴覚士	
	15	今村 多珠代	馬立保育所	園 長	
	16	中村 和良	学校教育課	課 長	新
	17	川面 和典	教育センター	指導主事	

② 調査員

(令和4年7月1日現在)

区分	No.	氏名	所属	役職名	備考
特 別 支 援 教 育 担 当	1	神子佳津子	市原特別支援学校	教 諭	新
	2	栗田 和美	養老小学校	教 諭	
	3	田中 明美	五井小学校	教 諭	
	4	佐藤 佳弘	八幡小学校	教 諭	
	5	木嶋 義恵	石塚小学校	教 諭	
	6	川添 淳子	八幡小学校	教 諭	
	7	古屋 真知子	寺谷小学校	教 諭	
	8	高石 由美子	国府小学校	教 諭	
	9	皆平 美佳	白金小学校	教 諭	
	10	鈴木 由紀子	国分寺台小学校	教 諭	新
	11	鏡 良幸	菊間小学校	教 諭	新
	12	寺尾 美里	有秋西小学校	教 諭	新
	13	立澤 聡	発達支援センター	言語聴覚士	
	14	黒須 宏美	発達支援センター	言語聴覚士	

(2) 市原市特別な教育的支援を必要とする児童生徒に係る支援会議委員

(令和4年8月1日現在)

氏名	役職等
市原特別支援学校の代表	
鶴本 弘美	千葉県立市原特別支援学校教頭
医師	
倉山 英生	一般社団法人市原市医師会監事
臨床心理士	
志村 聡子	一般社団法人千葉県公認心理師協会 臨床心理士・公認心理師
千葉県中核地域生活支援センターの代表	
大戸 優子	千葉県中核地域生活支援センター いちばら福祉ネット所長
学識経験者	
伊藤 鉄夫	元淑徳大学総合福祉学部教授

(3) 市原市通学区域調整委員会委員

(令和4年7月1日現在)

氏名	役職等
学識経験者	
古川 謙一	市原市青少年相談員連絡協議会 会長
学識経験者	
村山 路子	市原市民生委員児童委員協議会 理事
小学校長	
東 周	市原市立戸田小学校 校長
小学校長	
村串 悦子	市原市立千種小学校 校長
中学校長	
野城 茂行	市原市立国分寺台西中学校 校長
中学校長	
北森 功	市原市立若葉中学校 校長
町会長連合会代表	
鴫田 信行	市原市町会長連合会 会長
PTA連絡協議会代表	
鶴岡 直人	市原市PTA連絡協議会 地区常任委員
市職員	
鈴木 佳彦	地域連携推進課 課長

(4) 市原市通学路事故防止対策協議会委員

(令和4年5月1日現在)

	氏名	機関・所属名	職名	備考
1	唐澤 利文	市原市小学校校長会	会長（八幡小学校長）	
2	佐藤 文美	市原市中学校校長会	会長（五井中学校長）	
3	鈴木 雅人	市原警察署	交通課長	
4	用 謙太郎	市原土木事務所	維持課長	
5	加藤 久士	市原土木事務所	鶴舞出張所長	
6	仲村 裕子	市原市 市民生活部	地域連携推進課主幹	
7	樋口 和之	市原市 土木部	土木管理課長	
8	金杉 三喜雄	市原市 土木部	道路建設課長	
9	仲村 晃一	市原市 土木部	道路維持課長	
10	山崎 勝二	市原市 土木部	南部土木事務所長	
11	中村 和良	市原市 学校教育部	学校教育課長	
12	滝口 隆一	市原市 学校教育部	指導課長	
13	石川 教男	市原市 教育総務部	教育総務課長	協議会会長

※任期：令和3年5月1日～令和5年4月30日

(5) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

①小学校

(令和4年7月1日現在)

No.	小学校名	学 校 医		学 校 歯 科 医	学校薬剤師
		内 科 医	眼科・耳鼻科医		
1	八幡	倉山英生・宮本信浩	清川正浩 和田二郎	浅野裕之・初芝成之	小澤美佳
2	菊間	寺嶋雅史・山内健嗣	(清川広恵) (片橋立秋)	及川喜和・松田澄江	井上 浩
3	市原	小野木淳	(清川正浩) (橋本純弥)	渡部聡明	白井和子
4	辰巳台東	高 博明・倉持宏明	(清川広恵) (片橋立秋)	土橋信男・村西俊哉	山田仁之
5	辰巳台西	関澤裕人・山内健嗣	(清川広恵) (片橋立秋)	川畑 格・高橋啓子	安部千百合
6	五井	宮本信浩・馬場奏子 徳政直起・野崎 修	麻薙 薫 大倉 崇	重野 契・木村守宏 佐藤由信・田川七郎	中山圭喜
7	白金	長谷川史郎・荒原健男	(清川広恵) (和田二郎)	田中國資 小無田真里	伊藤瑠美子
8	国府	大岡 光	(宮沢敏郎) 小島好雅	佐藤由信	石井哲也
9	京葉	川越理香・森 淳夫 荒原健男	(齊藤 隆) 小島好雅	猪俣哲夫・時田直人 本田 薫	岡本奈津美
10	千種	越川健太郎・茂久田修 染谷知宏	麻薙 薫 (蔵内隆秀)	大野裕久・水田 進 村瀬俊彦	岡本奈津美
11	東海	鎗田 努	(齊藤 隆) (大倉 崇)	大岡 令	三島孝樹
12	姉崎	内田威一郎・四ツ谷敏朗	広松正児 蔵内隆秀	松田 博・小泉一明	小西弘晃
13	有秋東	四ツ谷諭	(広松正児) 千葉恭久	小泉 涉	浜 文
14	海上	鎗田 正	(橋本ゆう子) 蔵内隆秀	加賀美毅樹	岡本 衛
15	市西	大木美秀	(齊藤 隆) (大倉 崇)	佐久間博史	齋藤直史
16	養老	大木美秀	(宮沢敏郎) (蔵内隆秀)	加賀美毅樹	永嶋謙一
17	湿津	碓井健司・今井瑞香	(清川正浩) 片橋立秋	中島 暢・田中 陽	小室裕保
18	市東第一	奥田 整	(清川広恵) 片橋立秋	山本利男	国吉絢子
19	戸田	永野佑一	(田村雅弘) (小島好雅)	永野伸一	高崎由紀子
20	牛久	三橋京子	(田村雅弘) (小島好雅)	三橋博隆	宮澤純之

No.	小学校名	学 校 医		学 校 歯 科 医	学校薬剤師
		内 科 医	眼科・耳鼻科医		
21	鶴舞	三橋 淳	(麻薙 薫) (小島好雅)	小宮敏彦	石川寿一
22	有秋西	高岡 敦・稲葉恵子	(広松正児) (千葉恭久)	藏内優子・渡辺孝行	宮坂知江
23	若葉	高野 慎・泉水 昇	麻薙 薫 大倉 崇	小泉一明・川上一秀	名倉翔語
24	明神	内田威一郎・高岡 敦	(広松正児) 藏内隆秀	小池清二・松田裕一	三島孝樹
25	若宮	渡部十九六	清川広恵 和田二郎	加賀美勝仁	伊藤 均
26	石塚	倉持宏明・山見智子	(清川正浩) (和田二郎)	荻野 淳・伊藤祐好	小野崎章
27	青葉台	茂久田修・四ツ谷諭	広松正児 千葉恭久	水田 進・鎗田四郎	藤田裕美
28	白幡	山見智子	(清川正浩) (橋本純弥)	鹿島宗幹	行徳浩志
29	国分寺台	野崎 修・山越弘明	宮沢敏郎 (大倉 崇)	稲葉 洋・常泉正明	小西恵可
30	光風台	田村雅治・三橋京子	田村雅弘 (藏内隆秀)	伊藤祐好・重野 契	高崎由紀子
31	寺谷	田村雅治	(橋本ゆう子) (小島好雅)	齋藤則之	今関美恵子
32	国分寺台西	大岡 光・徳政 直起	(橋本ゆう子) (大倉 崇)	泉水孝夫・末廣幸文	吉井加寿子
33	有秋南	稲葉恵子	広松正児 (千葉恭久)	大野裕久	細川清史
34	国分寺台東	大木美秀・小椋健司	(橋本ゆう子) (大倉 崇)	高橋秀文・高宮晃吉	名倉翔語
35	水の江	碓井健司・押田恵子	(宮沢敏郎) 橋本純弥	松原雅二・幾本英之	高橋秀幸
36	五所	長谷川史郎	橋本ゆう子 (和田二郎)	高橋啓子	伊藤瑠美子
37	清水谷	西岡 正・表 敬介 斉藤公男	(田村雅弘) 橋本純弥	常泉正明・長野高志 渡邊聖子	安部千百合
38	牧園	安藤 靖・下山真彦	(麻薙 薫) (橋本純弥)	土橋信男 小無田真里	国吉絢子
39	ちはら台桜	押田恵子・斉藤公男 西岡 正	(清川正浩) (橋本純弥)	宮吉正人・石渡純也 松田英一郎	伊藤浩美
40	加茂	田中保彦	(田村雅弘) (千葉恭久)	豊田博志	蔭山幸江

②中学校

(令和4年7月1日現在)

No.	中学校名	学 校 医		学 校 歯 科 医	学校薬剤師
		内 科 医	眼科・耳鼻科医		
1	八幡	倉山英生・関 誠	清川正浩 和田二郎	浅野裕之・鎗田 整	伊藤浩美
2	菊間	山内健嗣	(宮沢敏郎) (片橋立秋)	古地信二	小野崎章
3	市原	今井 均	(齊藤 隆) (橋本純弥)	宮吉 誠	白井和子
4	五井	馬場奏子・高野 慎 鎗田 努	橋本ゆう子 大倉 崇	村主高志・古波倉敏 中澤信治	矢嶋照雄
5	東海	小出貢二	齊藤 隆 大倉 崇	小泉 涉	岡本 衛
6	姉崎	内田威一郎・遠山洋一	(広松正児) (千葉恭久)	小池清二・水田 茂	浜 文
7	三和	山越弘明	橋本ゆう子 (小島好雅)	本田 薫	安藤純子
8	湿津	鈴木和浩	田村雅弘 片橋立秋	中島 暢	小室裕保
9	市東	杉田 茂	宮沢敏郎 片橋立秋	山本利男	国吉絢子
10	辰巳台	小野木淳・鈴木啓之 表 敬介	(宮沢敏郎) 藤川 陽	馬橋敏紀・松原雅二 佐久間尚志	坂本知子
11	加茂	田中保彦	田村雅弘 千葉恭久	金井 亨	蔭山幸江
12	南総	藤原 稔・三橋 淳	(麻薙 薫) 蔵内隆秀	渡辺哲広	宮澤純之
13	若葉	泉水 昇・山崎祐二	麻薙 薫 (大倉 崇)	渡邊孝雄・時田直人	齋藤直史
14	有秋	高岡 敦・越川健太郎	(広松正児) 千葉恭久	齋藤則之・矢島 健太	石井哲也
15	八幡東	寺嶋雅史	清川広恵 和田二郎	佐久間博史	仲村裕樹
16	国分寺台	飯倉康弘・小椋健司	齊藤 隆 小島好雅	藤平真樹・岡本芳敬	松本弘行
17	姉崎東	遠山洋一	広松正児 (千葉恭久)	木村孝雪	細川清史
18	双葉	三井正泰	橋本ゆう子 (蔵内隆秀)	村西俊哉	永瀧謙一
19	千種	伊嶋正弘・小出貢二	(麻薙 薫) (蔵内隆秀)	西牧佳明・手代木悠太	水野嘉宏
20	国分寺台西	濱田哲郎・渡部宏嗣	(齊藤 隆) 小島好雅	鶴岡和之・宗田友紀子	中島初枝
21	ちはら台南	安藤 靖・下山真彦 関澤裕人	宮沢敏郎 橋本純弥	遠藤 情・片井正裕 宮吉 誠	永野祐太郎
22	ちはら台西	鈴木和浩・下山真彦	(清川正浩) 橋本純弥	及川義久・長谷川良二	岸 克幸

※小・中学校とも眼科・耳鼻科医のうち（ ）内は健康診断に従事する医師である。

(6) 市原市学校給食共同調理場運営委員会委員

(令和4年7月1日現在)

職名	氏名	職名	氏名
市原健康福祉センター長 (市原保健所長)	佐久間 文明	牧園小学校PTA	笠間 翔
牛久小学校長	田中 恵理子	南総中学校PTA	飯塚 和幸
菊間小学校長	田中 哲也	五井小学校PTA	三枝 弘昌
牧園小学校長	坂口 弘樹	辰巳台東小学校PTA	稲田 広大
白幡小学校長	鈴木 恵子	明神小学校PTA	二瓶 信也
京葉小学校長	関谷 聡	市原市医師会代表	今井 瑞香
市原中学校長	根本 尚美	市原市歯科医師会代表	齋藤 則之
菊間中学校長	宮内 雅史	市原市薬剤師会代表	宮坂 知江
国分寺台中学校長	小高 輝美		

3 社会教育諸団体

(1) 社会教育委員

◎委員長 ○副委員長

(令和4年6月9日現在)

氏名	役職等
毛塚真澄	小学校長会
栗原朗	中学校長会
岩埜直史	千葉県高等学校長協会市原地区
島田晴夫	市原市老人クラブ連合会
伊藤弘美	市原市文化団体連合会
齋藤和夫	市原市スポーツ協会
石井堯栄	市原市青少年相談員連絡協議会
蒔田幸枝	市原市PTA連絡協議会
西脇政章	市原市町会長連合会
泉水洋二	学識経験者
◎大浦善博	学識経験者
御簾納正一	学識経験者
○今西乃子	学識経験者

(2) 公民館運営審議会委員

◎委員長 ○副委員長

(令和4年5月28日現在)

氏名	役職等
小出博	社会教育の関係者
◎石井健	社会教育の関係者
山田孝雄	社会教育の関係者
山田能里子	社会教育の関係者
柴寄洋子	社会教育の関係者
田村壽英	社会教育の関係者
清水隆	社会教育の関係者
三浦雅子	社会教育の関係者
佐藤進	社会教育の関係者
根本尚美	学校教育の関係者
野崎由美子	学校教育の関係者
水口章	学識経験者
○外山洋子	学識経験者
安藤恵美子	家庭教育の関係者
丸山博美	家庭教育の関係者

(3) 市原市立中央図書館協議会委員

(令和4年7月1日現在)

氏 名	役 職 等
学校教育関係者	
澤 大 輔	市原市私立幼稚園協会 会長
出 本 晴 美	市原市小学校長会
渡 邊 重	市原市中学校長会
岩 埜 直 史	千葉県高等学校長協会市原地区
社会教育関係者	
中 沢 一 枝	市原市子ども会育成会連絡協議会
淀 美津子	いちほら文庫・おはなし会連絡協議会 代表
家庭教育関係者	
大 森 桂	市原市PTA連絡協議会 地区常任委員
嶋 田 健 一	千葉県高等学校PTA連合会市原地区
学識経験者	
安 田 秀 喜	帝京平成大学図書館 館長
伊 達 優 子	市原市社会福祉協議会 ソーシャルワーカー
畑 島 信 雄	元市原市立中央図書館 館長
千 錫 烈	関東学院大学社会学部現代社会学科 教授

(4) 市原市青少年問題協議会委員

◎会長

(令和4年7月1日現在)

氏名	役職等
◎ 小出 譲治	市長
田 尻 貢	市議会議長
橋 本 秀 和	教育民生常任委員長
香 月 直 幸	市原警察署長
佐 久 間 文 明	市原健康福祉センター長
今 道 和 信	市立小学校長の代表者
常 澄 秀 明	市立中学校長の代表者
出 野 晃 平	市内の高等学校長の代表者
長 谷 川 祐 司	市保健福祉部長
秋 葉 健 二	市子ども未来部長
小 林 洋 一	市経済部長
林 充	市教育長
鈴 木 俊 一	市教育委員会事務局 教育振興部長

(5) 市原市青少年指導センター運営協議会委員

(令和4年7月1日現在)

号 委員	氏 名	役 職 等
1 号 委員 教 育 者 関 係 者	鈴木 俊一	市原市教育委員会 教育振興部 部長
	常 泉 香 澄	千葉県高等学校長協会市原地区校長会代表
	石 井 堯 栄	市原市社会教育委員会議代表
	常 澄 秀 明	小中学校校長代表 学校警察連絡協議会会長
2 号 委員 児 童 福 祉 関 係 者	片 岡 仁	市原市民生委員児童委員協議会代表
	大 浦 善 博	市原地区保護司会 保護司
	並 木 利 夫	市原市防犯協会代表
	今 泉 武 典	市原市青少年相談員連絡協議会 副会長
	秋 田 錦一郎	市原市青少年補導員連絡協議会 会長
	川 口 昭 子	市原地区更正保護女性会 会長
3 号 委員 警 察 者 関 係 者	庄 司 哲 朗	市原警察署生活安全課 課長
4 号 委員 学 識 者 経 験 者	鶴 岡 みつ子	市原市退職校長会 元小学校長
	天 羽 正 博	市原市退職校長会 元中学校長
5 号 委員 民 間 団 体 代 表	笠 間 翔	市原市PTA連絡協議会 副会長
	櫻 田 真 人	市原市臨海部工場連絡会代表

(6) 市原市文化財審議会委員

(任期 令和3年6月17日～令和5年6月16日)

番号	役職	氏名	備考
1		市毛 勲	
2		香月 節子	
3		塩澤 寛樹	
4		萩原 恭一	
5		鈴木 仲秋	
6		金出 ミチル	令和4年7月14日～ 令和6年7月13日
7		西脇 康	
8	副会長	原田 一敏	
9		高橋 克	

(7) 市原市美術資料収集選定委員会委員

(任期 令和3年7月1日～令和5年6月30日)

番号	役職	氏名	備考
1	委員長	米田 耕司	
2		鴻野 わか菜	
3		河野 実	
4		前川 公秀	

(8) 市原市地磁気逆転地層保存活用検討委員会委員

(任期 令和3年10月1日～令和5年9月30日)

番号	役職	氏名	備考
1	委員長	岡田 誠	
2		亀尾 浩司	
3		小荒井 衛	
4		永嶋 絹代	
5		高橋 秀樹	
6		加藤 久佳	新任

(9) 市原市スポーツ推進委員

(令和4年7月1日現在)

地区	No	氏名	性別	指導可スポーツ・資格	地区	No	氏名	性別	指導可スポーツ・資格	
市原	1	浅野 英美	男		総南	49	伊藤 陽子	女	バレーボール	
	2	今井 和幸	男			50	鈴木 優子	女	バレーボール、ソフトバレー	
	3	岡本 均	男			51	氷室 佐和子	女		
	4	吉田 輝夫	男			52	小柳 正公	男	バドミントン、スポーツ吹き矢	
	5	宮田 拓和	男			53	牧澤 利浩	男	バレーボール	
	6	石渡 政彦	男	テニス		54	村越 真裕	男	サッカー、テニス	
	7	依田 輝男	男	野球		55	鶴岡 正幸	男	バレーボール	
	8	梅谷 晃弘	男			加	56	鎌滝 育男	男	
	9	仲村 淳樹	男				57	中條 雅和	男	
	10	千葉 雅一	男				58	市原 秀和	男	野球
	11	山口 智之	男	空手			59	相川 徳光	男	サッカー
	12	鶴岡 寛之	男	サッカー			60	中澤 力生	男	
五井	13	福原 正巳	男	野球、ソフトボール、ドッジボール、ニュースポーツ全般	茂		61	小宮 直人	男	
	14	杉尾 良輔	男			62	杉田 正明	男	野球	
	15	森田 祥行	男	野球		63	山田 真市	女		
	16	海野 直美	女	スキー、バレーボール、テニス		64	宮内 弘幸	男		
	17	南條 達弘	男	水泳、ゴルフ		65	清水 富貴子	女	バレーボール	
	18	中島 洋平	男	野球		辰巳台	66	横田 れい子	女	
	19	渡辺 正樹	男	野球			67	田中 淳一	男	ソフトバレー
	20	折笠 彰彦	男				68	菊地 三奈美	女	
	21	山本 祐己	男				69	長岐 俊輔	男	
	22	西山 聡	男				70	板倉 みゆき	女	バレーボール
	23	豊川 由美子	女				有秋	71	安倍 保男	男
	24	橋本 千尋	男			72		廣中 芳孝	男	バレーボール、ソフトバレー
25	鮎川 勝之	男	ゴルフ・野球	73	中島 隆彰	男		野球		
姉崎	26	藤田 知嗣	男		74	橋本 宏幸		男	バレーボール	
	27	中村 信弘	男	野球、ソフトバレー	75	宮本 清春		男	ランニング	
	28	水谷 恵子	女		76	三橋 晃子		女	ソフトバレー、ボッチャ	
	29	作阿彌 弘之	男		77	柳瀬 邦子		女		
	30	吉富 智子	女	ラジオ体操	78	豊島 駿		男	少林寺拳法	
	31	山口 隆治	男	野球	ちはら台	79		中村 克巳	男	野球
32	山崎 裕基	男	アーチェリー、ソフトテニス	80		伊藤 昭則		男		
33	藪田 靖人	男	野球、サッカー他	81		石井 浩子	女	ソフトテニス		
市津	34	古川 利夫	男	バドミントン、野球		82	永野 美佳	女	マラソン	
	35	森 保彦	男							
	36	相野 喜昭	男							
	37	飛舗 芳夫	男							
	38	高浦 容子	女							
	39	宮澤 典子	女							
三和	40	堀部 直美	女							
	41	高石 忠	男							
	42	高橋 みどり	女							
	43	黒須 寛子	女							
	44	秋成 真	男	バレーボール						
	45	坂巻 利之	男	テニス、水泳						
和	46	佐塚 恭子	女							
	47	宮澤 和典	男							
	48	佐高 佳之	男	サッカー						

(10) 市原市スポーツ推進審議会委員

1号委員（学識経験がある者）

（令和4年7月1日現在）

氏 名	主な経歴
下原 正規	(公財) 市原市スポーツ協会理事長 (公財) 千葉県スポーツ協会評議員
相川 隆之	(公財) 市原市地域振興財団 総務課長
高橋 仁	帝京平成大学健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科教授 東京都アスレティックトレーナー連絡協議会副会長 日本バレーボール協会強化事業本部メディカル委員会トレーナー部副主事 日本オリンピック委員会強化スタッフ
堀川 裕二	市原市小中学校体育連盟会長 市原市立八幡中学校長
門脇 倭雄	ちはら台地区社会体育振興会会長 (公財) 日本障がい者協会スポーツ指導員 (一社) 日本ボッチャ協会審判 千葉県障がい者スポーツ指導者協議会 事務局長 全国障害者スポーツ大会 千葉県選手団副団長・身体総監督
伊藤 陽子	市原市スポーツ推進委員連絡協議会副会長
齋藤 富美枝	千葉県レクリエーション協会事務局次長

(11) (公財)市原市スポーツ協会役員 (令和4年7月1日現在)

役 員	氏 名
理 事 長	下 原 正 規
副 理 事 長	松 本 克 彦
専 務 理 事	齋 藤 和 夫
常 務 理 事	鶴 岡 政 彦
理 事	渡 邊 智 彦
	泉 水 正
	河 野 一 雄
	大 沢 孝 文
	鶴 岡 み つ 子
	鈴 木 茂
	岩 崎 修 一
	外 崎 弘 文
	堀 川 裕 二
	永 野 治
監 事	景 山 秀 貴
	齋 藤 精

(公財)市原市スポーツ協会加盟団体会長

(令和4年7月1日現在)

参加団体	氏 名	参加団体	氏 名
野 球	井 上 孝 一	ボ ク シ ン グ	吉 田 峰 行
卓 球	鈴 木 茂	ラ イ フ ル 射 撃	實 勲 操
ソ フ ト テ ニ ス	田 中 義 昭	ス キ ー	星 野 義 行
柔 道	鶴 岡 富 士 夫	ア マ チ ュ ア ゴ ル フ	濱 田 桂
剣 道	原 田 辰 明	体 操	齋 藤 藤 太
陸 上	松 本 靖 彦	ス ケ ー ト	菊 地 洋 己
バ レ ー ボ ー ル	米 元 明	ボ ウ リ ン グ	須 田 栄 一
バ ド ミ ン ト ン	瀧 本 和 大	合 気 道	鶴 岡 忠 良
サ ッ カ ー	山 本 哲 也	少 林 寺 拳 法	鈴 木 昌 俊
テ ニ ス	斉 藤 績	自 転 車 競 技	行 木 孝
弓 道	藤 平 晃	カ ヌ ー	森 大 死
水 泳	大 村 正 治	綱 引	時 田 擴 央
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	庄 司 健 二	な ぎ な た	常 澄 忠 男
ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル	保 坂 好 則	ゲ ー ト ボ ー ル	
ソ フ ト ボ ー ル	多 田 敏 幸	ア ー チ ョ ー	邊 見 日 出 夫
ハ ン ド ボ ー ル	篠 原 一 成	ダ ン ス ス ポ ー ツ	中 島 立 夫
ク レ ー 射 撃	島 崎 悦 昌	太 極 拳	山 本 弘
相 撲	藤 田 明 男	グ ラ ウ ン ド ・ ゴ ル フ	小 林 健
空 手 道	沖 野 龍 夫	ス ナ ッ グ ゴ ル フ	石 井 健
ヨ ッ ト	中 野 練 一	レ ク リ エ ー シ ョ ン	藤 田 明 男
パ ー ク ゴ ル フ	峯 松 良 孝	ス ポ ー ツ 少 年 団	泉 水 正
少 年 野 球	塚 本 利 政		

(公財) 市原市スポーツ協会加盟団体理事長

(令和4年7月1日現在)

参加団体	氏名	参加団体	氏名
野球	中島 賢一	ボクシング	佐藤 浩之
卓球	田辺 義博	ライフル射撃	黒田 直子
ソフトテニス	西村 直己	スキー	
柔道	伊藤 浩志	アマチュアゴルフ	
剣道	黒須 紀男	体操	串田 工
陸上	松本 克彦	スケート	外崎 弘文
バレーボール	梶原 朋明	ボウリング	
バドミントン	森 秋文	合気道	木村 敏明
サッカー	山越 康義	少林寺拳法	鎌倉 幸雄
テニス	橋本 敏清	自転車競技	栗田 秀隆
弓道	二本木 誠	カヌー	小倉 時義
水泳	萩原 光良	綱引	秋山 幸一
バスケットボール	藤田 一哉	なぎなた	関 幸子
ラグビーフットボール	神尾 善二	ゲートボール	内藤 喜満
ソフトボール	谷川 清	アーチェリー	内藤 和夫
ハンドボール	藤田 秀邦	ダンススポーツ	瀬戸口 寛
クレール射撃	三橋 昭	太極拳	
相撲		グラウンド・ゴルフ	
空手道	関谷 隆幸	スナッグゴルフ	
ヨット	鶴岡 昌士	レクリエーション	鶴岡 みつ子
パークゴルフ		スポーツ少年団	
少年野球	鶴岡 隆		

(12) 市原市社会体育振興会会員 (令和4年度)

(令和4年7月1日現在)

選出区分	氏名	選出区分	氏名
五井地区会長	宮原 廣	スポーツ推進委員連絡協議会副会長	中島 隆彰
辰巳台地区会長	國吉 秀典		伊藤 陽子
市原地区会長	廣瀬 保夫	スポーツ推進委員連絡協議会理事	岡本 均
姉崎地区会長	高浦 康夫		福原 正巳
市津地区会長	長坂 徳敏		山口 隆治
三和地区会長	日山 正泰		飛鋪 芳夫
南総地区会長	松本 靖彦		高石 忠
加茂地区会長	中山 安久		牧澤 利浩
有秋地区会長	安倍 保男		中澤 力生
ちはら台地区会長	門脇 倭雄		宮内 弘幸
スポーツ推進委員連絡協議会会長	浅野 英美		橋本 宏幸
スポーツ推進委員連絡協議会副会長	作阿彌 弘之		伊藤 昭則

4 市原市立学校一覧

【小学校】

※電話番号の下段はFAXです。

(令和4年4月1日現在)

No.	小学校名	電話番号	校長氏名	教頭氏名	所在地	No.	小学校名	電話番号	校長氏名	教頭氏名	所在地
1	八幡	41-1953 0644 42-2656	唐澤 利文	光田 太一	〒290-0062 八幡530	21	鶴舞	88-2014 88-2781	鬼澤 幸	増田 香奈恵	〒290-0512 鶴舞708
2	菊間	41-3617 0196 42-2655	田中 哲也	伊豆 浩江	〒290-0007 菊間1620-1	22	有秋西	66-0674 5951 66-8673	鈴木 啓子	猪股 晃	〒299-0125 有秋台西2-3
3	市原	41-1048 1045 42-2654	柳井 美重子	川添 幹貴	〒290-0011 能満1320	23	若葉	22-1581 1699 24-8148	栗原 裕一郎	大西 輝	〒290-0056 五井5555-1
4	辰巳台東	74-3671 2130 75-3697	野澤 省吉	長谷川 泉穂	〒290-0003 辰巳台東4-13	24	明神	61-3634 3368 61-1079	小出 友延	小倉 健司	〒299-0111 姉崎1850
5	辰巳台西	74-1874 2780 75-3696	御所脇みどり	川村 剛	〒290-0004 辰巳台西4-16	25	若宮	41-2364 2327 42-2675	出本 晴美	鈴木 徹	〒290-0006 若宮3-13
6	五井	21-1049 8468 24-8365	渡辺 和也	泉山 靖治 村上 由希子	〒290-0055 五井東 1-6-3	26	石塚	41-9142 9108 42-2653	熊田 雅彦	林 斉子	〒290-0061 八幡石塚2-4
7	白金	21-0207 0248 24-8364	鈴木 謙一	大島 知樹	〒290-0051 君塚3-19	27	青葉台	62-3888 3904 62-5733	鈴木 麻貴子	佐藤 悟道	〒299-0117 青葉台 1-10-1
8	国府	21-0576 24-6296	村上 雅志	齊藤 泉	〒290-0031 村上1402-1	28	白幡	74-9797 4936 75-3692	鈴木 恵子	渡部 智也	〒290-0005 山木108
9	京葉	21-1725 1846 24-8363	関谷 聡	納上 将史	〒290-0038 五井西 3-9-2	29	国分寺台	23-1444 1287 24-8147	一瀬 朋子	多田 豊隆	〒290-0075 南国分寺台 3-2
10	千種	21-0703 0166 24-8362	村串 悦子	伊藤 忠幸	〒299-0102 青柳1801	30	光風台	36-6502 6512 36-7663	今道 和信	森 修	〒290-0255 光風台4-546
11	東海	21-1676 1082 24-8157	後藤 知憲	川寄 典子	〒290-0032 廿五里558	31	寺谷	95-3001 3027 95-4229	庄司 房雄	杉本 誠一	〒290-0236 寺谷687-1
12	姉崎	61-0058 5974 61-1397	栗生 富男	平田 美幸	〒299-0118 椎津461	32	国分寺台西	21-5411 2612 24-8143	二階堂早苗	金光 俊紀	〒290-0072 西国分寺台 2-11-1
13	有秋東	66-0026 8973 66-7097	竹下 輝	菌田 隆司	〒299-0115 不入斗753	33	有秋南	66-1224 1248 66-8672	稲富 光有	岩瀬 恵子	〒299-0127 桜台3-1-1
14	海上	36-0802 36-0997	早川 顕	仲村 通洋	〒290-0258 神代125	34	国分寺台東	21-5351 5352 24-8129	野崎 由美子	中島 健介	〒290-0074 東国分寺台 5-1
15	市西	36-0185 0119 36-7669	原田 広美	清田 高史	〒290-0207 海士有木1130	35	水の江	52-1700 4001 52-3382	阿部 あけみ	林 徹	〒290-0141 ちはら台東 2-15
16	養老	36-0054 3943 36-7668	百瀬 正洋	二瓶 加珠子	〒290-0217 松崎820	36	五所	42-2400 2727 42-2720	清水 孝成	恒崎 昭義	〒290-0066 五所2154-1
17	湿津	74-0603 75-3695	矢代 庸一	福井 裕紀	〒290-0171 潤井戸 2299-14	37	清水谷	52-3681 3682 52-3691	国分 雅彦	小柴 卓也	〒290-0142 ちはら台南 5-2
18	市東第一	52-0656 1109 52-2274	清水 善治	常澄 智代	〒290-0151 瀬又1820	38	牧園	74-1375 1191 74-1354	坂口 弘樹	鶴岡 健	〒290-0142 ちはら台南 2-7
19	戸田	95-3321 0906 95-4429	東 周	平林 純一	〒290-0221 馬立830	39	ちはら台桜	52-6401 52-6422	毛塚 真澄	勝原 圭介	〒290-0141 ちはら台東 5-13
20	牛久	92-0022 0024 92-4452	田中 恵理子	近藤 哲	〒290-0232 皆吉933-2	40	加茂	96-0042 0007 96-0292	積田 剛幸	副校長 小澤 未知 教頭 大木 健	〒290-0541 平野123

【中学校】

※電話番号の下段はFAXです。

(令和4年4月1日現在)

No.	中学校名	電話番号	校長氏名	教頭氏名	所在地	No.	中学校名	電話番号	校長氏名	教頭氏名	所在地
1	八幡	41-0772 0764 42-2668	堀川 裕二	海老原 亘	〒290-0062 八幡500	12	南 総	92-0044 3661 92-4476	野村 雅彦	金本 園美	〒290-0509 安久谷140
2	菊間	41-3618 0197 42-2667	宮内 雅史	櫻井 義朗	〒290-0007 菊間1850	13	若 葉	21-7911 6938 24-8384	北森 功	香川 浩昭	〒290-0056 五井5308
3	市原	41-3424 3435 42-2664	根本 尚美	木下 和巳	〒290-0011 能満1450	14	有 秋	66-1066 1192 66-8704	鎗田 昭	古屋 義和	〒299-0115 不入斗1200
4	五井	21-3385 3386 24-8389	佐藤 文美	隈元 美幸 成田 悠紀	〒290-0056 五井922-2	15	八幡東	43-7808 7803 42-2659	山本 友子	蒲谷 修平	〒290-0007 菊間428
5	東海	36-1682 3922 36-7679	常澄 秀明	布田 寛	〒290-0265 今富477	16	国分寺台	22-4567 4429 24-8376	小高 輝美	森 正徳	〒290-0075 南国分寺台2-1
6	姉崎	61-0100 2131 61-1498	渡辺 親広	鶴山 信二	〒299-0111 姉崎2156	17	姉崎東	61-6411 6462 61-1459	栗原 朗	田中 孝明	〒299-0111 姉崎3056-1
7	三和	36-0141 0145 36-7675	安藤 康哉	吉村 直美	〒290-0204 磯ヶ谷1703	18	双葉	36-6211 6201 36-7673	藤田 嘉治	川名 吉昭	〒290-0255 光風台1-475
8	湿津	74-0021 1694 75-3803	小野寺 城治	阿部 顕次郎	〒290-0171 潤井戸2297-2	19	千種	21-2918 6254 24-3029	井上 大一	濤岡 洋司	〒299-0109 千種6-1-1
9	市東	52-0007 1120 52-2292	村松 邦生	飯田 泰俊	〒290-0163 東国吉356	20	国分寺台西	43-1831 1862 42-2658	野城 茂行	野田 新三	〒290-0073 国分寺台中央 5-1-1
10	辰巳台	74-2475 1250 75-3802	渡邊 重	下原 史洋	〒290-0003 辰巳台東2-2	21	ちはら台南	52-1781 1788 52-0261	泰原 浩	坂元 智宏	〒290-0142 ちはら台南 5-3
11	加茂	96-0042 0007 96-0292	積田 剛幸	遠山 憲一郎	〒290-0541 平野123	22	ちはら台西	40-5911 40-5115	近常 浩裕	大平 哲也	〒290-0143 ちはら台西 5-1

教 育 要 覧

令和4年9月

発 行／市原市教育委員会

〒290-8501

千葉県市原市国分寺台中央1丁目1番地1

TEL0436 (23) 9845 (直通)

編 集／市原市教育委員会教育総務課

表 紙／伝統技術ワークショップ「木材加工」の
様 子 (市 原 歴 史 博 物 館)

